

平成 28 年度指定
スーパーグローバルハイスクール

生徒成果物（3 年次）

平成 31 年 3 月
和歌山県立日高高等学校

目 次

I	S G 課題研究Ⅲ	
	研究論文分野別代表作・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II	S G 課題研究Ⅱ	
	1 成果発表会グループ別要旨・・・・・・・・	19
	2 成果発表会プレゼンテーション資料・・・・・・・・	59
	3 授業成果物・・・・・・・・	65
	4 校外発表資料・・・・・・・・	74
III	S G 課題研究Ⅰ	
	授業成果物・・・・・・・・	79

SG課題研究Ⅲ

お弁当の開発

Developing a Bento Lunch

地域文化分野 文責：龍田 実可子

(メンバー：木坊子俊資 龍田実可子 西涼雅 藤木美歩 増金茉莉花)

Abstract

We started our activities with the purpose of product development. We decided to develop a bento lunch after looking at examples. We conducted a questionnaire on campus. The ingredients of the lunch were decided by the questionnaire. The workers in the school cafeteria cooperated with us and made the bento boxes. We sold the finished product in the cafeteria. The result was that the bento lunches were sold out. We were able to achieve our aim.

1. はじめに

和歌山県には温州みかんや南高梅など、数多くの特産品がある。しかし私たちは、食文化について考えていく中で県の特産品を正確に把握していないことに気づいた。そこで、「ほかの人たちも和歌山県の特産品についてあまり知らないのではないか。」と考え、和歌山県の有名な特産品を使った食べ物を中心にみんなに広めたいという思いで、特産品を使ったオリジナル商品の開発をテーマとして設定した。

この研究は、大勢の方々に和歌山県の特産品について知ってもらいたいという目的と、アンケートを通して自分たち自身が地域の美味しい特産品についてもっと幅広い知識を得ることを目的としている。

2. 和歌山の特産品について

和歌山の特産品を調査したところ、温州みかん、えびせんべい、焼きのり、メロン、スイカ、めはり寿司、じゃばら、釜揚げしらす、釣鐘まんじゅう、金山寺味噌、太刀魚、梅などがあると判明した。

3. 食材選び

特産品を開発する上で、全ての特産品をお弁当の中に入れることは不可能であると考えた。そこ

で、和歌山県の特産品から何種類かの食材を調査して選定することにした。その結果、特産品を使ったオリジナル商品の題材として、南高梅、温州みかん、金山寺味噌、釣鐘まんじゅうを候補にすることに決定した。

南高梅について調査したところ、「梅生産量日本一で和歌山県を代表する品種、日本国内で生産される国産梅の6割は和歌山県産。和歌山のブランド梅だけでなく、梅のトップブランドとして知られており、果実は非常に大きく、種は果実のわりに小さめである。和歌山県のみなべ町が南高梅の発祥地である」¹ということが判明した。また、温州みかんについて調査したところ「温州みかんは日本生まれといわれている柑橘。400年ほど前に中国から鹿児島県に伝わった柑橘の種から偶然発生したと考えられている。その説の裏付けとなったのが鹿児島県の長島にあった古木。この古木は昭和11年に樹齢約300年と推定され、この古木と江戸時代の古文書などを照合して実地調査をした結果、温州みかんは日本原産とされた。温州みかんの栽培が本格的に行われるようになったのは明治に入ってからと考えられている。」²ということが判明した。

いずれの特産品についても、また、その他の特産品についても同様に和歌山県にゆかりがあり、

特産品を使ったオリジナル商品の開発における題材として適当であると考えられる。

4. 商品開発について

検討の結果、当初は釣鐘まんじゅうを題材にオリジナル商品の開発をすることに決定した。しかし、釣鐘まんじゅうの既製品をアレンジすることが難しいという判断から、却下せざるを得なかった。

5. 中間発表について

中間発表の際に、大学の先生から「開発するということは、process があって意味のあるものになり、SGH らしい取り組みになる」という助言をいただいた。

6. 次の商品開発の案について

釣鐘まんじゅうをアレンジして商品を開発することを断念した私たちの班では、話し合いを行った結果、和歌山県の特産品を使用したお弁当を開発することに決定した。

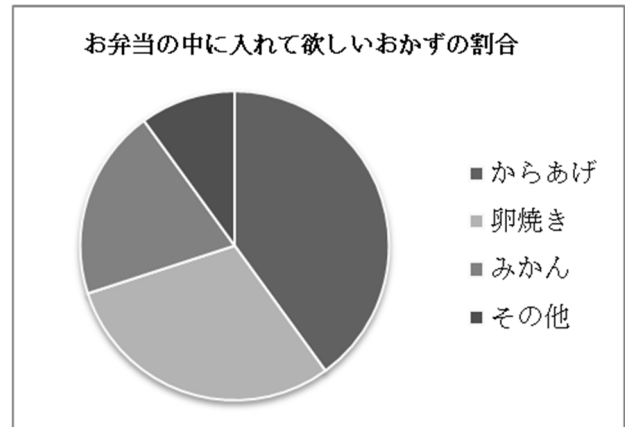
お弁当の中身を何にするか話し合ったところ、アンケートを実施して決めれば良いのではという意見が出たため、アンケートを実施することになった。

7. アンケート実施

お弁当に入れてほしいおかずのアンケートを作成し、本校二年生を対象にアンケートを実施した。

アンケート結果より、からあげ、卵焼き、みかんが人気だということがわかったので、お弁当の中にこれらを入れることを決定した。(図1)

また、お弁当の金額についてのアンケートをとったところ、300 円でお弁当を買いたいと答えた人よりも、500 円でお弁当を買いたいと答えた人の方が多かったため、お弁当の金額を 500 円に決定した。



(図1) お弁当の中に入れて欲しいおかずの割合

8. お弁当の中身の決定

お弁当の中身は、梅唐揚げ、卵焼き、みかん、しらす、ひじき、トマト、かまぼこに決定した。

お弁当の中身を決定した後に、それぞれのおかずを和歌山県の特産品と関連させて、どのように工夫すべきかを話し合った。

その結果、からあげはのりと梅とで組み合わせることにした。卵焼きは、和歌山原産のみかんの皮と果汁を使用することにした。しらすはごまで炒めてごはんの上にのせることにした。

9. 販売場所の決定について

当初は、御坊市内の惣菜販売店である「あげもの屋 SAN」に商品開発の協力依頼をしようと考えたが、生徒にアンケートをとっておかずを決定したため、本校生徒に食べてもらいたいと考え、学校ホールにお願いすることにした。

ホールにお弁当の開発を一緒に協力してもらえよう依頼したところ、すぐに快く了承していただけた。

10. 試作品について

自分たちで卵焼きとしらすと梅唐揚げとひじきを調理して試食をした。その時のレシピを元にしてホールの調理員さんに具材の調理方法を伝えた。

また、いつ販売するのかをホールの担当者と協議した結果、毎週の月曜日に販売させていただけることになった。

1 1. ポスター作り

お弁当を販売することを、本校生徒に宣伝するために、ポスターを三枚作成することにした。

人の目に入りやすい場所を探して、結果、生徒が多く集まるホールに掲示できないかをホールの担当者に相談し、了承を得ることができたので、ホールに貼り付けた。

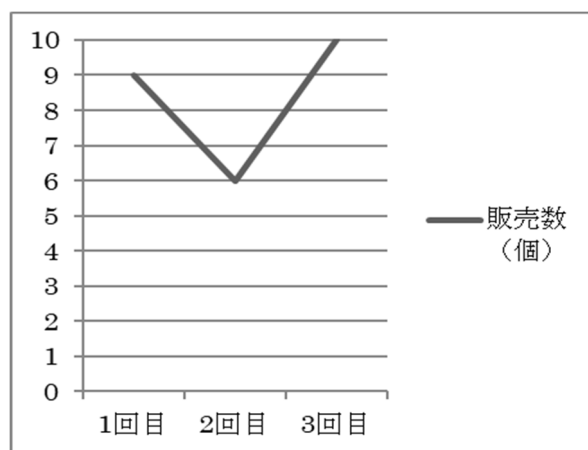
また、その際に、お弁当の名前を班で話し合い、結果「農家に漁師総動員弁当」に決定した。

1 2. 売り上げ個数について

2月5日にお弁当を実際に販売した。結果、10個中9個売ることができた。

また、翌週の月曜日には10個中6個、さらに3月5日には10個中10個を完売した。(表1)

この結果から、私たちのグループが企画したお弁当は購入者から高い評価を受けた。



(表1) 販売個数の推移

1 3. 考察

以上の結果から、自分たちのお弁当の開発が、和歌山の特産品を考えるきっかけに少しでもなってもらえたという実感があった。

お弁当を買ってもらった先生や生徒に感想を聞いた際に、「卵焼きにみかんの果汁と皮が入っていてとても美味しかった。」と言ってくれたことが印象に残っている。

少しでも自分たちが住む和歌山県の特産品に関心、興味を持ってもらえたので、自分たちがやりたかった研究の目的は達成されたと考察する。

しかしながら、課題点が二つある。一つ目の課題点は、お弁当の写真を貼ったポスターをホールにだけしか貼らなかったことである。多くの人の

目に触れると考え、作成した三枚全てのポスターをホールのみに掲示したが、予想に反し、生徒の多くは自分たちが開発したお弁当の存在を把握していなかった。廊下や教室の前にポスターを貼ればもっと多くの生徒や先生にお弁当がホールにおいて販売していることを知ってもらえたと考え、課題点とした。

二つ目の課題点は、調理員さんへのレシピの伝達方法である。自分たちが書いたレシピは、お弁当の中身を何にするのかのみであり、卵焼きにどのくらいの量のみかんの果汁を入れるべきか記載していなかった。その結果、調理員さんから、レシピを具体的にの方がわかりやすいという指摘を受けた。このことから、もう少し具体的にレシピを考え伝えるべきだったと考察する。

1 4. 今後の展望

今回の研究では、自分たちの努力により、和歌山県の特産品を用いた商品を開発することができた。そしてその結果、ホールで商品開発をしたお弁当が予想以上の売り上げに繋がった。

今後、この取り組みを続けるならば、規模を拡大して高速道路のサービスエリアや地域の産直市場において自分たちで企画した商品を販売し、より大勢の方々に和歌山県の特産品について知ってもらえるような活動を行っていきたい。

データの出典・参考

¹ ウィキペディア「南高梅」

<https://www.wikipedia.org/wiki>

(2018年6月21日閲覧)

² 果物情報サイト 果実ナビ「温州みかん」

<http://www.kudamononavi.com/zukan/mikan.htm>

(2018年6月20日閲覧)

難民問題と日本の受け入れの現状

The Problem of Refugees and Refugee Acceptance in Japan

～日本が難民を受け入れるとどうなるか～

移民難民分野 文責：岡 知穂

(メンバー：伊井稀星 上野颯馬 岡知穂 中西琴乃 山本章吾)

Abstract

Although Japan is a developed country, it accepts far fewer refugees than other countries. We established the hypothesis that the reason for this is Japanese people's prejudice and biases that accepting refugees has negative effects on our country. Therefore, we examined the impact of refugees, and predicted what would happen if Japan were to accept more refugees.

The purpose of our study is to research these question and disseminate information regarding the actual circumstances concerning refugees, as well as getting people interested in refugee issues by reducing prejudice and biases.

1. はじめに

難民問題は、世界中で多くの人々が苦しんでいる深刻な問題である。難民とは、紛争や迫害などによって他国に逃れた人々、あるいは国境を越え他国に庇護を求めた人々のことである。また、国境を越えずに避難生活を送っている国内避難民もいる。世界では、難民問題に対する様々な政策がとられているが、簡単には解決されず、世界的に大きな課題となっている。この世界規模の問題を、まず、私たちの国である日本から考えていくことにした。

現在、難民を積極的に受け入れている国がある一方で、日本は難民の受け入れに対して消極的である。日本もかつてはベトナム難民やインドネシア難民など多くの難民を受け入れていた。また、第三国定住（難民キャンプ等で一時的な庇護を受けた難民を、当初庇護を求めた国から新たに受け入れに合意した第三国が受け入れる制度）などの政策が現在行われている。しかし、申請数と認定数の関係は 1997 年では約 240 人に対して 2 人、2012

年には約 2500 人に対し 18 人であり、2016 年にアメリカやカナダなどの国々は申請者のうち約 50%の難民を受け入れているが、日本は 0.3%しか受け入れていなかった。¹このことから、日本では、難民の申請者数が大幅に増加しているにもかかわらず認定数はそれほど増加せず、先進国であるが難民の受け入れ数が他国に比べて極端に少ないことが分かる。また、日本の難民受け入れ認定率の低さは新聞でも取り上げられ国内外から批判されている。私たちはこの問題に関して、その背景にあるものは、難民を受け入れることが国に悪影響を及ぼすといった先入観や偏見などではないかと考えた。なぜなら、最初は私たちも難民に対する偏見を少なからず持っていたからである。そして、その先入観や偏見のように実際に難民が受け入れ国に悪影響を与えているのかということに疑問を持ち、調査・証明することにした。また、そこから難民の受け入れが少ない日本がもし多くの難民を受け入れた場合どのようなことになるかということに着目し、

考えられる影響を導き出し、私たち自身の結論を出すために研究に取り組んだ。

私は、この研究に取りかかるまで難民問題について正直なところあまり知らなかった。私と同様に、おそらく多くの人はほとんど関心がないのではないかと思う。難民問題という課題を解決していくためにはまず難民について多くの人が関心を持つことが大切だと考えた。そこで、前述の疑問について調べ、私たち自身の難民に関する知識を深め、発表を通して難民についてよく知ってもらふこと、また、難民に対する先入観や偏見を少しでも減らし、難民問題について関心を持ってもらうことを主な研究目的とした。

2. 本論、考察

本研究では、難民受け入れによる影響を考え、そこから難民を受け入れることについて考察していく。また、この研究は難民について知ってもらい、偏見を減らし、難民問題に関心を持ってもらうことを目的としている。

1. 日本の難民の現状について

2016 年、難民申請者は 10901 人、そのうち難民として認められたのは 28 人だけであった。²序章で述べたように 2012 年では、約 2500 人に対して 18 人だったので、さらに認定率が下がっていることになる。日本は難民問題に対して消極的である。

2. 難民受け入れによるメリットとデメリット

メリットとしては、国際関係の向上や海外との交渉に役立つなどといった外交の発達、また、世界各国からの難民を受け入れることでグローバル化が進み、様々な技術や文化を取り入れることができるので国がより発展するということが考えられる。さらに、受け入れた難民を有用な人材として雇用することで労働者を確保でき、労働者不足という問題が解消されることにつながる。それから、「難民らの欧州諸国への殺到は加盟国らの財政に重荷となっている。急増を受け、救出、国境

管理、収容施設の確保、保健衛生や他のサービス提供などへの支出を強いられている。EU の報告書はこれらの追加支出がより高い成長率に即座につながるとの見解を示唆。難民や移民らの殺到は成長率を約 0.2%押し上げる効果を持つとも分析した」³と CNN が記してあるように難民の受け入れによって経済成長することもある。

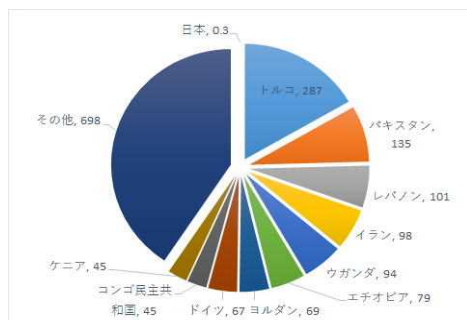
一方、デメリットとしては、多様な宗教や文化が共存するので、その違いによって宗教的、文化的対立が頻繁に起こり、戦争や紛争が発生しやすくなるということがある。また、多文化社会となるのでその国独自の文化が消滅の危機にさらされる。環境や文化が違うことで受け入れ国での生活がうまくいかずに窃盗や暴行などの犯罪を引き起こす可能性もある。例としては、ケルン大晦日集団性暴行事件などがある。この事件では、153 人の容疑者のうち 68 人が難民申請者であった。⁴また、労働者不足とは反対に難民が仕事に就くことによって受け入れ国の人々の職を奪ってしまい失業率が増加してしまうかもしれない。さらに、難民がその国で暮らしていくとなると、住居、生活費、語学学校に通うための費用など様々な支援が必要となる。様々な援助を行っていくためには、その国に多大な負担がかかる。難民をたくさん受け入れている国の中には、その支援のために経済が苦しくなっている国も実際にある。また、支援にかかる費用の大部分は国民の税金などから使われているので国民からの批判もあるかもしれない。

以上のようなメリットやデメリットから、難民がもし国に何か影響を与えたとしたら、難民の受け入れ数の増加は GDP、失業率、犯罪率などに関係するのではないかと考えた。そこで難民の受け入れ数の多い国でのそれらの関係性を示すことにした。

3. 難民受け入れ数上位 10 か国⁵

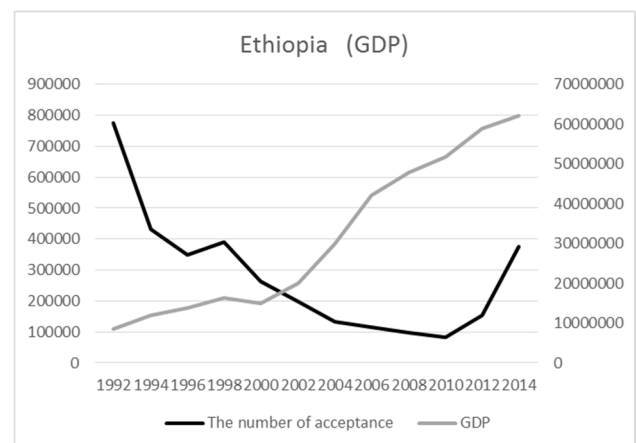
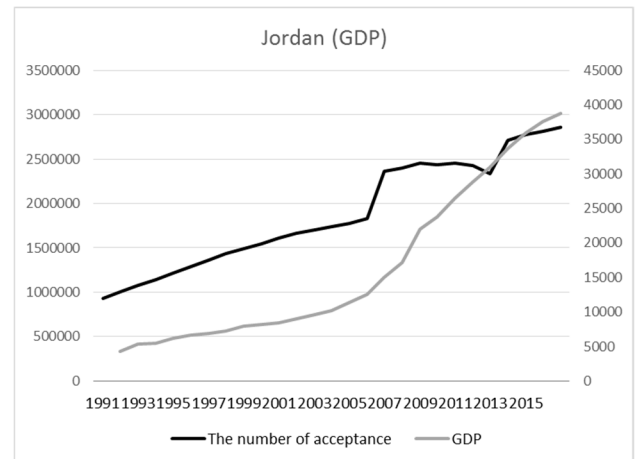
難民の受け入れが多い国の代表として、上位 10 か国を調べた。2016 年では以下のようになっている。

1 位 トルコ	6 位 エチオピア
2 位 パキスタン	7 位 ヨルダン
3 位 レバノン	8 位 ドイツ
4 位 イラン	9 位 コンゴ
5 位 ウガンダ	10 位 ケニア



4. 2. で挙げたメリットとデメリットに関連し、3 で調べた難民受け入れ数上位 10 か国の受け入れ数、GDP、失業率、犯罪率のデータを調べる。⁶(GDP・失業率は IMF 統計を利用し、犯罪率のデータは、殺人発生率しか得られなかった。)

5. 4 のデータをグラフ化し、組み合わせ、難民受け入れ数との関連性を導く。難民の受け入れ数と GDP・失業率・犯罪率の関係を調べるために、各国のデータをもとに受け入れ数とそれぞれのデータを組み合わせて以下のような複合グラフを作った。



上のグラフは、ヨルダンとエチオピアの受け入れ数と GDP の複合グラフである。黒が受け入れ数、グレーが GDP の変化を表している。このグラフを比較してみると、受け入れ数はヨルダンでは増加していてエチオピアでは減少しているが、GDP はどちらも増加している。したがって、難民の受け入れ数の変化が GDP に関係しているとはいえない。

同様に、失業率や殺人発生率も比較してみたが、関連性はみられなかった。

この研究における問題点としては、まず難民の受け入れに対して先入観や偏見を持っているという仮定を自分たちだけの少人数の意見だけで判断せず、学校内のアンケートなどを実施して調査することで確かめたうえで研究を進めるべきだった。また、研究で受け入れ数との関連性を調べるために GDP や失業率などのデータを利用したが、もう少し多くの項目があるとよいと思った。さらに、影響を考えるだけでなく、受け入れ数が多い国と少な

い国で比較し実際に発生している影響を示せばよかったと思う。

3. 結論

私たちは、研究でデータを集め、グラフ化し、比較することで難民の受け入れが GDP、失業率などに関連性がみられないとした。したがって、難民を受け入れることが必ずしも受け入れ国に悪影響を及ぼすわけではないという結論を出した。だからといって難民が悪いことをしないと限らないが、難民でない人も罪などを犯すことはもちろんある。私はこの研究をしたことで難民を受け入れることによる自分たちの国にもたらす利点を重視しているということに気づいた。これは自己中心的な考え方だと思う。今この瞬間にも迫害や紛争で苦しんでいる人たちがいて、難民として避難しようとしている多くの人がいる。難民問題は世界的に大きな問題で単純に受け入れるほうがいいとか受け入れないほうがいいという判断をするのは難しいことであるが、私は難民を受け入れるべきだと思う。私たちは今まで研究のなかでメリットやデメリットについて議論してきた。しかし、今、難民を受け入れるうえで本当にそんなことが重要なのかと私は考える。難民に対する自分の考え方は、以前とは全く違う。もし自分が難民の立場だったらということを考えてみてほしい。そうすれば、きっと自分たちの利益よりも大切なことがあるということに気づき、難民を受け入れることに賛成する人が増えると思う。また、メリットやデメリットを考えた場合、受け入れたとしても受け入れなかったとしても同様に利や不利がある。それなら、いま世界中で苦しんでいる人々を放っておくべきではないだろう。難民だからといって差別をするのは違う。困っている人がいたら手を差し伸べる、これが人として本当に大切なことだと考える。難民を受け入れることによる悪影

響について考え受け入れに反対する人がいるが、「失敗しないことはない」ということはないであろうし、人は失敗することで学び、それが成功につながると思う。私は日本が難民を受け入れることで更なる発展をすることを期待する。今、日本では難民の役に立とうとして活躍している人々がいる一方で、多くの国民は難民を受け入れたほうが良いといった考えを持っていないだろう。私は、より多くの人が受け入れるべきだという意見を共有することで、難民のためのより良い政策が取られ、難民が苦しまなくてもいいような世界になり、難民問題が解決されてほしいと願う。

参考文献・引用文献

- ¹ 根本かおる(2013)『日本と出会った難民たち』英治出版 参考
- ² 法務省
「平成 28 年における難民認定者数等について」
www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri03_00122.html(2017 年 11 月検索) 参考
- ³ CNN.co.jp 「難民流入、EU 経済を 0.2%押し上げ欧州委が見通し」
<https://www.cnn.co.jp/m/business/35073139.html> (2017 年 10 月検索)引用
- ⁴ ウィキペディア
「ケルン大晦日集団性暴行事件」
<https://ja.m.wikipedia.org/wiki/>
(2017 年 12 月検索)
- ⁵ JLN(全国難民弁護団連絡会議)統計
「主な難民出身国と受入国(2016)」
www.jlnr.jp/stat/
(2017 年 10 月検索)参考・引用
- ⁶ GLOBAL NOTE
(国際統計・国別統計専門サイト)
名目 GDP・失業率(IMF 統計)・殺人発生率
<https://www.globalnote.jp>
(2017 年 11 月検索)参考
THE WORLD BANK
「Refugees population by country or territory of asylum」
<https://data.worldbank.org/indicator/SM.POP.REFG>(2017 年 12 月検索)参考

高校生視点で考える地域活性化

Regional Revitalization from a High School Student's Point of View

地域産業分野 文責：脇本 蒼斗

(メンバー：井戸洸希 田中順也 中家理那 龍神千咲 脇本蒼斗)

Abstract

We recognize that the population of Gobo City has been decreasing. The purpose of this study is to find a way of attracting people to Gobo City. So we introduced statice, a flower grown in Gobo City all over the world by using Instagram. In addition, we tried to spread the slogan, “Hana no machi Gobo”, which means “Gobo: A city filled with flowers” to the world.

1. はじめに

現在、御坊市の人口が減少しているということを受けて、いかに地域を活性化させるかについて考えた。また、既存の地域資源である全国出荷量ナンバーワンであるスターチスを高校生視点で磨き、全国に御坊市の花「スターチス」を知ってもらおうと考えた。

研究目的としては、全国出荷量ナンバーワンである御坊市名田町のスターチスを使って2017 年度流行語大賞である“インスタ映え”を元に、花束やアクセサリ、ストラップなどを作り、インスタグラムに載せて全国そして世界に発信する。そして、その活動によって御坊市民にもあまり知られていない「花のまち御坊」という教科書にも載っているキャッチフレーズを御坊市民にはもちろん、全国の人達にも知ってもらうことである。

2. スターチスとは

イソマツ科リモニウム属の総称で、耐寒性・耐乾燥性の強い一年草または多年草。スターチスは旧属名である。台湾から旧ソ連地域、ブルガリア、地中海沿岸にかけて自生し、ほとんどが海浜生で、約 120 種ある。茎はよく分枝し、葉は根生する。花はごく小さく、分枝のすべてに無数につく。切り花や花壇に使われる。シヌアーツム種は秋播(ま)きの一

年草として扱われ、もっとも普通に栽培される。葉は長披針(ちょうひしん)形で、5～6 月、紫青または桃色の花を開く。シネンシス種は多年草で、葉は長楕円(ちょうだえん)形でつやがあり、6～7 月、淡黄色の花を開く。ラティフォリウム種は多年草で、花が無数につく姿を花火に見立て、ニワハナビの名もある。葉は緑灰色、長卵形で、7～8 月、藤(ふじ)色の花を開く。また、ペレズィーは四季咲き性で、ハウス栽培で周年出荷される。

耐寒性は強いが、日陰地や多湿地ではよく育たないので、日当たりがよく、水はけのよい所に植える。繁殖は、シヌアーツムは実生(みしょう)により、その他は株分けと実生によったが、近年は組織培養(メリクロン)による増殖苗が広く出回っている。

3. 高校生が地域活性化に期待される理由

地域にとって高校生の活動が必要となっている。

地域にはさまざまな問題が起こっている。高齢者の介護、ごみ処理の問題、国際交流、災害における支援活動、学習活動の支援など生活のあらゆる領域で問題が起こっている。

これらの問題を解決し、住みよい地域にしていくなには、財政上の問題もあるが、いまや

行政だけでは難しく、地域住民の参画・パワーが必要だ。なかでも街路樹の美化、災害時の避難やがれきのあと片づけなどは、若者の力に頼らざるをえない。高校生がいなければ、地域社会の存続維持すら難しい。地域が高校生に期待し、高校生の力を必要としている。

それだけではなく、高校生は、おとな世代と違って、社会の慣例やしきたりなどにとらわれることなく、社会の問題・矛盾を客観的にとらえ、どうすればいいか、あるべき社会を考え、構想する事ができる。ユニークな視点から発想でき、大人ではできない活動ができる立場にある。高校生が高校生ならではのユニークな活動を行い、地域に新しい風を起こすことができれば十分な活性化につながると考える。

4. 御坊市の花産業従事者の現状

現在、御坊市名田町で花農家を営んでいる数は年代別では正確な値は出ていないが、160世帯から170世帯である。そのうち40世帯が40歳以下の若い人々が御坊の花産業の維持に従事している。この数は少ないようにも思えるが、御坊市周辺の花農家件数と比べるとこの地域よりも多い。

とはいえ、数は増えているわけではない。そういう理由で、御坊市は従事者数を増やすのではなく、今現在花農家に従事している人の一人ひとりの規模を大きくしていつている。

また、日高高校の全生徒に「あなたの身の回りに花農家の方はいませんか」というアンケートを取ったところ641人中114人がいると答えた。約1/6の生徒の身の回りに花農家の方がいるのは多いほうなのではないだろうか。

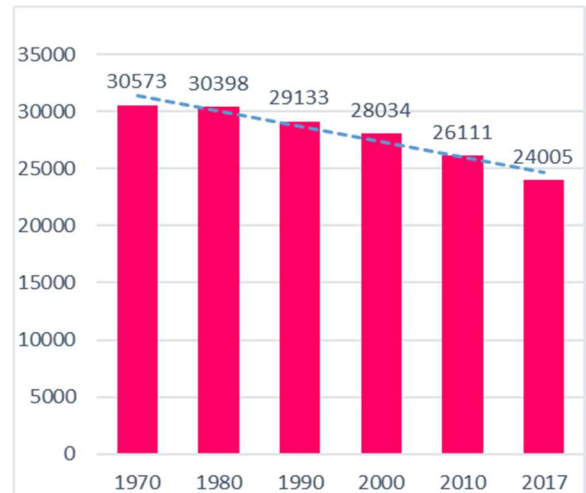
5. 御坊市の人口減少について

現在の御坊市の人口は、1970年代の3万人から徐々に減退し、昨年2017年の2万5千人というように右肩下がりに減少している。この人口減少の原因として

- 進学や就職
- 結婚等に伴う転出人口の増加

➤ 少子高齢化に伴う出生率の減少等があげられる。

この人口の減少は花農家数の減少にもつながり、花産業が衰退し、花を広めることが難しくなるのではないかと懸念される。



6. 「花のまち御坊」

有田川町ではみかん、湯浅町では醤油などがあるように、御坊では花が有名である。スターチスをはじめスイートピー、ハマボウやトルコギキョウなどの生産量や出荷量が多いからだ。これらのうちとびぬけて生産出荷量が多いのはスターチスであり、御坊市だけで年間5千万本も出荷していて全国でもナンバーワンである。ではなぜ、これほどまでに“御坊市のスターチス”の出荷量が多いのか。それは、

- 御坊オンリーワンのスターチス“紀州ファインイエロー”“紀州ファインパール”などの珍しい色のスターチスを品種改良によって栽培している
- 品種改良によって、栽培量が多い北海道との出荷時期をずらす

等の理由があげられる。

また、北海道との出荷時期をずらすというのは、もともとスターチスは上記にも示した様に春から秋にかけての栽培・出荷が多いが、冬場の栽培・出荷が少ないので出荷量の多い北海道と連携して夏場は北海道、冬場は御坊という様に時期をずらすということである。

7. 御坊から世界へ

御坊市のスターチスは、今年 4 月にロシアへ出荷された。これは関西では初の試みになる。ロシアで栽培されているスターチスの色は紫が一般的で、御坊で栽培されているピンク、イエロー、ホワイトは珍しいらしく、ロシアのほうからスターチスの出荷を要求された。ロシアでのスターチスの活用方法はブーケやフラワーアレンジメントである。

8. フィールドワーク

高校生だけでは「活性化」させるのは難しいので、事前に調べたことで疑問に思ったこと、また地域産業を活性化させる方法について質問するため名田町にある「がいなポート」を訪問した。がいなポートさんから頂いた「活性化」のヒントとしては

- スターチスを使う
- 高校生だから思いつくこと

などである。これらのことを基に地域活性化について考えた。

9. スターチス部会

がいなポートさんを訪ねたことによって“スターチス部会”という団体を知ることができた。スターチス部会とは御坊市周辺で花農家を営んでいる 40 歳以下の男性、いわゆる若手の人々が御坊市のスターチスを全国に広めるために結成された団体である。そのスターチス部会に所属している斎藤喜也さんを紹介していただき、私たちの活動に協力していただくことになった。



※がいなポートさんから頂いたスターチスリース

10. 拡散用Instagram作成

上記で述べた“高校生だからできること”とは何かを考えたところ、今流行りのInstagramを使って御坊市のスターチスを広めることを思いついた。それを斎藤さんに伝えたと、斎藤さんが育てているスターチスを約 200 本頂けることになった。頂いたスターチスで自分たちでリースを作ったり、レジンを使って小物を作ったりなどして“インスタ映え”する写真を撮り、Instagramに投稿した。また投稿する際にハッシュタグを付けることによって多くの人に知ってもらうために工夫をした。

また、校内でもInstagramを拡散することによってたくさんの反響を得ようとした。反響としては“いいね”の数が最高で 20 件、また、外国の人からのコメントも多数いただいた。

加えて、Instagramを見ていただいた方々から英訳をつけたほうが外国の方々にもわかってもらいやすいなどのアドバイスを頂いた。



11. 大人が考える地域活性化の方法

また、大人が考える地域活性化の方法も知ったほうが高齢者の人たちに理解してもらいやすいと考え、何があるか聞いたところ、

- 身近な人に花を贈る
- イオンモールなどの人がよく集まる施設で活動をする

などがあげられた。なかでも斉藤さんが推していたのは“身近な人に花を贈る”で、すでに“母の日参り”という活動を行っていた。この活動がもたらした影響としては「花、特にスターチスについて興味を持ってもらうことができ、拡散することができている。」である。

1 2. SGH甲子園出場

これらの活動が認められて SGH 甲子園に出場することができた。SGH 甲子園とは、関西学院大学、大阪教育大学、大阪大学が開催する課題研究発表会である。この SGH 甲子園に出場したことによって全国の SGH 指定校の高校生のみなさんからたくさんの反響をいただくことができた。高校生なのでInstagramのアカウントを持っている人が大変多く、自分たちのInstagramのフォロワーを増やすことができ目標のひとつでもあった“Instagramを使って地域を活性化”を達成できたのではないかなと思う。

また、発表が終わってから頂いた他校からの評価シートには

- 綺麗な写真がたくさんあって分かりやすいし興味が持てた
- 実際に本物のスターチスやInstagramに載せている物を持って来ていてわかりやすかった

等のスターチスについての事や、

- 身振り手振りなどを使っていて内容がより分かり易かった

- 実際に活動していることを元にプレゼンしており、説得力があった
- 地域のことを題材にしていいていい

等の自分たちの発表についてのことにも書いていただくことができた。

1 3. 考察

自分たちがこのように一年間活動してきたことで、地域に何かしらの影響をあたえることができたのだろうか。自分は本当に小さいことだけでも与えることができたと思う。自分たちが活動してきた中で出会った方々から自分たちの活動がどんどん広まって、最終毎日新聞にまで掲載されることになったし、SGH 甲子園に出場することさえできた。これらの事が地域活性化につながっていけたら自分はうれしく思う。

また、今後の課題としては、今回の活動の中でできなかった“スターチスの売上高から見て、地域にどのような影響を与えているのか”ということを調べることである。

今回設定したこの題材から派生し、内容をより詳細に設定することで多くの人々にスターチスについて知ってもらうことが可能だと推測している。

参考文献

- スターチスとは-コトバンク
<https://kotobank.jp/word/%E3%82%B9%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%83%81%E3%82%B9-83948> (2018 年 6 月 18 日検索)
- 讃岐幸治「高校生の地域（貢献）活動を考える (pp. 1-2)
<http://kochall.org/25houkoku/p40-47.pdf>

緊急時持ち出し用ハザードマップ

A Portable Hazard Map for Emergency Use

地域防災分野 文責：森本 晃仁

(メンバー：中川優希 濱本彩花 堀本妃夏 前田浩希 森本晃仁)

Abstract

Gobo's hazard map has some faults. We decided to make a better hazard map by analyzing the current one, deleting unnecessary information while adding necessary information. The worst point of the current map is that it can only be put up on the wall in our homes. It would not work well in the event of earthquake. Therefore, we aimed at making a “portable hazard map” and we made a map which can be used of after a disaster has occurred.

1. はじめに

自助について調べていく中で、公助ではカバーし切れない部分や問題点を見つけ、それを自助で処理するという方針を立てた。実際に役場に行き防災課に話を聞いたところ、行っている防災対策としてハザードマップの作製や避難訓練の実施などが挙げられた。その中で私はハザードマップに注目した。ハザードマップとは防災対策の基本であるが、アンケートの結果、家においていることを知らない人や家のどこに置いているか分からない人が多いということが分かった。また自助について調べていた際に見つかった問題点「発生直後はパニックに陥り適切な行動をとれない」を合わせて、最終的な方針を理解していない人が多かった。この現状を打破するために従来とは異なるハザードマップを作ることに決めた。

2. 現状分析

実際のハザードマップには、表に地図、裏にさまざまな情報が載っている。具体的に書かれていることは津波の浸水度、避難の大まかな方向、避難所、主要な建物海拔、南海トラフの説明、地震津波についての基礎知識、避難の流れ、自主防災の勧め、マイマップの作り方、非常時持ち出し用

品、連絡方法、避難先リストであり、書かれている内容はほとんどが地震津波発生前に必要なことである。また、発生後は、必要な情報等についてじっくり見ている時間や余裕がないことが考えられる。さらに発生前の対策といっても普段は地震津波の実感が薄く、意識していないことが多い。つまり、どの時点においても、今一つ効果を発揮していないことがわかる。

3. 目標設定

まずは目標を絞っていくことから始めた。

- ① (いつ) 地震発生後から避難中避難生活の際に活用されるものである
- ② (どこで) 避難バックに入れておくものである
- ③ (誰が) 役場などが住民に対して配り、住民が使うものである (旅行者を対象としない)

これらを前提として目標を設定する。

- ①載せる内容は発生直後から必要な情報のみとし、緊急時でも見やすい工夫をする。
- ②避難する際に使うため、かさばらないサイズにする。
- ③住民はある程度の地理を知っているものとする。

さらに、前述した「発生直後はパニックに陥り適切な行動をとれない」をなくすことを目標に、これらを総合し、避難時に持ち出して使用する

「緊急時持ち出し用ハザードマップ」を作成することにした。

4. 研究の手順

①緊急時に見やすくなるような工夫を考える。

御坊市のハザードマップは地の色が肌色で文字にはさまざまな色が使われている。また文字数が多く必要な情報だけを瞬時に読むのは困難である。よって重要な情報を目立つ色を用いフォントを大きくして載せ、全体的に文字数を減らす。

②御坊市のマップに書かれている情報をリストアップし、分析し必要な情報と不必要な情報に分ける。また新たに必要な情報を付け加える。

(必要な情報)

- ・避難所
- ・浸水度
- ・避難の流れ
- ・避難の大まかな方向
- ・緊急時連絡方法

→より簡潔にまとめ見やすくする

(不必要な情報)

- ・主要な建物

→住民はある程度把握しているものとし削除する

- ・海拔

→川が近いなどの要因で危険度は変わるため高さの表示は誤った判断を招く

代わりに浸水度を避難の目安とする

- ・南海トラフの説明
- ・地震津波の基礎知識
- ・マイマップの作り方
- ・非常時持ち出し品
- ・避難先リスト

→*避難後からは不必要なので削除する

(追加情報)

避難所レベルの表示

→避難の際に自分が逃げることのできる範囲の中で安全度が高い建物を選ぶことができる。

- ・避難所レベル移行矢印

第一波がきた後により安全な避難場所に移行するときに目安となる。(東日本大震災では安全とされていた避難所からさらに高い場所に避難することで多くの命が救われた教訓より)

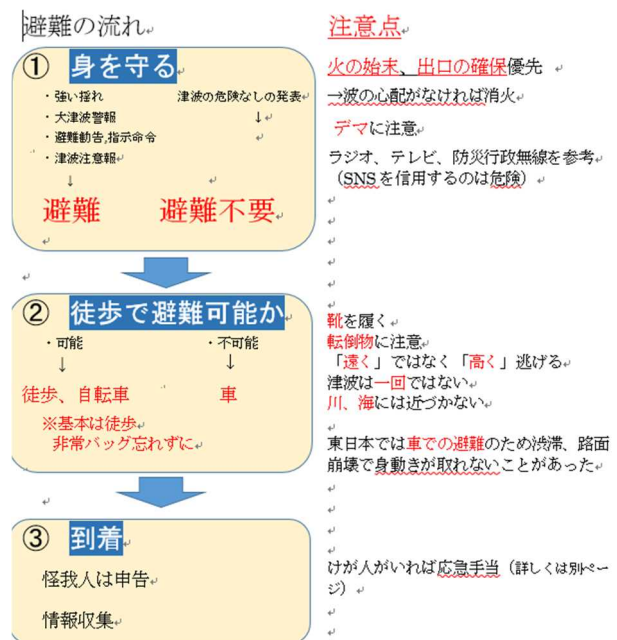
- ・応急処置の仕方

→本格的な処置はすぐにはできないので応急処置を知っておくと便利である

③構造設定

御坊市のものと同じように、表に地図、裏に情報を掲載する。冊子タイプにすると8ページくらいになってしまう。めくるのが手間になり地図が小さくなる、またはページをまたいでしまうと考え、一枚の紙を折りたたむタイプを採用した。サイズは持ち運びができるようにA4サイズ4枚分で、折りたたむとA4サイズになるようにする。

5. 成果



怪我の応急処置

軽いかすり傷：水で洗浄→傷の乾燥を防ぐ

出血のある場合：きれいなハンカチ、タオルをあてる

→傷口を強く抑える→傷口を心臓より上の位置へ

やけど：衣服の上からでもとにかく冷たい水で冷やす



歯が折れる・抜けた：口中に出血がある→きれいなガーゼなどで押さえる

打撲による捻挫など：安静にする→氷で冷やす→圧迫する→高く上げる



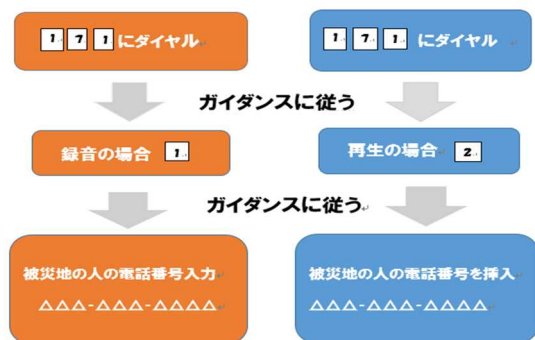
忘れてイナイ（171）？
災害伝言 1 7 1

電話・携帯電話から
家族や友人と連絡や確認を取りたい！

【ご利用方法】

伝言録音方法

伝言再生方法



(注 実際はカラーで作成した)

6. 考察、まとめ

緊急時においてより見やすく、より活用しやすいするためにはどうすればよいかを徹底的に調べ考えた結果、このような成果となった。最大の難点は緊急時に必要な情報は無数にあるということ

である。備えあれば憂いなしに則るならたくさんの情報を書くのがよいのだが、緊急時に見て、理解して、実行するということを想定するため、情報の取捨選択や書き方などを考えるのに相当な時間を要した。また見やすさと必要な情報のふたつの観点に絞ると状況によってどちらが優先されるかが異なる。私が「避難の流れ」のページを担当した際に気をつけたことは、情報量よりも見やすさである。理由は、三枚のページの中でこの内容が最も命の危険が迫っている状況だからである。つまり瞬時に行動を始めなければならない、必要な情報であっても読む妨げになる可能性があるからである。他の情報も入れたかったが断念した。応急処置のページでは、文字ではなくイラストを用いることでより見やすくした。

7. 所感

研究目標が二転三転した結果、ハザードマップ作成を決定したのは最後の最後となり、かなり時間的余裕がなかった。そのため最終目標は情報を書かれてある面と地図が載ってある面を作成することであったが、実際に作れたのは情報面だけであり、一枚のマップにすることができなかった。しかし研究目標が変更される前に調べていた内容が役に立つこともあり、すべてが無駄というわけではなかった。最終目標は、私たちのハザードマップを御坊市に持っていき、この案を採用してもらうことだったのだが、これも時間の都合上できなかった。結果は中途半端に終わってしまったが、内容だけを見れば、当初の目標であった緊急時に見やすいハザードマップにするという点ではさまざまな観点から考えることができ、今の御坊市のマップを超えるものができた。

参考文献

御坊市のハザードマップ

(<http://www.city.gobo.wakayama.jp/kurasi/bosai/hazardmap/1411108838375.html>)

日高高校グラウンド改良計画

A Plan to Improve the Athletic Ground at Hidaka High School

地学分野 文責：中濱 未有

(メンバー：坂口嘉隆 塩崎あみ 中井大雄 中濱未有 松山歩未)

Abstract

Many grooves in our school's athletic ground can be seen after it rains--less than ideal conditions on which to practice sports. Believing this to be an issue of the ground's drainage, we focused our attention on the ground's sand particles and its slope. We collected sand samples from the athletic grounds of schools in the Hidaka region, measured their permeability, and sorted the sand by size and weight. In addition, we measured the ground's slope to create a three-dimensional model. Our study reveals that soil degradation is the cause of the grooves observed after rain, and that improvements must be carried out. Furthermore, we created an instrument to measure soil permeability and considered evaluation criteria in conjunction with its use.

1. はじめに

日高高校のグラウンドは雨天後、水が溜まり部分的に溝ができてしまうこともあり、良い状態と言えなくなることが多々ある。この原因はグラウンドの水はけに関係があると考え、私達はグラウンドの粒子に着目した。本研究では日高郡内の学校(小・中・高)のグラウンドの土を採取し、各校の水はけを調べ、粒度ごとに分類、比較検討をし、考察した。

そして私たちは、最終的に“水はけの良い土を作り、それをもとに日高高校のグラウンドを改良してもらう”ということに決め、調査を開始した。

2. 目的と意義

この調査の目的の一つ目は「水はけと粒度の関係を明らかにする」である。粒度分布の違いによって水はけにかかる時間は変わるのかどうかという点に着目した。

二つ目は「勾配と水はけの関係を明らかにする」である。一見グラウンドは平坦に見えるが実際には設計された段階から傾斜がつけられている事がわかったので二つ目の着眼点を勾配にした。

3. 仮説

- 一、「学校種が上がるほど上質な土を使っている」
- 二、「粒度が大きいほど水はけが良い(粒度平均値が高いほど水はけがいい)」
- 三、「コンシディット値 0 の土は実験した土の中で最も水はけが良い」

四、「勾配の高い方から低いほうへ水が流れ、勾配が低いところに水がたまる(今回調査した範囲の土が大きく削れている)」

4. 研究方法

まず、水はけの「良い」土と「悪い」土の定義を決めるために、日高地方の 13 の小学校・中学校・高校の土(15 地点)を採取した。

採取した学校は「和田小学校」「松原小学校」「湯川小学校」「南部小学校」「中津小学校」「御坊中学校」「松洋中学校」「南部中学校」「中津中学校」「紀央館高校」「南部高校(グラウンド・黒土)」「日高高校中津分校」「日高高校(グラウンド・砂場)」で、これらの土を使って三つの実験を行った。

①「透水実験」

透水力を計るために私たちは透水力計測器を製作した。

[透水力計測器の作成方法]

- (i) 2 リットルペットボトルを下から 15cm ほどの部分で二つに分ける。
- (ii) 切り取った下の部分は底に約 3mm の穴を 6 ヶ所ほど開ける(これがシャワー部分)
- (iii) 切り取った上の部分はペットボトルの飲み口の部分を切り取る。
- (iv) 飲み口の部分に耐水性のある接着剤で薄い布を貼り付ける。
- (v) 布の不要な部分を切り取る。(本体部分)

(vi)下から順にビーカー(500ml)、本体、シャワーをセットする。

〔計測の仕方〕

(i)計測する土 150ml を計測器に入れ、土をならす。

(ii)計測器にシャワー部分から水 300ml を入れ、動画の録画を開始する。

(iii)水を入れた瞬間から、装置から水が 250ml 出た時点までの時間を測定する。

(iv)採取した 15 地点の土を無作為に選び、同様に実験する。

この実験で各校の水はけの良さを透水にかかった時間をもとに調査した。

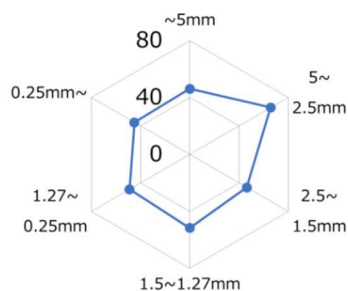
②「粒度分類」

各校の土を 0.25mm 以下、1.27mm 以下、2.5mm 以下、5mm 以下の五つの振るいで分類した。この実験では各校の土にどの粒度の土がどのような割合で含まれているかがわかる。

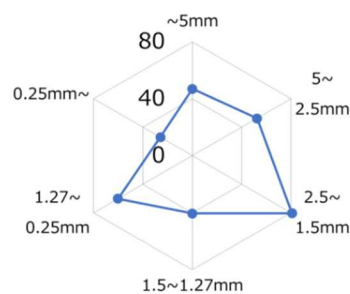
③「理想の土の作成」

仮説で述べた「コンシディット値」とは、まず粒度分布のバランスと水はけを調べるために、各階級の粒度分布を偏差値で表し、六角形の偏差値チャートを作成した。すると六角形が大きく崩れている学校ほど水はけが悪い傾向にあるとわかった。(資料 1 は南部高校のグラウンドの土で水はけ順位は 4 位)

(資料 2 は日高高校の砂場の土で水はけ順位は 13 位)

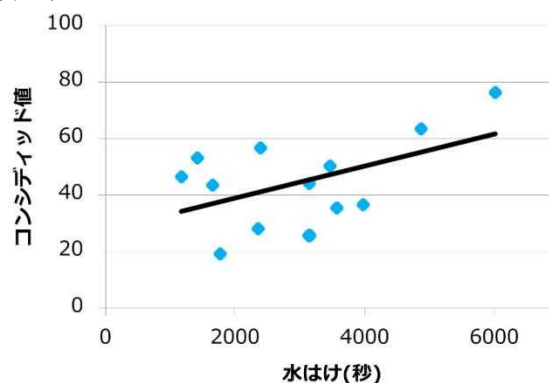


(資料 1)



(資料 2)

そこで六角形の崩れ度合いを表す値をコンシディット値と名付け、水はけとの相関関係を調べた。(資料 3)



(資料 3)

〔理想の土の作成〕

まず、コンシディット値 0 の土 150ml を配合する。土の種類によって結果に影響が出ないようにするため、採取した学校の土を混ぜ合わせたものを無作為に選んで使用した。

次に実験①と同じ方法で水が 250ml 出るまでの時間を計測する。

④「勾配測定」

レベルトラコンという測量器具を使って実際のグラウンドの 20m 四方、121 地点でグラウンドの勾配を調べた。

〔測定器の準備〕

(ア)20m の紐に、2m 間隔で印をつけたものを 2 本用意する。

(イ)トラコンの水準器を平行にし、接眼部が地表から 1m になる位置で、垂球が地面につくように調整する。

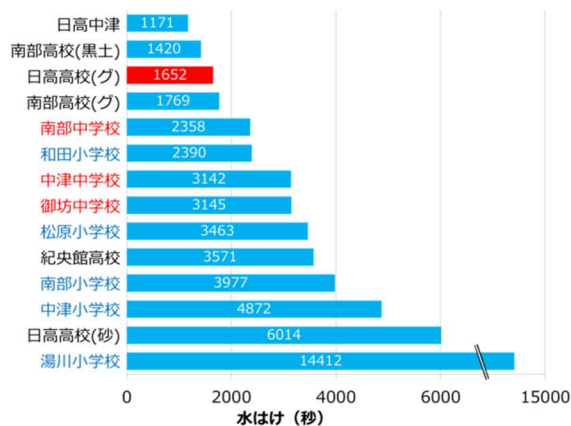
(ウ)1m を基準とした 1cm ごとにメモリのついた紙を作り、裏に厚紙を張る。

- (エ)棒の先端から 1m の位置と(ウ)で作った紙の 1 m の印を合わせてテープで固定する。
- (オ)厚紙の上に水準器をテープで固定する。(標尺)
- [測定方法]
- (ア)測定する地点のポイントに垂球を付け、水準器が水平を示すようにトラコンを置く。
- (イ)2m 先のポイントに水準器が水平になるように標尺を置く。
- (ウ)トラコンの接眼部から標尺を見て、見えた数値を記録する。
- (エ)これを繰り返す。

5. 研究結果

①[透水実験]

計測結果は(資料 4)。



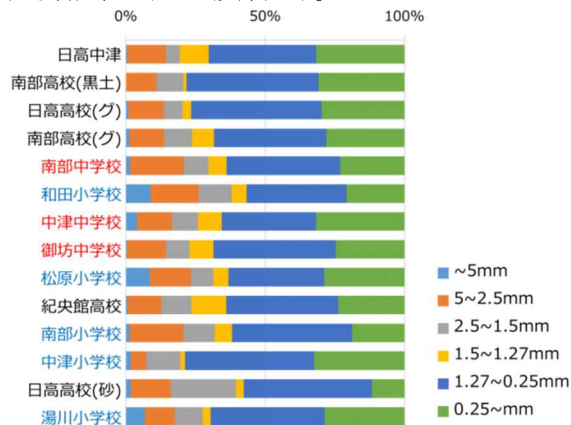
(資料 4)

かかった時間を秒で表している。

湯川小学校は異常値が出たため、考察からは除外した。

②[粒度分類]

計測結果の表は(資料 5)。



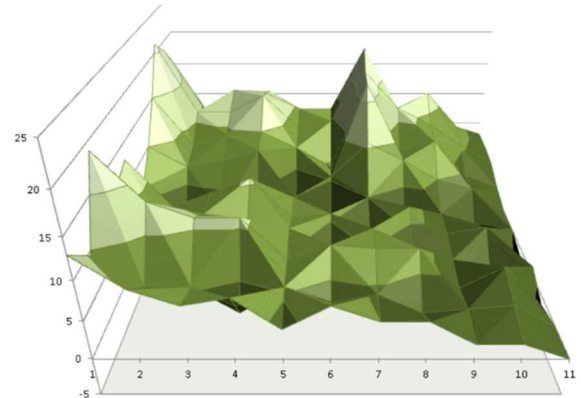
(資料 5)

③[理想の土の作成]

理想の土の透水実験の結果の数値 (コンシデジット値 0) は 5700 秒 (95 分) で、資料 4 に当てはめてみると全体の 13 位と非常に水はけが悪い土であった。

④[勾配測定]

勾配測定の結果を 3D モデルにしたのが(資料 6)



(テニスコート側) (資料 6) (体育館側)

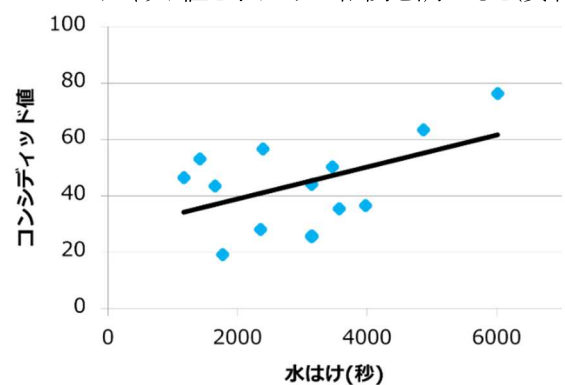
勾配の高い地点と低い地点でかなりの差があることがわかった。

6. 考察

①「透水実験」と②「粒度分類」より、粒度分類と水はけの相関関係を調べると、二つの相関係数は低い数値を表し、二つに相関はなかったことがわかり、ここで、「粒度が大きいほど水はけが良い」という仮説は成り立たないことがわかった。そこで水はけに関係するのは粒度の大きさではなく、どの粒度の大きさがどのようなバランスで含まれているのか考えた。

そこで利用したのがコンシデジット値である。(実験③)

コンシデジット値と水はけの相関を調べると(資料 7)



(資料 7)

相関係数は 0.5054・・・と相関があると認められる数値を得ることができた。よって、コンシディット値が少ない土ほど水はけがよいという考察を立てた。

しかし、実際は、コンシディット値が0の土は全体の13位と非常に水はけが悪い土だとわかった。

このことから、水はけと粒度に関係があるか、多方面から調査してみたが、決定的な、また、確かな因果関係があるといえる結果が得られなかった。

そこで次に④「勾配測定」を行った。

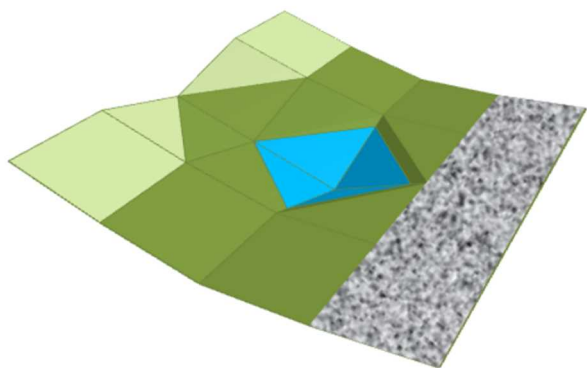
3D モデル（資料6）を見るとわかるように、調査した箇所のグラウンドの中央ラインが大きく削れている（色が濃くなっている箇所）。

この削れている部分はもともと周りより僅差で勾配が低かった部分に長年雨が降り続け、削れてしまい、現在の川の形成に関与しているといえる。

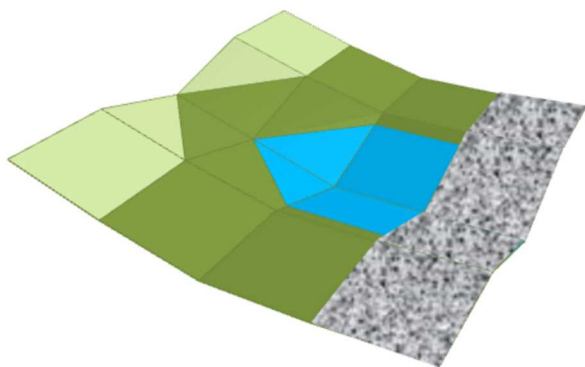
しかし、川ができる原因とその削れている部分に雨水が溜まるというのはまた違う原因だと考えた。水が溜まる原因は側溝のコンクリートにあるという考察だ。

側溝より低いところに流れ込んだ水は流れ出すことが困難になる。これが水溜りの原因だと考えた。

その改善策として、コンクリートをVの字にすることを考えてみた。（資料8・9）



（資料8は現在のグラウンドの様子）



（資料9はコンクリートをV字にした図）

グラウンド設計時にあらかじめ川ができることを考慮に入れておくことで、通常より長く快適にグラウンドが使えると考えた。

7. 結論

本校のグラウンドの水はけが悪い原因として、粒度と水はけの関係について明確な根拠が得られなかったが、実験④の勾配実験の結果から、長年の浸食作用によってできた川が、側溝のコンクリートによって水が流れ出し辛くなり水が溜まるのだとわかった。

私たちの班は、水はけが悪い原因は長年のグラウンドの老朽化であり、修復する必要があると結論付けた。

しかし、一度修復するだけでなく、こまめなメンテナンスが必要であり、その費用は積み重ねると膨大な額になるので困難だとわかった。

また、今回の研究のほとんどが私たちの班の独自の実験方法で様々な方面から試行錯誤して行ったので、実験結果を確かなものにするのに困難することも多く、しかしまた、独自の方法で結果が得られたことが良い経験にもなったと思う。今回の実験が今後のより良いグラウンド作りや修復に役立つと思いたい。

8. 謝辞

今回の研究でグラウンドの土の採取に協力していただいた、

和田小学校、松原小学校、湯川小学校、南部小学校、中津小学校、御坊中学校、松洋中学校、南部中学校、中津中学校、紀央館高校、南部高校、日高高校中津分校の皆様、

グラウンド工事の現場を見せてくださった株式会社古部組の皆様、そして今回の研究を指導してくださった林隆史先生に心から感謝いたします。

9. 参考文献

日高高校百年誌 P.297、P.642

SG課題研究Ⅱ

1 成果発表会グループ別要旨

研究分野 〈 地域文化 〉 グループ 〈 1 〉

研究テーマ : 和歌山みかんの歴史と知名度
発表者名 : 大鵜 望、五味 信、出口 瑠人、西村 嘉記

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

地元の食材についてもっと知りたいと思い、またどのようにして自分たちの地域に伝わってきたのかを知りたかったので、食文化というテーマを設定した。その中でも和歌山県で有名なみかんに絞って調べた。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

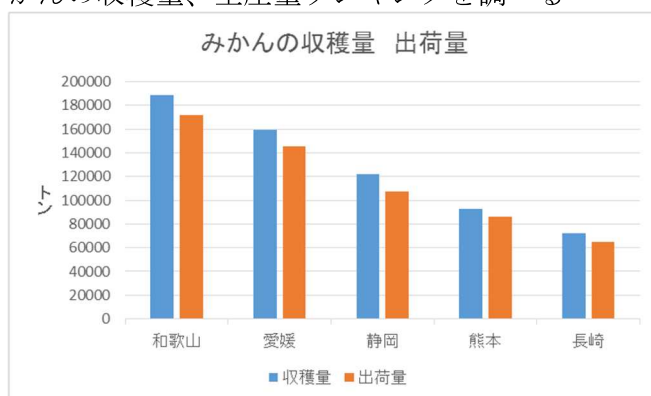
研究目的

- ・全国的に見ると和歌山のみかんより愛媛のみかんのほうが有名なように思える。その理由を調べるとともに、和歌山のみかんを広めたいと考えた。
- ・和歌山はみかんで有名である。みかんがどこから伝わってきたか、なぜ和歌山でみかんが作られるようになったのかを知りたいと考えた。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

- ① みかんの収穫量、生産量ランキングを調べる



- ② みかんの歴史について調べる

参考文献：古事記、日本書紀、県史

- ③ 日高川町役場を訪問し、みかんの種類や和歌山みかんの認知度、またそうである理由について聞く。

Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

和歌山県のみかんが愛媛県のみかんより全国的に知名度が低いのは、和歌山県のみかんは出荷先がすでに決まっているので今以上に広める事は難しいからだ。しかし和歌山県のホームページによると和歌山県のみかんを広めようとしている。日高川町役場の方の話によると現時点では新しく出荷先を探さなくても収益が十分に足りているので新しく出荷先を探す必要がないという事だった。新しい就農者が出てくれば販売先の拡大につながるかもしれない。

みかんが和歌山で多く栽培されるようになったのは、江戸へみかんを送って好評だったのと藩の奨励もあってみかんの生産が拡大したことが分かった。

みかんの歴史の面では日本にみかんが伝わって来たとされる説が書物によって異なっているため、正確には断定できない。また、和歌山県でみかんに関わった歴史の人物である紀伊国屋文左衛門は、みかん伝説など有名な話を作ったのでこれからは、僕たちが広めていきたい。

研究テーマ : 日本の行事食

発表者名 : 酒本 水星、井手段 あゆ、前山 あゆみ、前本 安優、古田 夏也

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

食文化に興味があり、その中で私たちの身近に関わる行事食や地域の郷土料理などの時代につれての移り変わりや変化を知りたいと思った。

また、昔の風習などが薄れていき若い世代の人たちの認知が少なくなっているのも、私たち世代が積極的に日本人として自分の国や地域の文化を知っておくのはいいことだと思うから。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

- ・本やインターネットを使用した調べ学習や、アンケート、店舗訪問により自分たちの食文化についての知識理解を深めること。
- ・得た情報をまとめて発表し、若い世代の人たちに自分たちの国や地域の食文化について認知してもらうこと。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

①和歌山の食品について調べ、アンケート（2年生の1～4組まで）を取った。

→アンケートの結果より、「なれ寿司」「めはり寿司」を調べることに決定。

②図書館の資料を使い、歴史や製法について学んだ。

→「ハツ房」へ訪問し、なれ寿司について詳しく話を聞かせていただいた。

③調べたことをまとめ、中間発表を行った。

→アドバイスをいただき、今後の方針について話し合う。

④奈良県にある「平宗」へ訪問し、寿司についての知識を深めた。

①～④より、特に祭りの際に多く消費されているという結論になった。

→「祭」という点に着目し、行事食に興味を持った。

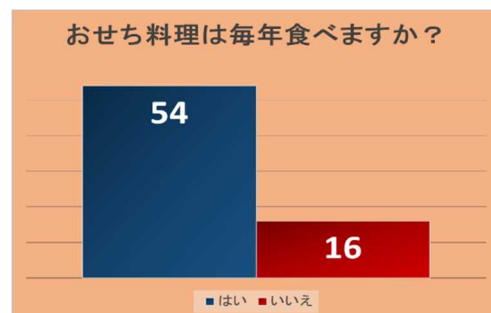
⑤行事食について調べていく。

→日本の五節句や、行事食について調べる。

↓

⑥行事食についてのアンケート（2年生の1・2組）を取った。

→現在の若い世代の人たちの行事食についての現状が分かった。



Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

- ・知らないことに対しての知識を得ることができ、行事食への関心も深まった。
- ・地域に根付いた食文化について詳しく知ることができた。
- ・調べ学習中心となったので、もっと現在の人々の声を聞いたほうがよかった。

研究テーマ : 道成寺説話とジェンダー

発表者名 : 畑 虎太郎、高尾 珠莉、中野 亜美、中筋 紗利亜、宮崎 夢乃

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

地域に伝わる道成寺説話はなぜ現代でも語り継がれているのか、魅力はどこにあるのかを明らかにしたいと考えた。

実際に道成寺を訪れると住職に男女をひっくりかえして考えてみたらと言われた。道成寺説話と今問題になっているジェンダーとを関連づけて考えてみることで、道成寺説話の魅力を解き明かしたいと思った。

また、日本人の女性に対する先入観をふまえ現代と過去、日本と海外のジェンダー問題を明らかにしていきたいと思い、古典とジェンダーについて研究していくこととなった。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

日本人の女性に対する先入観をふまえ道成寺説話とその他古典文学（とりかえばや etc...）、海外(シンデレラ etc...)の物語を比較することにより道成寺説話の魅力を考え、なぜ道成寺説話が語り継がれてきたのか理由を明らかにする。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

①道成寺説話を読み込む

→道成寺説話についての疑問点をだす

②道成寺を訪問し絵解き説法を聞かせてもらう

その後事前に用意していた質問を住職に問う

→安珍と清姫のイメージが変化した

道成寺説話について様々な知識が増えた

③道成寺説話を安珍と清姫の性別を入れ替えて考えてみた(男女逆転)

→ジェンダーについて問題ができた

④ジェンダーについて調べる

→世界のジェンダー問題

世界のジェンダー指数って何？

⑤他の古典の作品を読んでみる

→古典の中の女性の共通意識が分かった。

⑥海外の作品を読んでみる

→道成寺説話と海外の作品の共通点が分かった

⑦道成寺説話、古典作品、海外作品を比較してみた

→道成寺説話は日本の古典作品よりも海外作品により近い

⑧考察する

→今まで語り継がれている道成寺の魅力とは？

Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

他の日本の古典文学と現代の感覚は女性が待つというジェンダー意識があるのに対して、道成寺説話はシンデレラやアナと雪の女王のように女性がアクティブに動く海外作品に似ている。

→今でも道成寺説話は語りつがれている

研究テーマ : 和歌山県内の地名の由来

発表者名 : 坪田 幸也、西浦 拓末、吉留 拓磨、山崎 大輝、山田 直朗

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

地域文化を調べるにあたり、最初に注目したのが石碑だった。その中で、みなべ町が「御名部」と彫られていることに気づき、みなべ町の地名にはどのような経緯があるのか、また、他の地域ではどうだったのか興味を持ったから。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

- ・資料を読んで、まず自分たちが地名の由来について知ること。
- ・地元の地名の由来を、発表を通して周りの人にも知ってもらい、より一層地元に愛着をもってもらう。
- ・地名のつき方、名前の由来に共通点（和歌山ならでは）があることを明らかにする。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

- 1 県内の石碑を調べる。
 - 御名部の記述を見つける。
- 2 みなべ町の歴史について調べる
 - 古事記開化の巻に「御名部の造」と記される。（史上初）
御名部内親王の嬪姪娘が住んでいたから。
 - 御名部の他にも、三鍋、南部の表記を見つける。
三鍋・・・みなべの海にある鹿島が3つの鍋をひっくりかえしたように見えるから。
南部・・・日高郡は、昔、六郷<内原、財部、清水、石淵、余部、南部>があり、南部が最南だから。
 - ↓
 - 南部が定着
- 3 日高郡についても調べる。
 - ・大化元年（645）頃は飯高と呼ばれていた。
 - ・713年に次期天皇「元正天皇」の御名が「氷高（飯高）」であり、「飯高」の地名は天皇の尊名を犯すとして「日高」に改名された。
 - ・745年、聖武天皇の頃「日高」の地名は法制化される。
 - ↓
 - 以後ずっと日高のまま
- 4 御坊
 - 1595年、浅野家重臣の佐竹伊賀守が、当時豊臣秀吉の侵攻により焼失していた「浄土真宗本願寺御坊（日高別院）」を再建。周辺住民がそれを「御坊さん」と呼んだので、以来この土地の名前は御坊で定着した。
- 5 和歌山
 - ・畿内南部に位置する若の浦という地が景勝の地として多くの人を訪れ、平安時代中期ごろ、多くの歌人が歌枕にしてきた場所で、そのため次第に「和歌浦」と呼ばれるようになった。
 - ・羽柴秀吉がこの地に和歌山城を築城する際、「和歌浦」に対し、和歌浦の「和歌」と岡山（山陽地方の「岡山」のことではなく、この土地の古い名称である「岡山」のこと）の「山」を合わせ、「和歌山」と命名した。
 - ↓
 - 「和歌山」が定着

Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

最初はその土地の特徴からとった地名が多いと予想していたが、実際調べてみると、そういう由来の地名もあったが、天皇や大名など身分の高い人が関係している地名が多かった。

反省点 ・ 中間発表で近畿大学の教授から頂いた助言を活かせられなかった
・ 活動の方針を早く定められず、取り組むのが遅れ、後半時間が足りなかった。

研究分野 〈 地域文化 〉 グループ 〈 5 〉

研究テーマ : 和歌山県の文化について知ってもらおう

発表者名 : 三宅 蓮、立野 聖奈、林 里奈、小川 真由

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

和歌山といえばみかんや梅を頭に浮かべる人が多いが、知られていないだけで他にもたくさんの魅力があるはずだと私たちは考えた。だから、それを知って県内や県外の人にもっと和歌山を好きになってもらいたいと考えた。和歌山の元々あった活気を取り戻そうと思い、どのようにして他府県は活気ある町づくりをしているのかについて調べた。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

みんなの知らないような和歌山の魅力を調べて、県内や県外の人にもっと和歌山を好きになってもらい、元々あった活気を取り戻す。今と昔の生活を絵本で比較することや、おもちゃ館での体験をふまえて自分たちでおもちゃをつくることを目的としてきたが、この目的では他県との比較が分かりにくいと思ったため、他県と比較しやすい祭りについて調べてカレンダーを制作する。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

- 1 音楽、映画について学年アンケート 集計
好きな歌手ベスト3 好きな映画ベスト3
①backnumber ①君の名は。
②RADWINPS ②コナン
③西野カナ ③ハリー・ポッター
- 2 昔遊びと方言について調査
- 3 老人ホーム訪問 インタビュー
- 4 昔の生活全般を調査
- 5 校外研修でおもちゃ館にて体験
- 6 中間発表をふまえてテーマ再確認
- 7 祭りについて調査（1道1府6県）
- 8 カレンダー制作

Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

方言は日常茶飯事に使用しているものの、方言と気づかずに使用していることが多かった。老人ホームでのインタビューでは、おじいさんやおばあさんとの会話の中で私たちにわからない方言が多かった。他県と比較してみると、和歌山県の方言はあまりきれいな響きではないと感じた。そして、近畿地方では京都弁が一番人気であることがわかった。祭りについて調査した結果、それぞれの地域の気候にあった時期に行われていることがわかった。自分たちにも知らないことがたくさんあり、和歌山県についてあまりにも無関心だったのだと思った。

研究テーマ : 和歌山の特産品を使って商品を開発しみんなにたべてもらう
発表者名 : 西 涼雅、木坊子 俊資、藤木 美歩、龍田 実可子、増金 茉莉花

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

食文化について調べていく中で、和歌山県の特産品について自分たちが知っていることがあまりにも少なすぎた。そこで、私たち以外の人もあまり知らないのではないかと考え、特産品を使った新商品を中心にみんなに広めようと考えた。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

- ・調べ学習・アンケート調査を通して、まず自分たちが地域の食文化について知ること。
- ・多くの人に和歌山の特産品を知ってもらうこと。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

- ① 和歌山県の特産について調べた。
- ② その中から何種類かの食材を選び詳しく調べた。
(梅・温州みかん・金山寺味噌・釣鐘まんじゅう)

- ③ 釣鐘まんじゅうを商品開発することに決定する。

↓

既製品をアレンジすることが難しいため却下。

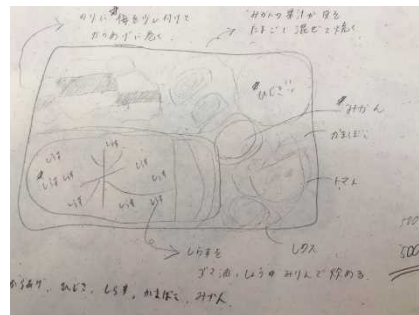
- ④ 中間発表
- ⑤ 次の案として「お弁当」に決定する。
- ⑥ お弁当についてのアンケートを実施する。
※ アンケート内容について（対象：日高高校2年生全員）
 - ・お弁当に入っていてうれしいおかず。
 - ・お弁当に支払える金額はいくらまでか。

※ 結果・・・お弁当に入っていてうれしいおかず。

1位 唐揚げ	2位 たまごやき	3位 温州みかん
お弁当に支払える金額はいくらまでか。		500円まで

- ⑦ アンケート結果をふまえて、具体的にお弁当の中身を決定。
(梅からあげ・たまごやき・みかん・しらす・ひじき・トマト・かまぼこ)
- ⑧ あげもの屋SUNに協力依頼をしようと考えていたが、生徒にアンケートをとっておかずを決定したため、生徒の皆に食べてもらいたいと考え、ホールにお願いすることにする。

- ⑨ ホールに願ひする。→すぐに O.K
- ⑩ レシピ作りをする。
- ⑪ 名前決定……「農家・漁師総動員弁当」
- ⑫ 試作品を作る。
- ⑬ 工夫……たまごやきにみかん果汁と皮を加えて焼く。
和歌山のしらす・みかん・ひじきを使う。
- ⑭ ポスター作り



↓生徒の目に入りやすいホールに貼ることにした。



Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

- ・ 2月5日お弁当を販売した結果、10個中9個売れた。
- ・ 購入者からは大好評だった。
- ・ 自分たちのやりたかった事が出来て良かった。

研究テーマ : 寺内町について

発表者名 : 石橋 正教、村井 恭也、保田 智也、浦辺 知佳、小谷 紋加

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

中間発表までに御坊市周辺の名所を5箇所ほど巡った。

中間発表終了後、班での次の目標が明確でなくなってしまう、話し合った結果、多くの名所を調べるのではなく、一箇所に絞って詳しく調べていくことに決まった。

日高高校の近くにあるが私たちの班には御坊市民が少なく寺内町に行ったことがない人がほとんどで、詳しい知識を持っていないため調べることにした。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

- ・御坊のよい所を再発見する。
- ・私たちの身近にある歴史についての知識を深める。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

<一学期～中間発表まで>

日高地方の名所についてネットや本で事前学習で訪れる名所についての知識をつけてから、名所に足を運びネットに載っていない情報を実際に目で見て確認する。

学校に戻ってから、訪れた名所について事前学習で得ていた知識と実際に見て違った点をグループで共有する。パワーポイントにまとめる。→(中間発表)

<中間発表～最終発表>

中間発表後、班の明確な目標がなくなってしまうため班で話し合いをした結果、寺内町一箇所に絞って調べていくことに決まった。

ネットや図書館でより詳しく調べ、寺内町会館、語り部さんに寺内町を案内してもらい直接寺内町について学んだ。

Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

ネットで調べるだけでなく実際に足を運び自分たちの目で見ることで、より濃い学習をすることができた。

また、普段何気なく通っている道が寺内町の一部だということを知り、改めて私たちの身近に歴史はあるのだと感じた。

寺内町について調べることで、御坊市の歴史についても新しい知識をつけることができた。

研究テーマ : 温故知新 104 年間地域と共に歩んできた日高高校
発表者名 : 上山 皓生、小川 敬、川口 直矢、谷輪 帆風、松本 和花

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

現在私たちは 104 年という長くて深い歴史をもつ日高高校に通っている。しかし、「その歴史を知っている人」と、「この高校が心から好きな人」が共に少ないのを残念に思った。この現状を改善するためには、まず、「自分たちが日高高校の成り立ちを知り、他の生徒、先生方、地域の人に伝えなければならない。」と感じたから。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

- ・日高高校が日高地方と共に築きあげてきた文化を知ること。
- ・日高高校の歴史を知り、その歴史から現在の問題点を見出し、改善して、その先にある未来の日高高校を推測すること。
- ・知った文化、歴史を他の生徒、先生方、そして地域の人などに幅広く共有すること。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

- ①「日高高校百年史」を読む。
 - ・日高高等実科高等女学校の設立
 - ・教育課程の変化（裁縫、家庭中心から英語などの上級学校に進むための課程へ）
 - ・商業科と工業科の分離
 - ・SSH に指定される。
 - ・和歌山県立日高高等学校附属中学校の開校
 - ・SGH に指定される。
- ②他校のおもしろい取り組みや行事を調べる。
 - インターネットにあまり載ってなくて焦る。
- ③日高高校についてのアンケート
 - 1・2・3 年生、先生に別々のアンケートを実施
 - 「学校が多く取り組みをしているため、望めばたくさんの経験を積むことができる。」
 - 「設備に不満を持つ生徒が多い。」ことが判明！
- ④中間発表
 - 「周りの人をいい意味で巻き込んだり（卒業生にインタビューなど）、日高高校の未来を推測してみたりしてはどうか」と助言をいただく。
- ⑤日高高校卒業生にインタビュー
 - 商業科と工業科の分離時の苦労や修学旅行などの学校行事の現在との違いを知った。

Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

自分たちが思っていたよりも日高高校は深い歴史を持っていた。今の日高高校に至るまでに起こったさまざまな過程を知ることができ、自分たちはもっと日高高校に誇りを持つべきだと思った。
SGH に指定されたことで海外研修等の機会が増え、これから世界がより身近に感じられるようになっていくのではないかな。

研究テーマ : 誰にも知られていない真実

発表者名 : 酒井 康行、武内 彩夏、森口 奈美、横畑 沙英

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

ベネズエラでは、近年経済が悪化しており難民が増えている。テーマ通りあまり日本人には知られていない真実を皆さんに知ってもらいたいと思い、ベネズエラの難民問題について調べた。最初は、一般的な問題を調べようと思ったが、ベネズエラという難民問題にしては関心の薄い国に焦点を置くことで、私たちも他国の難民問題についてより深く理解したいと思った。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

- ・よく知られていない難民問題について周りに知ってもらい、また自分たちもより深く理解すること。
- ・ベネズエラと隣国との状況や関係を知ること。
- ・今のベネズエラ経済が国内にどのような影響を及ぼし、国民たちがどう反応しているのかを確かめること。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

- ①近年難民が増えている国について調べる→ベネズエラを見つける
- ②ベネズエラの基本的な情報について調べる
- ③ベネズエラの歴史について調べる
 - ・コロンビアなどの近隣国との関係
 - ・アンデス危機
- ④英訳と英語のスライド作り
- ⑤中間報告
- ⑥校外研修に行き、難民について概要を知る。
- ⑦これまでに調べた事をさらに深く調べる。

経済 ・原油相場下落
 ・財政、金融政策
 ・ハイパーインフレ

紛争 ・反政府デモ
 ・マドゥロ政権への批判

ベネズエラ難民の現状 ・申請先

・違法な状態での滞在 ↑ (現在のベネズエラ政治を仕切るマドゥロ大統領)



(国民たちの反政府デモ活動の様子)



Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

- ・ベネズエラに焦点を置くことで、あまり人々に知られていない難民問題について関心を深める事ができたと思う。→歴史、経済状況、隣国との関係など。
- ・国内生活に困り、苦しんでいる人々は隣国や付近の島々に移り、生活していた。コロンビアやブラジル、島はトリニダード・トバゴやアルバ、キュラソーなど。しかし、申請時の問題で(詳しい具体例は分からないが)違法な状態で滞在しているベネズエラ人もいることが分かった。
- ・現在のマドゥロ大統領の政策が国内状況を悪化させ、国民たちの生活にも大きな影響を及ぼし、多くのデモ活動が発生し、大統領の退陣要求を訴えている。

研究テーマ : カナダでの戦前の教育

発表者名 : 東 玲於奈、平林 宗馬、上久保 遼、関 華琳、高垣 友宇佳

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

カナダ移民について調べている中で、日本人とカナダ人の教育方法に違いがあることを知り興味を持ったから。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

カナダ移民の日本人とカナダ人との教育方法の違いを知る。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

- ① インターネットでカナダ移民の歴史について調べる。
- ② 学校の図書館でカナダ移民の歴史について調べる。
- ③ 調べたことをまとめる。
- ④ 歴史民族資料館で資料を集める。
- ⑤ 日本語でパワーポイントにまとめる。
- ⑥ 中間発表
- ⑦ 中間発表の反省。
→テーマを移民の歴史から戦前の教育にしぼる。
- ⑧ 神戸大学の図書館で資料集め。
- ⑨ ブラジル移民についての講演を聴く。
- ⑩ 資料を読んでまとめる。
- ⑪ 英語でパワーポイントをつくる。



〈バンクーバー 日本語学校校舎〉



〈日本人会館〉

Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

1919 年のカナダ移民の現地での教育は、将来日本に帰国したい人たちの子供は日本国民教育を受け、カナダに永住する人々の子供には英語による教育即ち公立学校の教育を受けさせ、かたわら日本語の学習を受けた。1922 年ごろには国民教育を受ける生徒は皆無となり事実上、全生徒が公立学校に通学するという画期的な大改革となった。これで教育方針はまずまず軌道に乗った。

研究テーマ : 難民を助けようの会

発表者名 : 川口 邑人、鈴木 大賀、梶原 麻央、冷田 有多、新野 萌

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

- ・日本と海外の難民事情と難民政策を知りたかった。
- ・UNHCR で日本人が代表となり活動をしていたこと、日本政府と共に難民支援を行っているから。
- ・難民受け入れへの賛否の理由を知りたかったから。
- ・難民の定義を知りたかった。
- ・難民にはタイプがありその違いを知らせたかったから。

SGH に指定されているにもかかわらず、海外で起こっているあらゆる問題に日本も直面していることを自覚しておらず、今回の難民問題についても全くといっていいほど知らなかった。

授業で難民の現状を知って、もっと詳しく自分たちにできることはないかと思ったので、日本の難民に対する取り組みや政策を重心的に調べることにした。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

- ・日本と海外の難民に対する政策の違い
- ・日本による難民支援の内容
- ・日本の難民事情を知ってもらい、難民の声に耳を傾けてほしいから。
- ・難民の暮らしを知らせるため。
- ・難民の苦勞を知ってほしかったから。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

- ①難民とは何かを調べる
- ②日本の政策と海外の政策を比較し難民受け入れのメリット、デメリットについて調べる
- ③パワーポイントを作る
- ④中間報告
- ⑤アジア福祉教育財団難民事業にお話を伺いに校外学習
 - ・難民のタイプや疑問の質問
 - ・日本の難民受け入れについて
 - ・難民発生国とはおもにどこか
 - ・難民がもたらすものとは
- ⑥で聞いた話を元に掘り返して再調べ
 - ・3タイプの難民について
 - ・UNHCR について
 - ・メリット、デメリットについて
 - ・政策について
- ⑦パワーポイントを作る
- ⑧発表

Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

難民について調べた結果、難民について知っている人が少なかった。また大半の人が反対し難民に対していいイメージを持っていなかった。

各国の政策についても知り、日本のように受入数が少ない国、アメリカ・ファースト政策のような政策をする国、受け入れを寛大にする国の比較をすることができた。

国の事情（受入数が少ない代わりに莫大な資金を寄付しているなど）がからんでいることがわかった。

研究分野 〈 移民・難民 〉 グループ 〈 4 〉

研究テーマ : 三尾村の移民の歴史

発表者名 : 東 賢伸、矢野 翔麻、栗林 愛結、西崎 文彩、濱口 楓菜

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

班員の多数が美浜町出身で、幼い頃から三尾村の歴史について教わってきたが、三尾村とカナダとの交流や生活について詳しく知らなかった。そこで、三尾村の人々がカナダに渡った経緯やどのような生活を送っていたのか気になったので、調べようと思った。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

- ・自分たちが三尾村とカナダ、移民について知る。
- ・三尾村の移民の経緯をみんなに伝え、三尾村が全国と比べて進んだ暮らしをしていたことを知ってもらう。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

- ①文献を読む
- ②美浜町の資料館に行く
- ③中間報告
- ④神戸大学に行って移民に関する資料を印刷する

↓

発表できるようにまとめる

Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

三尾村の人は当時の他の村に比べて裕福な暮らしをしていたことが分かった。

このことは、工野儀兵衛をはじめとして多くの三尾村の人がカナダに行ったことで仕送りをしてくれたことで成り立っていた。

研究テーマ : 難民が幸せになるには

発表者名 : 本間 諒一、萩野 沢弥、池永 有花、稲田 葵

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

先進国や発展途上国に避難した際に生じる感染症問題や食糧不足による栄養失調等の問題がある中で、「難民にとって一番良い選択とは何か。」を考えてみようと思ったから。

また、それぞれの難民受け入れによる負担をなくすための解決策を考えてみようと思ったので、このテーマに決めた。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

- ・自分たちが調べたことを知ってもらう。
- ・難民について考える機会を作ってもらう。
- ・自分達自身がこのテーマを通して難民についての理解を深める。
- ・難民が難民としての生活を終えるために、難民がより良い暮らしを送るための方法を探る。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

①・リサーチクエスチョンを考える

- ・難民の定義、現状
- ・難民受け入れに対する発展途上国と先進国のメリット、デメリットを調べる

②調べた内容、資料をもとに研究仮説、根拠をたてる



仮説：「発展途上国より先進国の方が十分な政策や支援が行われていることによって、先進国に避難する人が多くなり、受け入れ国の負担が大きくなる。」

根拠：「発展途上国は技術水準や経済水準が低く、経済が発展していないから。」

③中間報告

④反省→・発表時に“他者を意識する”

- ・調べるテーマをもっとしぼる（例にだす国を決める）

⑤研究のテーマを考える→難民が発展途上国、先進国へ避難したときのメリット、デメリットを考える→受け入れ国側のメリット、デメリットを考える→調べた結果をもとに難民が幸せになるために一番良い選択を考える(安全面などを考慮)→テーマにおける自分達の意見をまとめる。→「難民が幸せになるには」をテーマに設定。

Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

先進国、発展途上国への避難はどちらも難民、避難国にとって深刻な問題がそれぞれあり、どの選択が難民にとって一番良い選択とは一概には言いきることはできない。しかし、難民の安全面や発展途上国の経済的負担を考えると第三国定住が最善の選択だと思った。

研究テーマ : アメリカとメキシコの間の壁

発表者名 : 山本 哲矢、玉置 亮太、小笠原 朝日香、橋爪 友希

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

今、アメリカでトランプ大統領によるメキシコからの不法移民を防ぐ政策が行われようとしている。例えば、メキシコからアメリカへ来る不法移民を防ぐ壁を作るという政策である。これは、移民によって出来たアメリカという国の根本を否定する政策であり、世界が一つなろうとする流れ、つまり、グローバル化という世界の流れと逆行するものだ。この政策については、世界中から否定的な言葉が浴びせられている。しかし、世界中から否定的な言葉を浴びせられているトランプ大統領の政策は、本当に否定しなければいけない政策だろうか。そこで調べ、考えていくことにした。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究仮説: 「アメリカとメキシコの間に壁を作るとはアメリカ国民にとってマイナスになる。」

研究目的: 仮説を証明することで人口が減少している日本が日本人だけでは社会が回らなくなったとき移民が本当に必要かどうかの判断材料にするため。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

○研究手順

- 1 インターネット、新聞、本、を使ったり、先生の話の聞いたりして、不法移民と、アメリカ・メキシコ間の壁の情報を集める。
- 2 その情報を①不法移民がアメリカに与える財政的影響
②不法移民がアメリカに与える経済的影響
③壁建設による財政的影響
- 3 それぞれの情報がアメリカ国民にとってプラスになるのかマイナスになるのか考え、そこから、アメリカ・メキシコ間に壁を作ることがマイナスになるか判断する。

○データ

1 アメリカの国家予算について

連邦政府機関	予算額(10億ドル)
国防総省	574
国土安全保障省	44.1
退役軍人省	78.9
航空宇宙局	19.1
財務省	11.2
エネルギー省	28
内務省	11.6
在宅都市開発省	31.7
運輸省	16.2
教育省	59
商務省	7.8
保健福祉省	65.1
司法省	16.2
労働省	9.6
農務省	17.9
国務省・対外支援等	27.1
環境保護庁	5.7

2 アメリカの税金の使い道について

国防費	30%
健康保険	20%
国債の利払い	19%
教育費	4%
恩給	3%
給食など	3%
住宅	2%
環境保護	2%
低所得者、障害者への援助	2%
勤労所得税控除	2%
生活保護	1%
その他	12%

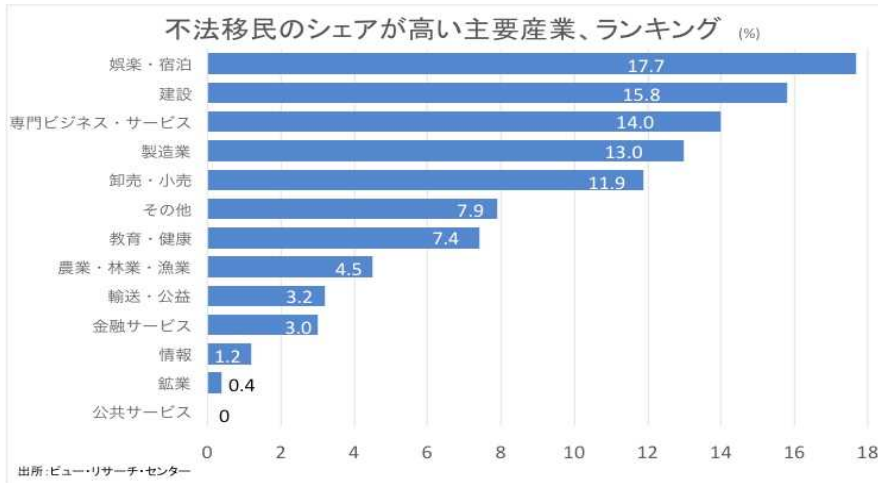
2018年の国家予算額は1兆232億ドルでそのうち441億ドルが国土安全保障省のお金でアメリカーメキシコ間の壁建設に26億ドル、国境警備・出入国管理のための人員増として3億ドルが当てられている。

<不法移民が払っている税金について>

「不法移民だから税金を払っていない」と考える人も多いが不法移民もきちんと税金を払っている。例えば、社会保障税や所得税、消費税などである。そして、不法移民たちは低賃金で長時間働いている。もしこの低賃金での長時間労働が法人の利益増大に貢献しているなら、法人税の税収にも貢献しているといえる。

・不法移民の仕事内容

不法移民のシェアが高い産業ランキング



・もしも移民がいなくなったら

アメリカ国民にとって不法移民の印象はよくなくそれが正規の手続きを含む移民全体への印象を悪くしている。だから犯罪率の高い不法移民を強制送還することは正規移民のイメージUPにつながる。一方で、不法移民が強制送還されると上記の職種で深刻な人手不足がおこる。米国人や正規の労働ビザを持つ人でその不足を補うと不法移民の数倍の人件費が発生する。

・壁の建設費

トランプ大統領が作ろうとしている壁の総距離は約3100キロで、その建設費は150～250億ドル（1兆7千～2兆8千3百億円）にもなるといわれている。これは国防費の約3%。

・壁の維持費

壁の修理費や国境警備員の人件費などの維持費は1年につき7億ドル（800億円）といわれていて太陽光パネルから得た収入を建設費にあてることでコストDOWNを図っている。

Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

<プラス面>

- ・アメリカ人の雇用数が増える。
- ・アメリカ人が納めた税金が不法移民に使われなくなる。

<マイナス面>

- ・税収が減る。
- ・多額の費用がかかる。
- ・労働力が減る。

以上よりアメリカ国民にとってプラス面の影響よりマイナス面の影響のほうが大きいと考えられるので、アメリカとメキシコの間に壁を作ることはアメリカ国民にとってマイナスになる。

研究テーマ : 日本が難民を多く受け入れるとどうなるか。

発表者名 : 上野 颯馬、山本 章悟、伊井 稀星、岡 知穂、中西 琴乃

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

難民受け入れに対して積極的な国がある一方で、先進国である日本は受け入れに消極的である。その背景にあるのは、難民を受け入れると国に悪影響を及ぼすといったような先入観や偏見があるからではないだろうか。

そもそも、この先入観や偏見は正しいものであるか否か、そして、日本がもし難民を多く受け入れるとどうなるのかという二つの疑問に基づき、私たちは調べることにした。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

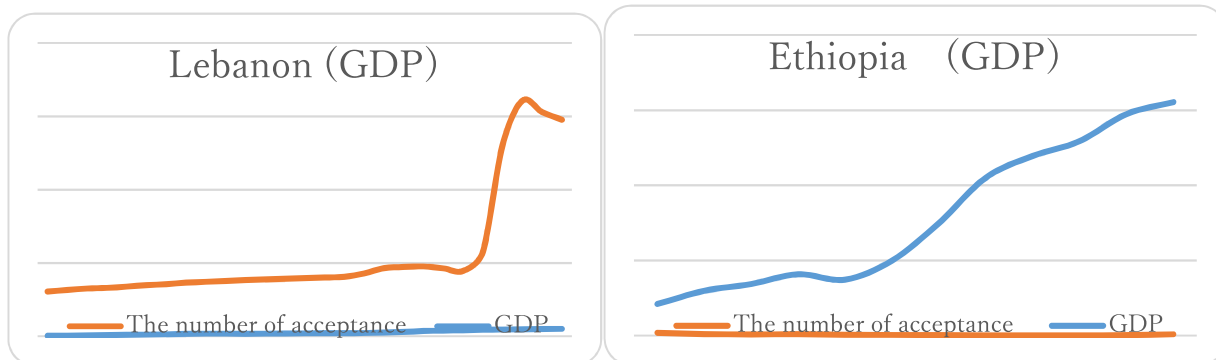
- ・ 上記で示した二つの疑問を調べ、難民についてよく知ってもらうこと。
- ・ 難民に対する先入観や偏見を減らし、難民問題について関心を持ってもらうこと。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

1. 日本が難民を受け入れた際のメリット・デメリットを調べる。
(メリット) 経済成長、グローバル化 等
(デメリット) 難民による犯罪 等
2. 難民受け入れに積極的な上位 10 カ国を調べる。

1 位 トルコ	6 位 エチオピア
2 位 パキスタン	7 位 ヨルダン
3 位 レバノン	8 位 ドイツ
4 位 イラン	9 位 コンゴ
5 位 ウガンダ	10 位 ケニア
3. 2.の 10 カ国の難民受け入れ人数、GDP、失業率等のデータを調べる。
4. データをグラフ化し、GDP 等のデータと難民受け入れ人数との関連性を調べる。



【例】 難民受け入れ人数と GDP の比較

(レバノン)

GDP 増加 ↗
受け入れ人数 増加 ↗

(エチオピア)

GDP 増加 ↗
受け入れ人数 減少 ↘

両国とも GDP は増加しているが、レバノンでは受け入れ数が増加傾向にあり、エチオピアでは減少傾向にある。



受け入れ数と GDP には関連性があるとはいえない。

同様に他の国とも比較する。また、失業率等との関連性も調べる。

Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

難民受け入れ人数と、失業率や GDP に関連性は見られなかった。



「難民を受け入れると日本に悪影響がある」とは限らない。

研究分野 〈 移民・難民 〉 グループ 〈 8 〉

研究テーマ : 移民制限と経済の関係性

発表者名 : 柴田 康規 中嶋 康太 森蔭 斗生 太田 茉穂 湯川 ひかる

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

- 1 トランプ大統領による移民制限の強化について新聞やテレビでよく目にする機会が増え興味を持つようになったから。
- 2 移民大国と呼ばれるアメリカは実際これまでどのように経済発展したのか気になったから。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

仮説である

「アメリカの移民制限を強化することでアメリカ経済に悪影響を与える」
を立証するため

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

- 1 アメリカ移民に関する情報収集… アメリカへの移民者数の推移
アメリカの移民政策
移民に対する世論
- 2 仮説を立てる 「アメリカの移民制限を強くすると、アメリカ経済に悪影響を与える。」
- 3 中間報告
- 4 仮説を立証するための情報収集

①H-1B ビザ(H-1B ビザとは移民が専門職(法律知識や専門技術を扱う職)に就く場合に必要なビザ)
このビザは給与水準の低いインド系の社員に配給され、米国民の雇用を奪い賃金を押し下げていると批判。これに対してトランプ大統領は H-1B ビザの査証審査を厳格化。

厳格化の内容

- ・抽選制を廃止し、高学歴や能力の優れた人に優先的に発行。
- ・H-1B ビザの社員の割合が 15%以上の企業に対し、新規 H-1B 社員の最低年収を 10 万ドル又は 13 万ドルに変更。
- ・H-1B ビザが 50%に達している企業は H-1B ビザを申請出来ない。

(50 人未満の企業は適用外)

実際に H-1B ビザが使われている企業

Facebook では、15%超えの人が H1-B ビザの社員である。

(これによって) → 経済面に悪影響を及ぼすのではないかと考えた。

② GDP(一定期間内に産み出された商品やサービスの付加価値〈儲け〉の総額のこと。)

表より読み取れたこと

- ・移民の数が減った年や、その前後の年の GDP が下がっていた。
 - ・近年では、GDP は上がっている傾向にある。また移民の数も増えてきている。
- とこのようなことが読み取れる。しかし、今アメリカの経済発展は著しく、これだけでは、移民がアメリカの経済にどう影響を与えているかはわからない。

だが、アメリカでは移民の人々のアメリカに対するデモ「移民のいない日」というものがあった。これは全国各地のデモの主催者が、「アメリカ経済に移民の力がどれほど大切であるか」ということを示すために、移民に働かないように促したというデモである。

当日は、一部のマクドナルドで営業が苦しくなり、休業を余儀なくされる事態になった。

このように、移民が働かなくなることで、アメリカの一部の経営に悪影響がでることが分かった。

Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

移民制限がアメリカ経済に直接影響を与えると一概に言うのは難しい。なぜなら、移民制限をどの視点から捉えるかによって、どんな影響を受けるかは様々であるからだ。今回の研究でわかったことは以下の通り。

- 1 アメリカ人の視点…移民制限の強化は移民雇用を減らし、自分たちの雇用が増え良い影響を受けると言える。
- 2 企業の視点…同じ労働でも、移民を雇用する時よりアメリカ人を雇用する時の方が支払う賃金が高くなるので、良い影響を受けるとは言えない。
- 3 GDP(国内総生産)の視点…移民制限の影響は受けていると予想されるが、アメリカの経済成長率が著しいので GDP の推移に影響は見られなかったと言える。

研究テーマ : 高校生に送る地元の魅力

発表者名 : 井上 純希、竹田 修介、岡 楓菜、河端 莉亜、北山 茜

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

班のメンバーが住んでいる市や町はバラバラであるが、どの地域でもどんどんお店がなくなっていく、観光スポットに人が集まりにくい、などという問題を抱えている。

また、そこに住んでいる人や地元の高校生などがその地域に魅力を感じていないことも多い。

そこで私たちは、自分たちの地域の魅力について製作者目線、さらにターゲット目線からも見れるように、研究のターゲットを高校生に決めた。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

- ・住んでいる人や地元の高校生にその地域の魅力を再確認してもらい、また再発見してもらうこと。
- ・高校生に寺内町の存在を知ってもらい、気軽に行ってもらえるようにすること。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

① 日高地方の観光スポットを調べる。

② セレクトした場所が離れており、車がなければ周るのが難しい。

→ 高校生が気軽に行けない。

③ 高校生でも行きやすい観光スポットを調べる。

→ 寺内町を調べることに。

④ 寺内町で「語り部」として活動しているボランティア団体があること知る。

→ 自分たち、高校生が「語り部」として活動すれば、寺内町を知らない高校生にも知ってもらえると考え、その方向で活動を進める。

⑤ 1 回目の散策で、町の雰囲気を知ることができた。

→ 実際に行ってみると思っていたよりさらに人が少なかったため、自分たちの力で 1 人でも多くの人に寺内町を知ってもらいたいと思った。

⑥ 中間発表

⑦ しかし、実際自分たちが「語り部」をするとすると詳しく寺内町をまだ知らないため、これから学ぶには時間が足りないと判断し、計画を断念。

→ 他に、高校生に寺内町を知ってもらえるようなアイデアがないか探し始める。

⑧ 寺内町のパンフレットを見直したところ年配向けのものしかないことに気づき、自分たち目線でパンフレットを作ることに。

⑨ 建物、食べ物、歴史の班に分かれる。

< 建物班 >

⑩ 寺内町にある建物の中からパンフレットに載せるものをピックアップ。

⑪ ピックアップした建物を見学しに行く。

⑫ パンフレットに載せる文章をまとめる。

<食べ物班>

- ⑩寺内町またはその周辺にある、カフェや飲食店など食べ物に関するお店をインターネットで検索。
- ⑪すべてのお店を周る。
- ⑫パンフレットに載せる情報・紹介をまとめる。

<歴史班>

- ⑩寺内町の歴史と語り部について書くことに。
- ⑪大谷呉服店に話を聞きに行く。
- ⑫パンフレットに載せる情報をまとめる。
- ⑬パンフレットを作成。

Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

<建物班>

- ・こんなに身近に歴史のある建物がたくさんあることを知り、普段は見学できないようなところを授業の一環で見学することができて良い体験となった。

<食べ物班>

- ・カフェ、和菓子屋、醤油・味噌の製造蔵などさまざまなジャンルのお店が寺内町内にあることを知り、寺内町の魅力を発見することができた。
- ・食べ物を通じて、高校生に寺内町の魅力を広めることができれば、寺内町の活性化にもつながると感じた。

<歴史班>

- ・御坊出身でも知らなかった寺内町の歴史を知ることができ、高校生に知ってもらいたいと思うようになった。しかし、実際行動するには時間が足りなかったのが残念である。
- ・歴史をただ調べるだけでなく、実際に足を運ばなければ感じられないものがあることを学んだ。

<全体>

寺内町を高校生に知ってもらう事や、寺内町の活性化につながるように班全体で協力し、パンフレットとして形を残せていい経験となった。

研究テーマ : 地元の野菜を PR して多くの人に手に取ってもらおう
 発表者名 : 土井 淑生、福隅 翔太、大前 穂乃花、早田 唯華、原 亜有佳

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

毎日のように食べる野菜を地元のものにこだわってみたいと思った。しかし、自分たちは買い物をするときに生産地を確認せずに安さだけなどに目を付けて買ってしまっていた。また、限られたものしかないと思い込んでいた。そこで、地域野菜の現状について知らなければならぬと気づいた。その中で、地元野菜を生産・販売する人たちとの間で起こる課題にも取り組んでみようと思いテーマ設定した。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

- ・JA、よってってでの課題調査をし、販売する側の方々の課題について知る。
- ・地元で作られる野菜を PR し、地元の人だけでなく他府県の人に地元野菜の良さを伝え、多くの人に手にとってもらおう。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

1. 農業機関：JA、販売側：よってって訪問
2. 質問した内容についてまとめる
3. 中間報告
4. PR のオリジナルポスター作成：三種類（俳句風のメッセージ）
イラスト（手書き）
5. HIRO・よってってにお願い（二箇所ともポスター張り OK!）
6. 約 3 週間掲示



* HIRO での掲示（看板デザインも生徒で）

7. 二箇所でもポスター回収&店内で街頭調査

Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

- ・農業機関での質問を通して、課題やJAさんの課題解決策を知ることができた。
→自分たちが解決に協力できそうな課題も発見でき取り組むことができた。しかし、実際に農家さんに会ってお話を聞く機会を作れなかった。そのため、中間発表時に大学の先生からのコメントであった「農家さんならではの課題とこれから社会の担い手となる高校生や若い人々に望むことは何か」を聴けず、より明確な答えを出せなかった。
- ・ポスター掲示で手ごたえを感じられるかと思っていたが、想定していたよりも低い結果が出てしまった。
→ポスターをもっと大きくする目につきやすいところに掲示してもらおう等の工夫をするべきだった。
しかし、地域野菜をPRすることに関してはとてもいいと思う・もっと活動をしてもらいたいなど嬉しい言葉かけをしてもらったり応援してもらえた。

研究分野〈 地域産業 〉 グループ〈 3 〉

研究テーマ : らぁめんで地域創生

発表者名 : 五味 辰規、中川 佳己、田中 星太郎、菊谷 駿介

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

この地域を活性化させようと考えたときに、まずはこの地域で親しまれていて、広い世代に人気があり、気軽に手を伸ばせるものは何かと考えました。そうなる場所やものより食べ物がいいと思った。その中でも、広く親しみのあるものはなにかと考えた結果、らぁめんに行き着いた。らぁめんは、ほかの同じ規模の町と比べると、店舗数も多くて地域創生にぴったりだと思ったのでテーマに決めた。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

- ・調査、アンケート、インタビューを通じてこの地域で人気のラーメン屋&行く頻度を知る。
- ・この地域で人気のラーメン屋に行き、インタビューをして、地域創生についてアドバイスをもらい、それを発表し、みんなに伝える。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

- ①アンケートを学校内で実施→人気のラーメン屋やいく頻度を知る
- ②人気のあるラーメン屋にアンケートの内容をまとめてインタビューをする
- ③ここまでの内容をパワーポイントにまとめる
- ④中間発表
- ⑤アンケートで人気だったラーメン屋に引き続きインタビューを進めていく
- ⑥これまでのことをすべてパワーポイントにまとめる
- ⑦ 発表する

Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

らぁめんでの地域創生はラーメン屋から見ても、できるという意見とできないという意見とで分かれたができるという意見が多かった。ラーメンで地域創生するにしても、地域のラーメン屋同士が協力しないとできない。

自分たちの意見としては地域全体が協力し、イベントなどを開催していけば、ラーメンで地域創生は可能だと思う。

研究テーマ : 御坊市の観光

発表者名 : 青木 愛華、門脇 治樹、木村 大陸、中井 悠葵、龍神 紀花

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

私たちの町御坊市の魅力を多くの人に知ってもらい、御坊市の活性化につなげたいと思った。

しかし、御坊市を活性化する方法を考えている中で、そもそも私たち自身が御坊市についてあまり知らないことに気付き、まず私たちが、私たちの住む町について知ることが町の魅力を伝え、知ってもらうための第一歩と考えた。

そこで、御坊市役所を訪問し、御坊市の観光についての話を聞き、情報を集めた上で、自分たちの力でこの町の魅力を磨くことで、町の活性化を目標に活動することに決めた。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

- ・ まず私たちが御坊市の観光について現状を理解する
- ・ 学生目線で御坊商店街を調査し、自分たちだけでオリジナルの観光マップを作成することで、より多くの人に御坊市の魅力を伝え知ってもらうこと

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

①御坊市の観光について調べる

②御坊市の観光について詳しく知るために、御坊市役所訪問取材

○役所の取り組み

- ・ 語り部の育成
- ・ 市民向けウォーキングイベント
- ・ ファムトリップツアー
- ・ 御坊市紹介 PV の作成
- ・ 宮子姫みなとフェスタ

○課題

- ・ 市民が町の魅力を知らない
- ・ 行政と市民の観光に対する温度差が大きい
- ・ 御坊市に「いいもの」はあるがその魅せ方が分からない
- ・ 都会へ行く「ついで」に来る人だけでは観光が成り立たない

→＜自分たちが考えた解決策＞

- ・ 市のことに対しての意欲を高める
- ・ 観光客と積極的に関わってもらう
- ・ 様々な魅せ方を試し、最適な方法を探す

③中間報告

和歌山大学の先生にアドバイスをいただいた

④ポスター作成

- ・ 今までの活動をまとめて英語に翻訳
- ・ 2017 年度 SGH 全国高校生フォーラムポスターセッション発表へ

⑤大阪経済法科大学・藤原電子工業を訪問

- | | | |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学生の活動 ・ グループワーク ・ 工業見学 | } | <ul style="list-style-type: none"> ・ その町にだけしかない「オンリーワン」のものを探し、 → 「磨いていく」ことが大切！！ ・ 学生目線を大切に |
|---|---|---|

⑥御坊市商店街を調査

- ・町の現状をより深く知るために、見学で学んだことを踏まえて、御坊市商店街を 4 回に分けて調査
- ・調査した場所
 - ・ボナペティ ヤナギヤ
 - ・大丸文具店
 - ・メルヘン
 - ・金精肉店
 - ・古湖堂
 - ・工房 marche
 - ・フロンティアキング
 - ・純喫茶ピノキオ
 - ・天野種苗園
 - ・有田屋菓子舗



工房 marche



ボナペティ・ヤナギヤ

⑦観光マップ作成

- ・自分たちで若者向けのオリジナルマップを作成

⑧自分たちで作成した観光マップ見てもらい評価をいただくため、御坊市役所訪問

多くのアドバイスをいただいた

- ・行政的で無難なものではなく、高校生らしさを追加する必要がある
- ・マップをみてもらう人を選び、その方々に向けたマップにしたほうが良い
- ・店の名前を大きく表示するなど読む人のことを考えたマップにする必要がある

→改善したものを市役所で活用していただく予定である

Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

- ・御坊市役所の訪問で、御坊市の観光について詳しく知ることができ、自分たちの町に対する理解が深まった。→地域の人がその地域のことを知り、魅力を広めようという気持ちを持つことが大切。
- ・少子高齢化が進んでいる現在、地元とのつながりはとても大切で、商店街は高齢者や地元の人にとって近くにあって買い物しやすい場所だと感じた。→商店街の魅力を広めることが必要→パンフレットや SNS 等を利用することでより多くの人に興味を持ってもらう。クチコミなどが重要。

感想

- ・オリジナルマップのモットーである高校生らしさを発揮することができなかった。→自分たちだけでなく周りの高校生に話を聞く必要がある。
- ・大阪経済法科大学訪問時に教授から「地域資源を磨く」という言葉を頂いた。しかし、地域資源の磨き方を深く追求することができなかった。

研究テーマ : 地元のトマトを知ってもらう

発表者 : 石橋 清佳、平 百々、平野 未来、杉本 侑亮、南 湧也

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

地元のミニトマトが有名で、他のトマトにはない色々な特徴があることがわかった。それについてみんなにもっと知ってもらいたいと思い、これをテーマにすることにした。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

- ・調査を通して、自分たちが地元のトマトについて知るため。
- ・自分たちが調べたことを他の人たちに伝えて知ってもらうため。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

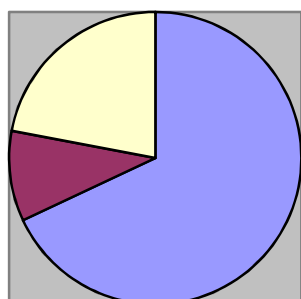
研究の手順／データ／成果など

- ・研究の手順
 1. 地元のトマトについて調べる
 2. アンケートをとる（1回目）
対象：日高高校陸上部…トマト料理の認知度
 3. JA 訪問
 4. 中間発表
 5. トマトについてのチラシを作る
 6. アンケートをとる（2回目）
対象：日高高校2年総合…事前に配ったチラシについて

・成果

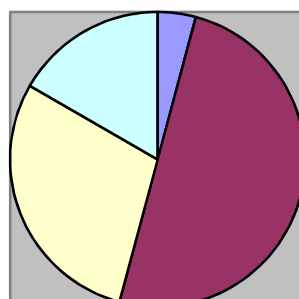
1. 1回目のアンケートの結果

トマトが好きか



☐ 好き
☐ 嫌い
☐ どちらでもない

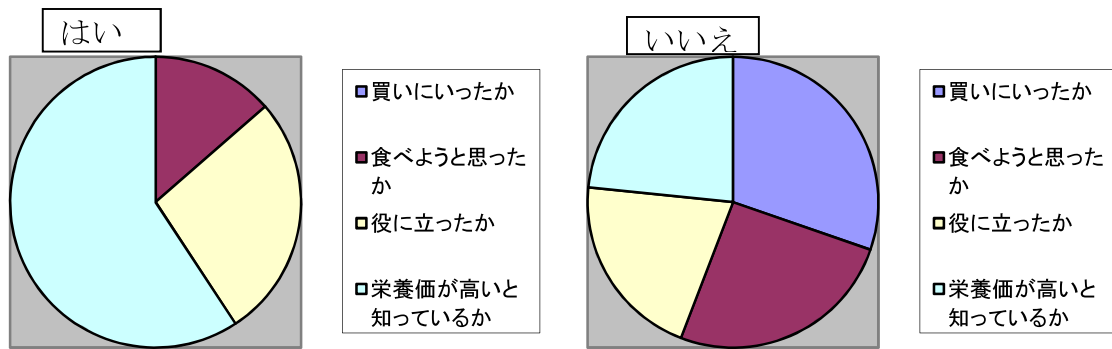
知っているトマトの種類



☐ 0種類
☐ 1～2種類
☐ 3～4種類
☐ 5種類以上

2. JA を訪問して印南町の有名なトマト農家を教えてくれてその農家を訪問
 - ・質問をして知らなかったことを知ることができた。
3. チラシを作成し、生徒に配布
 - ・トマトのことについて知ってもらうことができた。

4. 2回目のアンケートの結果



Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

- ・ 1回目のアンケートで、トマトが好きな人が半数以上を占めていた。知っているトマトの種類が1～2種類の人が半数を占めていた。このアンケートには、知っているトマト料理を書いてもらうという質問があって、みんなは多くのトマト料理を知っていることがわかった。
- ・ 2回目のアンケートでは、チラシを事前に配布をしてそれについてのアンケートだった。
- ・ チラシを配ったことによってトマトのことは知ってくれたと思うけど、トマトを買いにいつてくれた人はいなかったのが残念だった。
- ・ 役に立ってくれた人が多かったのでよかった。
- ・ 地元の有名なミニトマトは優等星、赤糖房、美味房があることがわかった。これ以外にもトマトには多くの種類があった。

研究テーマ : 意外と知られていない！？御坊のスターチスに迫る
発表者名 : 脇本 蒼斗、中家 理那、井戸 洸稀、田中 順也、龍神 千咲

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

人口減少の現状を受け止め、そのなかでいかに地域を活性化させるかについて考えた。
既存の地域資源である全国出荷量ナンバーワンであるスターチスを高校生の視点で磨き、全国に御坊市の花「スターチス」を知ってもらおうと思った。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

全国出荷量ナンバーワンである名田町のスターチスを使って2017年流行語大賞である“インスタ映え”するような花束やアクセサリ、ストラップなどを作り、Instagramに載せて全国に発信PRする。PR活動によって、御坊市民にもあまり知られていない「花の町御坊」というキャッチフレーズを御坊市民にはもちろん、全国の人達にも知ってもらう。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

- ① 御坊市の農業では何が有名かを学校の図書館で調べ、“花”を見つけ、花の中でもスターチス、かすみ草、バラ、ハマボウなどがとても有名で、スターチスは全国でもナンバーワンの出荷量を誇る事を知った。
- ② 平成29年6月21日 紀州がいなポート様訪問
御坊市の花農家についてもっと知るため生徒自身で御坊市名田町にある紀州がいなポート様を訪問した。
- ③ 中間発表
中間発表では和歌山大学の先生の前で現時点での調査経過のプレゼンを行い、“「花の町御坊」を広めるために高校生が出来ることは何か考えてみてください。”というアドバイスをいただいた。
- ④ 平成29年10月31日 校外研修 大阪経済法科大学
大阪経済法科大学では“オンリーワン”“ナンバーワン”“キャッチフレーズ”という3つの言葉をもとにその町にある地域資源を大学生自身が磨いていることを学んだ。
- ⑤ アンケート（1, 2年生対象）
スターチス、「花の町御坊」の認知度と花農家数は本当に多いのか知るためにアンケートを実施した。その結果、スターチスが御坊市で有名だと知っている生徒が多くいることと、実際に家が花農家である生徒や、家でスターチスを育てている生徒がいることが分かった。
- ⑥ 平成29年12月13日 御坊市名田町の農家を訪問
スターチスについて深い部分まで知りたいと思い、インターネットで調べてスターチス部会長の斎藤さんを知った。私たちは直接斎藤さんにインタビューをしよう自分たちで予約を取り自転車で片道50分かけて斎藤さんのビニールハウスへ行った。斎藤さんはスターチスを全国に広げるために熱心に活動されていることを知った。また、実際に斎藤さんのビニールハウスを見せていただき、よりよいスターチスを栽培するために、さまざまな工夫をされていることを自分たちの目で確認した。そこで斎藤さんから高校生という若い視点からスターチスを全国に広げるために活動してほしいと言ってもらい、引き続き協力して頂けることになった。
- ⑦ 新聞に掲載
斎藤さんを訪問したことで私たちがスターチスを広めるために活動していることを新聞に掲載して頂いた。
- ⑧ 平成29年流行語大賞インスタ映えを狙う
私たちは高校生だからできるスターチスを広めるための活動は何かを考え、スターチスで花束やリース、小物を作り、それを使ってインスタ映えさせて全国に広めるということに考えついた。

たくさんの写真を撮りたいと思った私たちは家に持ち帰ったり、放課後残ったりしてたくさんの作品を作った。また、斎藤さんをはじめとするフラワーボーイズが発案してそのままになっていた合格星を作った。合格星とは、スターチスの額を広げると五角形になっていることと中の花が星型であることを掛けた受験生を応援するための花である。

⑨ スターチスリース日高高校玄関に飾る

私たちが訪問した数日後、斎藤さんがテレビでPRされた際に放映されたスターチスリースを学校に提供していただき、簡単なスターチスの紹介とクイズを添えて玄関に飾った。

⑩ アルバム作成

スターチスでインスタ映えを狙った写真をインスタをしていない人達にも見てもらえるよう1冊のアルバムにした。



Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

私達が積極的に活動することで新聞に掲載されたことや、学校に頂いたリースと自分たちで作ったリースを飾ることで、校内の人達はもちろん、学校に来られた人達にもスターチスについて知ってもらうことができた。また、地域の方々と協力することで広範囲の活動を行うことができた。地域の方々の熱心な活動の様子を知ることができたとともに、いただいた貴重なアドバイスのもと高校生視点のPR活動を進めることができた。多くの人々が地域資源の魅力を知ることによって地域活性化につながると考える。そして、地域の魅力を知り活用することが、今後グローバルな取組に発展していくものと考ええる。

感想

大学の先生方や学生の皆さん、地域の方々にご指導いただいたことで、より深く調査探究活動を行うことができたことに心から感謝している。
今後、後輩達に私達の活動を続けていってほしいと思う。

研究テーマ : みんなにもっと和歌山の魅力を伝えよう

発表者名 : 田中 友広、上山 貴生、野田 有希、白樫 怜門、藤本 歩弓

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

グローバル化が進んでいる日本は、今、スーパーマーケットに置いている野菜や果物の約 28%もが海外で生産された農作物を輸入したものである。スーパーマーケットで、海外の農作物が多い主な理由として、海外は土地が広い大量に作物を作ることができ、大型機械で種まきや消毒、収穫などができるため、人件費も抑えられるので、商品を安い価格で生産・販売できるので、需要も高いというのが挙げられる。一方、自分の地域の特徴や良い点について、あまり知らない人が多く、また、増えてきていると、テレビなどで知ったので、私たちは和歌山県を代表する、生産量が全国 No.1 である、みかん・うめについて調べ、多くの人に和歌山県のすばらしさを知ってもらうことによって、少しでも、消費量の増加や、和歌山の認知度の向上につながり、その効果で、たくさんの観光客が集まることによって、地域の活性化にもつながると思い、このテーマに決めた。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

- ・調査（まず、和歌山県の特産品である梅とみかんについて知ること）
- ・アンケート調査（学生がどのくらい食べているかを調査）
- ・県の特産品を広めることにより、たくさんの人に良さを伝え、和歌山県に愛着を持った人や観光客をもっと増やす。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

① 特産品について調べる

→みかん・梅の種類、生産量について調べる

② 話し合い

③ アンケートの作成

日高高校生のみかん・梅の消費量について調査



④ アンケートの集計

→予想通りの結果や意外な回答も

⑤ アンケートの結果の考察

→みかん・梅の両方ともほとんど食べない人や全く食べない人が多いが、みかん・梅を好きな人が多かった。梅が嫌いな人が約 20%で、予想と同じくらいだった。

→和歌山のイメージはみかと答えた人は約 67%で予想より少し多かった。

梅と答える人と同じくらいと予想していたが、少なかった。

⑥ みかん・梅の行事との関連性について調べる

→みかんの関連する行事・物など

1. 鏡もち（正月）
2. しめ縄（正月）
3. クリスマス（カナダ）
4. ひな人形
5. 旧正月（中国）
6. みかん祭り

→梅の関連する行事・物など

1. 菅原道真
2. 種飛ばし



↑ カナダのクリスマス ↑



↑ みかん祭り ↑

Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

もっと梅やみかんについて調べ、もっとみんなに興味をもたせ、おもしろく・目立つ方法で紹介することで和歌山の知名度を上げたいと思った。梅やみかんが嫌いなひとにたくさんのレシピを紹介することで少しでも多くの人に克服してもらい、嫌いな人を減らしたいと思った。また、好きな人の人数も増やしたいと思った。

研究テーマ : 漁業の発展に一役買うグループ ～それが俺たち～
発表者名 : 伊藤 悠矢、植松 永綺、久保 元輝、芝崎 駿輔

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

食卓に並ぶ魚が好きな僕たちにとって漁業の危機、つまり、食卓に魚が並びにくくなることを解決することができれば、本望であります。

そこで、漁業にまったく関係のない4人ですが、関係の無い僕たちだからこそ、現在の漁業における問題点を客観的に把握することができるのではないかと思います、「俺たちが漁業を救わなければ誰が漁業を救えるんだ」という意気で、この研究テーマ「漁業の発展に一役買うグループ ～それが俺たち～」を設定しました。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

- ・ 漁業について調べ、まず自分たちが漁業の現状を知る。
- ・ 日高郡の漁師が少ないので、後継者を増やす。
- ・ 魚食離の傾向にあるため、魚を食べる利点を知ってもらう。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

① 漁業の課題を見つける → インターネットでは全国的な問題ばかりで、高校生が解決できる規模ではない。

② 地元の漁業組合を訪れて地元の課題を見つける

→ 漁業従業者の高齢化、環境問題、魚離れ、今と昔との違いについて聞いた。

③ アンケート 1回目

目的 : 魚離れと漁業への興味を知るため

- ・ 魚離れについて → 魚と肉どちらの方が好きか？という質問をしたが肉の方が好きと答えた人が多く、日高高校の生徒でも魚離れが進んでいた。
- ・ 漁業についての興味 → 漁業に興味がないと答えた人が多かった。

結果 … やはり僕たちが予想していた通り、漁業への関心があまりなく、魚離れが進んでいた。

④ アンケートの結果をふまえての解決方法を考える

→ 親しみやすいポスターで漁業への興味を持ってもらう事を目指す。

⑤ アンケート 2回目

目的 : 貼ったポスターでどれだけ興味を持ってもらえたか、1回目のアンケートと比べてどれだけ興味を持ってもらえたかの2つについて調べる。

- ・ 漁業についての興味 → 前回より「興味がある」人の割合が増えた。
- ・ 将来、漁業関係の仕事に就きたいか。 → 前回より「就きたい」人の割合が増えた。
- ・ ポスターについてどう思ったか・ → 漁業について興味がある人はもちろん、興味がない人にも漁業への興味を少しでも持ってもらえた。

結果 … いずれの問いでも、ポスターで少しだけであるが興味を持ってもらうことができた。

○僕たちの作ったポスター↓



Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

インターネットで調べたことや漁業組合の方に聞いた話から、後継者不足が一番おおきな問題であった。

学校でアンケートを取ったところ、漁業に興味を持っている生徒はごくわずかであった。非常に厳しい現実であったが、少しでも興味を持ってもらえるよう、試行錯誤し、インパクトのあるポスターを作った。校内に掲示し、生徒らに見てもらった。その結果、自分たちが思ったよりも漁業に興味を持ってくれた生徒がいた。また、将来、漁業関係の仕事に就いてみたいという人が数人ではあるが増えた。

漁業はあまり人気のない職業だ。漁業に興味を持ったという生徒が数人でも増えたのなら、僕たちの研究は成功だったと言えるだろう。

漁業の発展に微力ながらも一役買うことができたと思う。

研究テーマ : 災害弱者 心の問題 (うつ) について

発表者名 : 坂本 翔、三原 陸豊、林 季和、大橋 望乃、大谷 桃子

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

近々起こるであろう地震などの災害のときにどのような行動をとるべきかもう一度考え直すため。実際に避難訓練などを行っても、「こんなにうまく逃げられるのか」という疑問が出た。また、どんな人が助けを必要としているか、どんなものが必要になってくるのか、私たちは知っておくべきだと考えた。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

- ・ 災害時の被害者を少なくするためには？
- ・ 避難所での生活でみんなが快適に過ごせるようにするためには？
- ・ 災害によってダメージを受けた精神面のケア

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

- ①災害弱者について調べる
- ②避難路について調べる
- ③避難所について調べる
- ④災害時の物資の確保について調べる
- ⑤法律について調べる
- ⑥スライド・原稿作成
- ⑦中間報告
- ⑧水問題について調べる
- ⑨災害弱者をメインにして調べる方針にし、避難路、避難所、水問題を割愛
- ⑩うつについて調べる
- ⑪アンケートの作成・調査
- ⑫スライドの修正

Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

この学習を通して、「災害弱者」と呼ばれる人がいることを知って、自分たちの考え方が変わったことにより、災害が起こった時の災害弱者への振る舞い方を見直した。
そして、災害への対策を調べる中で「災害対策基本法」という法律があることを知った。それについて調べることで、国がどのような取り組みをしているかが分かった。

研究テーマ : 過去から学ぶ和歌山の防災支援

発表者名 : 古田 翔真、吉岡 翼、小早川 由華、西 沙耶佳、福居 紅音

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

防災学習で和歌山市防災学習センターや稲むらの火の館・県庁南別館を訪れて和歌山の防災意識が高いことを感じて、危機が身近に迫っていることを知った。そして、過去に起こった東日本大震災などの自然災害からの反省点を活かしたいと思った。それから、その反省点を私たちが住む御坊市周辺で活かせないかと思った。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

- ・近い将来、起こるとされるその日のために最低限の被災で済むように防災意識を高めておくため。
- ・アンケートや学校の位置する島地区周辺の散策を行って、身近の防災備蓄品を知っておくため。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

- ① 支援の種類について調べる
- ② 支援の現状と課題について調べる
- ③ アンケートをとる
 - ・ボランティアへの参加について
 - ・被災地で、ほしいと思うものについて
 - ・被災者になったときに、ほしいと思うものについて
- ④ 中間発表
- ⑤ 御坊市内の備蓄倉庫の場所を調べる
- ⑥ 実際に備蓄倉庫の場所へ行き、写真を撮る

Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

もし災害がおきたらボランティアに行くかと質問した結果、場所によると答えた人がいて、どこまでが可能な範囲なのか疑問が生じた。自分たちの住む地域には食料などを備蓄できる場所が少なかった。もう少し増やしたほうがいい。

ボランティアに参加している人たちによる問題がたくさんあったため、解決方法を見つけ出すことができなかった。

研究テーマ : 自然災害が巻き起こす被災者とマスコミの関係性
発表者名 : 久保 有佳里、森 楓、川島 夢加、白樫 若奈

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

2011年3月11日、私たちが小学校5年生のときに東日本大震災が発生した。そのとき、テレビや新聞では連日、東日本大震災について報道された。その時、避難所に押し寄せるマスコミを見て被災地の方に迷惑ではないかと思い、マスコミの正しいあり方について調べてみようと思った。

そもそもマスコミとは新聞、雑誌、ラジオ、テレビ、映画などのマスメディアによって、不特定多数の人々に対して大量の情報が伝達されることであるが、同時に誤った情報も伝達されることがある。誤った情報はどんな人に影響を及ぼし、私たちにどう関わってくるのか調べてみようと思った。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

- ・調査やアンケートを通して、災害、特に地震や津波が起こった際のマスコミについて調べる。
- ・震災が起こった時のマスコミと私たちの関係性について調べる。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

①班員ごとに調べたいテーマについて調べる

- ・記者の非常識な行動について
- ・義援金とチャリティーイベントについて
- ・偏見、風評被害について
- ・誤った情報からおこるいじめ

②スライドや原稿を作る

③中間報告でみつけた改善点や指摘されたことをまとめる（指摘されて初めて気づくこともあった）

和歌山大学の先生からいただいたアドバイスを参考にスライドを作る

新しいテーマの追加

- ・実際に避難するのかどうかについて
- ・災害時にどこから情報を収集するのかについて
- ・政府の復興予算について

④アンケートをとる（対象→日高高校2年生と職員）

目的…マスコミに対してどういうイメージを持っているのか

募金または義援金についてどのくらい理解があるのか

結果…マスコミに対して少なからず嫌悪感を持っていることが分かった

募金をしたことがある人は多かったが、それがどのようにして被災地に届くのか知らない人も多かった

⑤アンケートの集計

⑥最終発表にむけて、スライドや原稿を作る

Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

- ・マスコミという広いくくりの中で、個人でテーマを設定し、調べ、解決策を見つけることができた。しかし、個人だけでスライドを作っていたため、全員のスライドを合わせたときに話の流れが分かりにくくなってしまった。
- ・防災とマスコミの関係について、より深く学ぶことができた。
- ・内容が難しい箇所もあるため、伝わりにくい可能性がある。

研究分野 〈 地域防災 〉 グループ 〈 4 〉

研究テーマ : 避難生活 発表者名 : 塩路 輝、松浦 友輝、古川 友美子、山口 紗季、平田 美緒
Background/importance of research topic: An introductory description of the project. テーマ設定の理由 日高高校は避難所となっている。もし、実際にここを避難所として運営する場合どのようにしたらより効率よく快適に運営できるかなど、みんなが興味を持ったので調べて見ようと思った。
Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research. 研究目的 ・日高高校を避難所にした時にみんなが効率よく運営できるようにすること。 ・安心して避難生活を送れるように工夫すること。
Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered. 研究の手順／データ／成果など ① 過去の避難生活を送った人が困ったことを調べた → 改善点を考えた ② 実際に日高高校の備蓄倉庫を見にいった ③ 体育館の寸法を測った → 収容人数を求めた ④ これまで調べた事をまとめた → 中間発表 ⑤ 中間発表で出た問題点を話し合って改善できるところは改善した ⑥ 新しく発表用のパワーポイントを作成した
Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world. 結論 自分たちで考えた改善方法が実際のときに役立てられたらいいと思う。

研究分野 〈 地域防災 〉 グループ 〈 5 〉

研究テーマ : 緊急時持ち出し用ハザードマップ 発表者名 : 森本 晃仁、中川 優希、前田 浩希、濱本 彩花、堀本 妃夏
Background/importance of research topic: An introductory description of the project. テーマ設定の理由 当初は自助をテーマにしていって行政の限界と地震発生直後にとるべき行動の2つの観点で調べ始めた。調べていく過程で市役所や役場に話を聞きに行ったところ、防災の一環としてハザードマップを作っているという話をきいたときに、実際ハザードマップが機能しているかどうか疑問を持つようになった。また地震発生直後はパニック状態に陥り、正しい行動を分かっているにもかかわらず行動できないという状況になるのではないかと考えた。この2つの問題点を解決する方法を考えた結果、持ち出し用ハザードマップを作成することに決めた。
Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research. 研究目的 従来の災害発生前のハザードマップではなくパニック状態のときに適切な行動を取れるようなマニュアルなどの発生時また発生後に必要な情報が書かれてあるハザードマップを作ること
Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered. 研究の手順／データ／成果など 1. 市役所役場に行き話を聞きハザードマップをもらってくる 2. 書かれている情報を分析し、リストアップし必要な情報不必要な情報に分類する 3. 必要な情報と補足したい内容を文章にしていく 4. 緊急時に見る読むことを考慮してレイアウトを考える 5. 実際にマップの作成をする
Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world. 結論 初めは地図面と情報面の2面編成を目標としていて地図面の作成を進めていたが、作成案ができてそれをイラストとして作るのが難しく結局御坊市が作った地図を丸々使うことになった。情報面に関してはどうすれば見やすいかやどんな情報が求められているかなどをインターネットや様々な人の話を聞き何回も話し合ったのでよくまとめられた。

研究分野 〈 地域防災 〉 グループ 〈 6 〉

研究テーマ : 防災教育と地域防災

発表者 : 西 謙輔、横川 宜矢、三木 詩央里、中前 桃香

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

学校で、教育と関連させて、どのような防災教育をしているか気になり、また群馬大学の片田教授の講演映像を見て、防災教育についてより知りたくなったから。

御坊市に住んでいても、防災についての取り組みを知らないなので、知って見直すことがあれば見直したいと思ったから。

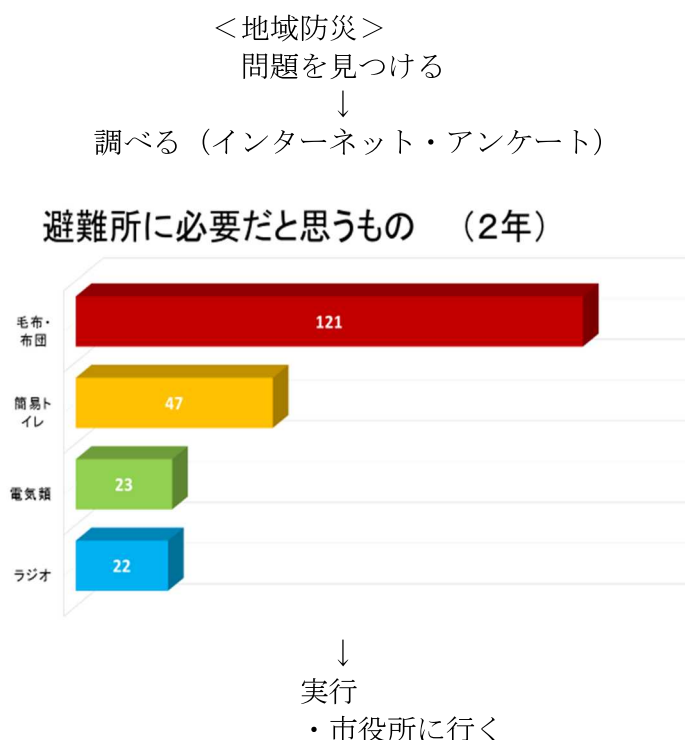
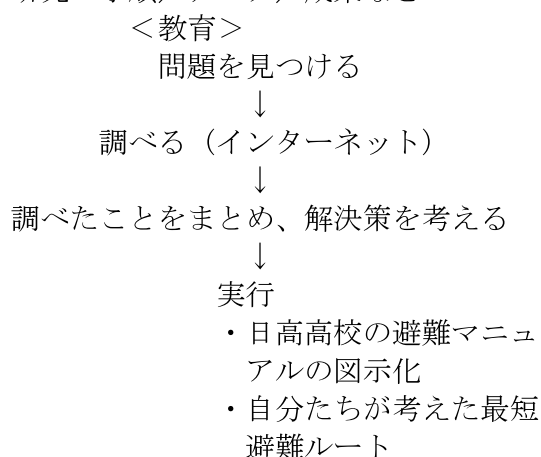
Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

子供が逃げない理由の追究と日高高校の避難マニュアルの紹介、災害前の飲料水の大切さを伝える。御坊市の防災の取り組みを知ってもらい、日高高校の備蓄倉庫の問題を解決する。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など



Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

子供が逃げない主な原因を突き止め、対策として地震体験車などを学校のイベントとして呼ぶと災害の危険性をより伝えられると思った。

防災アプリの紹介やハザードマップを各教室に貼り、防災の取り組みを知りたいと思ってもらい、より興味を持ってもらおう。

研究テーマ : 未来につながる防災教育

発表者名 : 尾崎 黎、中村 一馬、西 真矢、平林 一輝、古谷 幸樹

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

- ・ 災害への対策を調べ、共有することによって、被害を小さくできるのではないかと考えたから。
- ・ また、災害が起こったときにここで得た知識を使いすばやく行動に移すようにしてもらうため。
- ・ そして、みんなの考える種になるように、また、知識をどんどん広めて後世に語り継ぐようにする。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

- ・ 日高高校でアンケートを行い、現在の意識調査を行う。また調べ学習と対策を考える。
- ・ これらのデータを用いて身近に現状を感じてもらい、意識を高めることが目的。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

- ① 防災について調べる（教育、防災グッズ、耐震、SNS）
- ② 防災アンケートをとる（日高高校生全員と教職員）
- ③ 主に家庭での家具固定、耐震工事を調べる
→ 日高高校生の約半数は家の家具固定や耐震工事をしていなかった（この結果についてグラフ作成）
- ④ 中間発表
- ⑤ ジャンルを2つに絞り、内容深化。また3班に分かれて手分けして進めた。
- ⑥ 調べたことを活かして、幼稚園に対して防災教育を行う。
- ⑦ 内容をまとめて、スライド完成

Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

防災アンケートで日高生の家庭は耐震工事をしていない人が多かったが、高額な費用がかかってできない家庭があると思うので、安価な耐震工事をみんなに紹介していくべき。

アンケート結果より、定期的に防災に関する教育を行っているが、災害への対策をしていない人が半数以上を占めていた。よって僕たちは自分たちなりの防災教育の方法を考え、幼稚園児に対する防災教育を実際に行った。対象を高校生にした場合にどのように考えを進めていくか、また予想される問題点を仮定しながら進めていくべきである。

研究分野 〈 地域防災 〉 グループ 〈 8 〉

研究テーマ : 災害時の水問題について

発表者 : 黒田 陸真、塩崎 雅典、川 涼風、早田 有利菜、中筋 可菜

Background/importance of research topic: An introductory description of the project.

テーマ設定の理由

私たちは、はじめに避難所全体の問題について調べ、そのことについて中間発表をした。その時に和歌山大学の先生たちに指摘していただいたことについて全員で話し合った。その結果、水に関する問題が一番多かったので今回のテーマを設定した。

Purpose of presentation: An introductory statement explaining the reason for the research.

研究目的

- ① 調べ学習・アンケートを通して、自分たちがさまざまな水問題について知る。
- ② ①で出てきた問題について、今の私たちにできる対策を考える。
- ③ ②について発表して水問題とその対策についてみなさんに知ってもらう。

Procedures/Data/Observations: Summary of any procedures, emphasizing key points or steps, and any data you gathered.

研究の手順／データ／成果など

- ① 水問題について調べる。
- ② アンケートをとる。
- ③ アンケート結果からグラフを作る。
- ④ 実際に水を運んでみる。
- ⑤ それぞれで調べたことをまとめる。

Conclusions: What was learned about the topic and what it means to the world.

結論

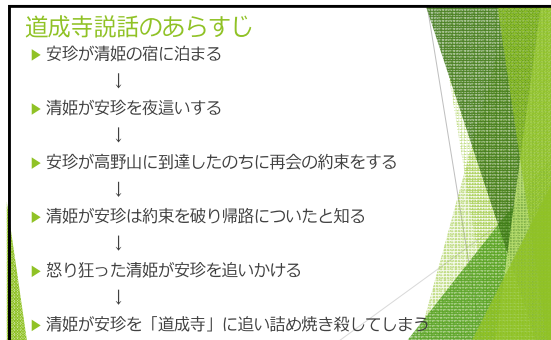
- ・日高郡内には、予想以上に井戸があり、2日以上の水を確保できるのではないと思った。
- ・アンケートでは水を用意している人が少なく、用意していたとしても量が少ないことがわかった。
- ・防災袋を使うことによって多くの水を簡単に運ぶことができることがわかった。

2 成果発表会プレゼンテーション資料 地域文化分野（一部抜粋）

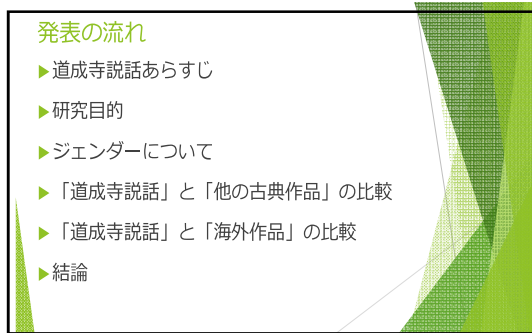
(1)



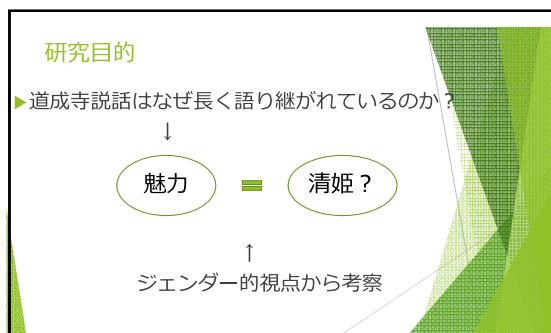
(2)



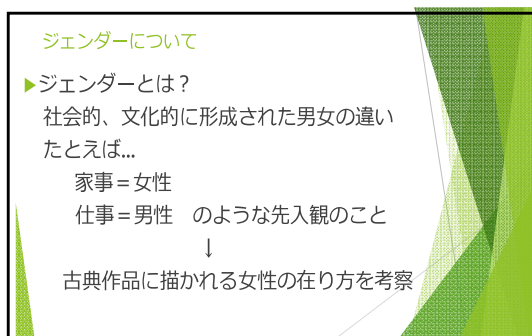
(3)



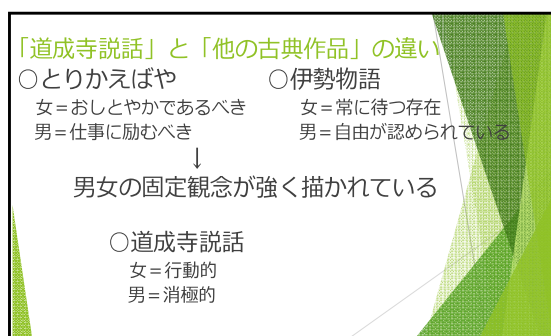
(4)



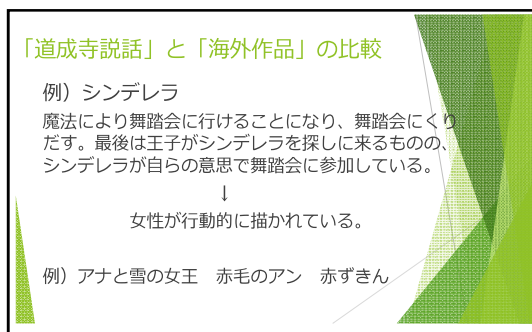
(5)



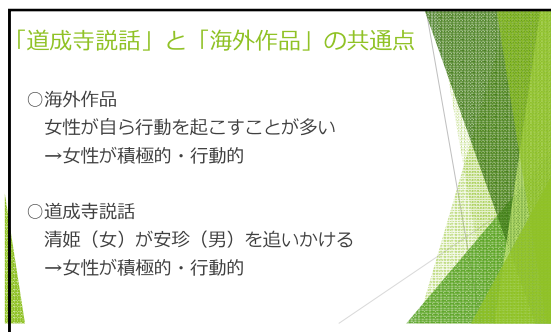
(6)



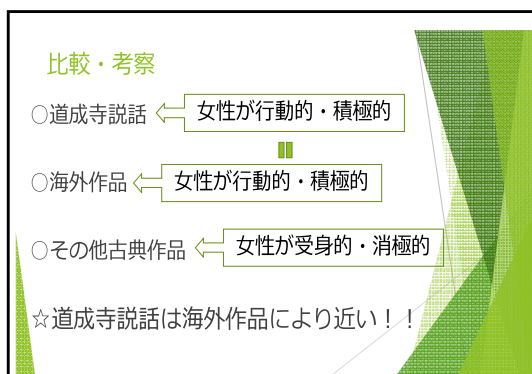
(7)



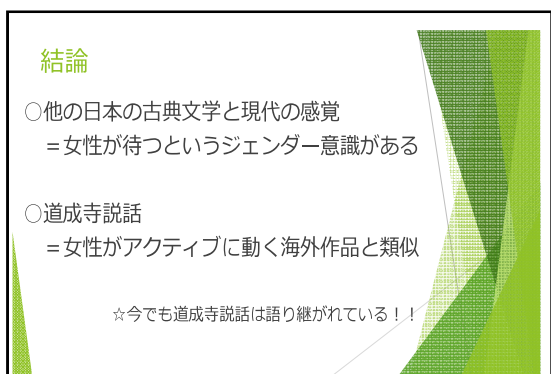
(8)



(9)



(10)



The Facts

**unknown to most people
around the world**

~focusing on Venezuela~

Member

Sakai Yasuyuki # Takeuchi Ayaka
Yokohata Sae # Moriguchi Nami

(1)

Why Venezuela?

REASONS

In Venezuela

The economy is getting worse

Refugees : increasing

(2)

Hypothesis

The relations between the situation
in Venezuela and nearby countries are getting worse



We think that the number of
applications of refugees will increase

(3)

Andes crisis

What is the Andes crisis?

The event that caused Venezuela's crash
(between Colombia and Venezuela)

The cause

The Colombian military conducted a
raid into Ecuador

(4)

Why did the Andes crisis happen?

Economic

2000—2014 : Economic growth
→ A great feat

But

Downturn of Chinese economy
→ Economy of Venezuela was destroyed



Venezuelan Economic Crash

Conclusion

The case: Venezuela depended on oil "TOO MUCH"

(5)

The return of the crisis

Colombia accused Venezuela of
arming Colombian revolutionaries



Venezuela was outraged



Diplomatic relations were frozen



(6)

Crisis which has international problems

Venezuelan crisis → International problem

2013 ~ : Nicolas Maduro's assumption of power

Control power in his way:

- Ignored citizens who criticized
- Ignored democracy

Citizens who are in need:

- Need food, medicines, etc.
- Tens of thousands of citizens



It's like the crisis in
Syria!



(7)

INCIDENT

• **Anti-government demonstrations**
(demands Maduro's resignation)
→ has been continuing



• The total death toll is **84**



(8)

Refugees application(1)

◆ Application destination

- United states : 18,300
- Brazil : 13,000
- Peru : 4,500
- Spain : 4,300

◆ Colombia is the most popular
destination

(About 300,000 people)

(9)

Refugees application(2)

◆ A system was established that gives special
permission to Venezuelans whose visas have expired
and are staying illegally. They can stay for 2
years.(Approximately 55,000 people have applied,
approximately 230,000 people may get permission.)

◆ Also in Brazil there are hundreds of indigenous Wallao from
the northeastern part of Venezuela.
Their reasons : Safety , deterioration , beverages , lack of
medical supplies , etc

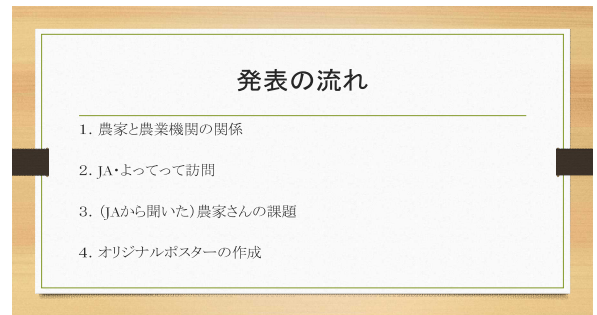
(10)

地域産業分野（一部抜粋）

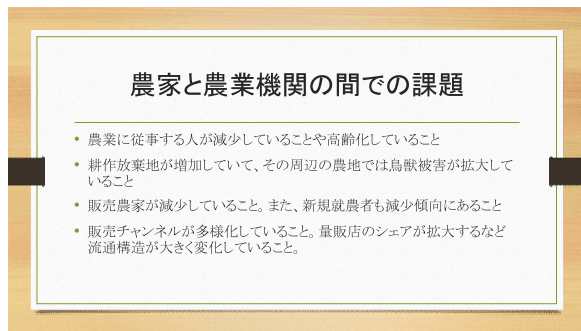
(1)



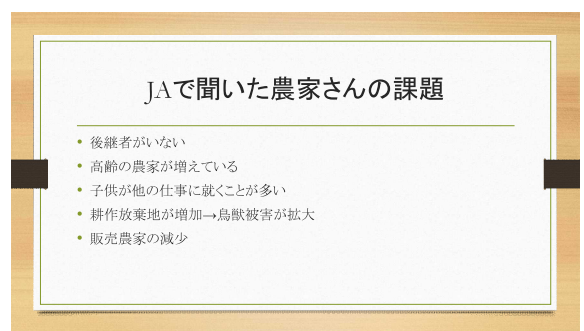
(2)



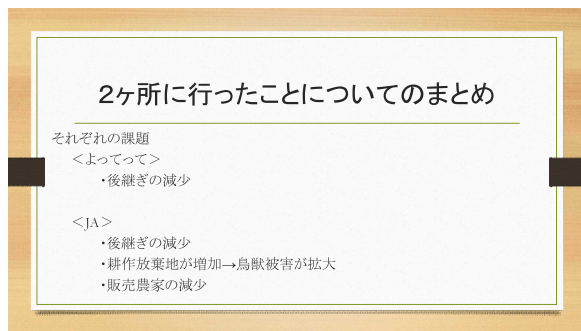
(3)



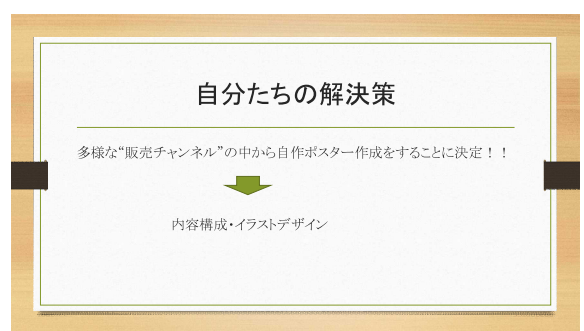
(4)



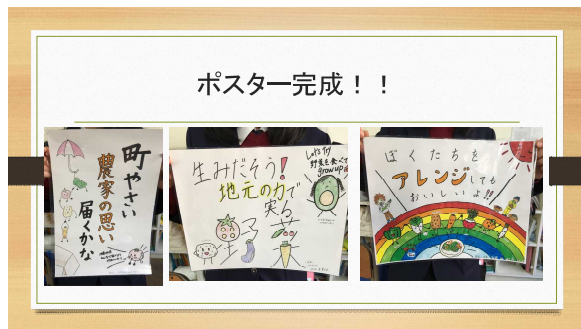
(5)



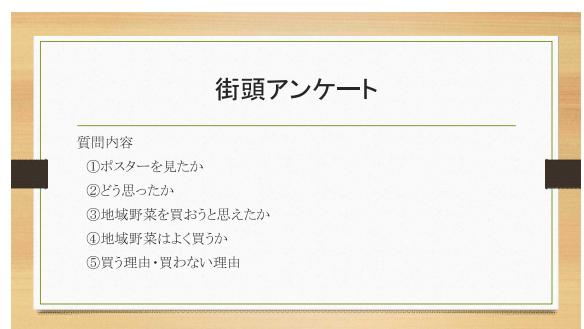
(6)



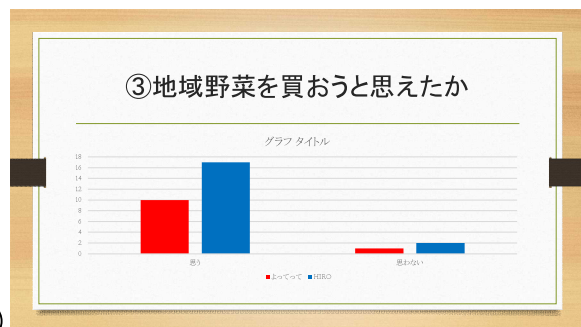
(7)



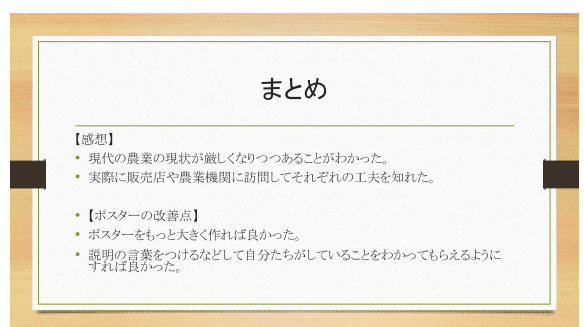
(8)



(9)



(10)



地域防災分野（一部抜粋）

(1)

自然災害が巻き起こす被災者とマスコミの関係性

久保 有佳里
森 楓
川島 夢加
白樫 若奈

(2)

動機

- 避難所に押し寄せるマスコミを見て、被災地の方にとっては迷惑なのではと思ったから。
- マスコミが報道することによって生じるメリットとは何かと思ったから。

(3)

マスコミの取材を受けますか？



回答	人数	対象
はい	54人	(生徒)
いいえ	164人	
はい	8人	(職員)
いいえ	15人	

(4)

理由

肯定派	否定派
- 多くの人に現状を知ってほしい - 募金、義援金、支援物資が増えるかもしれない - 断る理由がない	- 精神的につらい - 大変なときに取材を受けていられない - 映りたくない - 都合のいいところだけ使われるかもしれない

(5)

義援金・チャリティーイベントとはメリットとデメリット

	義援金	チャリティーイベント
メリット	呼びかけで集まった義援金で、被災地が少しでも豊かになり、被災者の負担が軽くなる。 東日本大震災では日本国内だけでなく海外からも送られ、総額約3743億円集まった。	被災していない人が被災地に来ることで、被災地自体を元気付けることが出来たり、被災地での催し物で被災者を元気づけることが出来る。
デメリット	集まった義援金がすぐに届かないことがある。 (長くて数ヶ月から数年)	イベントなどを被災地でするとき、他の地域から来る人で町や交通機関が混雑する etc...

(6)

届け方

```

    募集、受付
    ↓
    配分の基本的考えの決定
    ↓
    各被災都道府県における義援金配分委員会の設置
    ↓
    被災都道府県への義援金の送金
    ↓
    各県から配分対象市町村への送金
    ↓
    市町村から被災者へ配分
  
```

(7)

使われ方

死亡・行方不明者・・・一人当たり35万円

住宅全壊(全壊)・・・一戸あたり35万円

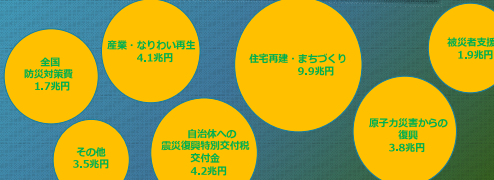
住宅半壊(半壊)・・・一戸あたり18万円

原発避難指示等・・・一戸あたり35万円

(第一配分)

(8)

5年間に使われたお金 29兆円



項目	金額
住宅再建・まちづくり	9.9兆円
被災者支援	1.9兆円
自治体への震災復興特別交付税交付金	4.2兆円
原子力災害からの復興	3.8兆円
その他	3.5兆円
全国防災対策費	1.7兆円
産業・なりわい再生	4.1兆円

毎日新聞 2017年2月21日

(9)

まとめ 1

マスコミの取材や報道を嫌う人が多いが、それによって募金や支援物資が増えるというメリットがある。

報道することによって誤った情報が広まり、いじめや偏見が起こるのも事実。

(10)

まとめ 2

私たちはこのことを十分理解するとともに、マスコミの偏った情報に踊らされないようにし、マスコミは被災者の気持ちに寄り添った報道を心がけ、私達とマスコミの関係性をより良いものにしていくことが大切。

(3) 化学分野

日高高校生、豆腐作ってよ。
～豆腐と凝固剤の関係性～

和歌山県立日高高等学校 下田悠斗 桶谷悠介 湯川圭祐 石田聖葉 鈴木穂乃加
柳瀬菜月 新田陽大 津村優希 荻本佳奈

動機

日高地方では、豆の栽培が盛んに行われている
↓
豆を使ったもので地域の活性化を!!
↓
日高の豆腐を作ってみよう!!



実験室での豆腐の作り方

1. 市販の豆乳 50mL を 200mL のビーカーへ入れる
2. 85℃までかき混ぜながら加熱する
3. 塩を入れて、少しかき混ぜて2分放置
今回使用した塩
① 硫酸マグネシウム $MgSO_4$
② 塩化カルシウム $CaCl_2$
③ 塩化バリウム $BaCl_2$
④ 硫酸アルミニウム $Al_2(SO_4)_3$
⑤ 塩化ナトリウム $NaCl$
4. コーヒーフィルターにてろ過
5. シャーレに移す

考察

・物質に関して(結果Ⅰより)
→今回の条件(豆乳 50 mL 用いた実験)では、 $2.0 \times 10^{-3} \text{ mol}$ の陽イオンを加える条件が最適

・割合に関して(結果Ⅱより)
→マグネシウムイオン・カルシウムイオン・バリウムイオンの二価の陽イオンが必須
→タンパク質(グリニシン)同士を結びつけるために二価の陽イオンが最適

・温度に関して(結果Ⅲより)
→高温になるにつれて、凝固するまでの時間が早くなる → しかし、塩が均一に溶解しない
→ 低温にすぎるとそもそも固まらない
→ **5.5～6.5℃くらいで時間をかけながら塩を均一に溶解させれば程よい固さになるのでは!!**

実験・結果

結果Ⅰ 陽イオンの物質重量検査

物質重量(mol)	1.0×10^{-3}	2.0×10^{-3}	3.0×10^{-3}	4.0×10^{-3}	5.0×10^{-3}
$MgSO_4$	固まらない	固まる	固まる	あまり	固まらない
$CaCl_2$	固まる	固まる	固まらない	固まらない	固まらない
$BaCl_2$	固まらない	固まる	固まる	固まる	固まる
$Al_2(SO_4)_3$	固まらない	あまり	あまり	あまり	あまり

物質重量(mol) 6.0×10^{-3} 7.0×10^{-3} 8.0×10^{-3} 9.0×10^{-3} 1.0×10^{-2}

$MgSO_4$	固まらない	固まらない	固まらない	固まらない	固まらない
$CaCl_2$	固まらない	固まらない	固まらない	固まらない	固まらない
$BaCl_2$	固まる	固まる	固まる	固まる	固まる
$Al_2(SO_4)_3$	固まる	固まる	固まる	固まる	固まる

結果Ⅱ 陽イオンの割合検査

Mg	Ca	Ba	Al	Na		Mg	Ca	Ba	Al	Na	
1					固まる	1				1	あまり固まらない
1	1				固まる	1	1			3	あまり固まらない
1	3				固まる	1	9			9	あまり固まらない
1	9				固まる	1	19			19	あまり固まらない
1	19				固まる	1		1			固まる
1	1	1			固まる	3	1	1			固まる
1	3				固まる	9	1				固まる
1	9				固まる	19	1				固まる
1	19				固まる	3	1				固まる
1	1	1			あまり固まらない	9	1				固まる
1	3				あまり固まらない	19	1				あまり固まらない
1	9				固まらない	3	1				固まる
1	19				固まらない	9	1				固まる
1	1	1			あまり固まらない	19	1				固まる
3	1				固まる	3		1			固まらない
9	1				固まる	9		1			固まる
19	1				固まる	19		1			固まる
1	1	1			固まる	3	1				固まる
1	3				固まる	9	1				固まる
1	9				固まる	19	1				固まる
1	19				固まる	3	1				固まる
1	1	1			固まる	9	1				固まる
1	3				あまり固まらない	19	1				固まる
1	9				あまり固まらない	3	1				固まる
1	19				あまり固まらない	9	1				固まる
3	1				固まる	19	1				測定不可

陽イオンの総物質重量を $2.0 \times 10^{-3} \text{ mol}$ にした。

結果Ⅲ 温度検討 (Mg : Ca = 1 : 1 で)

	結果
35℃	固まらない
45℃	固まらない
55℃	あまり固まらない
65℃	あまり固まらない
75℃	あまり固まらない
85℃	固まる

今後の展望

① 割合検討における豆腐の硬度を調べる
② 豆乳を使った最適条件の豆腐を食べる
③ 日高地方産の豆での最適条件豆腐を作って食べる!!

(4) 数学分野

数学が織りなすカードマジックのからくり

和歌山県立日高高等学校 数学班
市崎 典仁 若 彩斗 野尻 耀惟 山本 拓史
後藤 航太 森 嘉梨 中山 真太

既存のトランプマジックにはどのようなものがあり、どのような数学的法則が絡んでいるのだろうか?

→

どのようなマジックがあるのか調べてみよう!

マジック 1

〈手順〉
① 9枚のトランプを用意する。
(どのカードでもよい)
② 9枚の中から相手に1枚のトランプを選んでもらい、その選んだカードを元に戻し、シャッフルする。
③ 3枚のグループにカードを分け、どのグループに選んだカードがあるかを調べる。
④ もう一度、②の操作をする。
⑤ 上から5番目のカードを提示し、選んだカードかどうか聞く。
〈結果〉
カードの山の上から5番目(真ん中)のカードが、相手の選んだカードになる。
〈理由〉
②の操作をすると、相手の選んだカードは「 $9 \div 3 = 3$ 」より、上から4～6枚目の間に存在する。また、③の操作をすると、「 $3 \div 3 = 1$ 」よりカードの山の上からの枚目に相手の選んだカードがあることになる。

マジック 2

〈手順〉
① 16枚(20枚)のトランプを用意する。
(どのカードでもよい)
② 16枚の中から相手に1枚のトランプを選んでもらい、そのカードをカードの一番下に隠す。
③ カードの山の上から「捨てて→捨てない→捨てて→捨てない」を繰り返して、最後の一枚が残るまで行う。
〈結果〉
残った1枚が相手の選んだカードになる。
〈理由〉
「捨てて→捨てない」を1セットと考えると、これを16枚が8回繰り返すと、「 $16 \div 2 = 8$ 」より8枚残る。また、このとき1セットのうちの下の半分は捨てたので残る枚数は、
「この操作を繰り返すと、 $8 \div 2 = 4$ 」「 $4 \div 2 = 2$ 」「 $2 \div 2 = 1$ 」となり、一番下にあったカードが残る。

数学の規則性を用いて新しいマジックを作ってみよう!!
↓
新しいマジックを作るのはなかなか難しい...
↓
2つのマジックを混ぜてみよう!

〈研究内容〉
マジック(1)とマジック(2)の一部を変えて新しいマジックを作ってみよう!

○変更過程

・マジック(1)は3の倍数枚でいい。操作を終えると真ん中に相手の選んだカードがくる。
・マジック(2)でも真ん中のカードが残るようにはすればいい。
・マジック(2)は20枚のカードを半分にしていくことで「2=1」になっているが、一番上か一番下しか残らない。
・「捨てて→捨てない」の1セットを「捨てて→捨てない→捨てて」と3枚セットのうちの真ん中が残る。
・マジック(2)の使用枚数を3の倍数枚に変更し、カードの枚数を3分の1ずつに減らして残った1枚はマジック(2)をする前の真ん中のカード、つまり相手の選んだカードになる。

○変更点

・トランプの使用枚数を、マジック(1)より「9の倍数かつ3のn乗の枚数」マジック(2)より「 $16(2^4) \sim 27(3^3)$ 」とし、27枚で統一。
(トランプの枚数が3枚、3枚より少ない枚数は減らす)
・マジック(1)の③の操作の行2回数を1回増やす。
・マジック(2)の③の操作「捨てて→捨てない」を「捨てて→捨てない→捨てて」に変更。

○理由

・マジック(1)と同じ操作を行うと、「 $27 \div 3 \div 3 \div 3 = 1$ 」より、相手の選んだカードをカードの山の上から14枚目に操作する。そしてマジック(2)の操作で、「 $27 \div 3 = 9$ 」より9枚目のカードが残り合計3枚になる。もう一度その操作を行うと、カードが残り合計3枚になり、さらに繰り返すと相手の選んだカードになる。

〈結果〉
マジック(1)とマジック(2)を組み合わせて1つのマジックとして完成させることができた。

〈考察〉

① 確率だけでなくトランプのマジックを行うには相手の選んだカードの確率を絞って行く必要があると考ええる。また、2つ以上のマジックを混ぜる上で必要なポイントになる。
・トランプの条件枚数、使うカードの順番を調べる。
・使うカードの枚数に合わせて操作を変更する。
・2つのマジックをスムーズにつなげる。
の以上の3つで考える。
② 新しいマジックを作る方法は現時点では見つけることができなかったが、数学の規則性や確率との関連性を研究。新たなマジックの作成に挑戦していきたい。

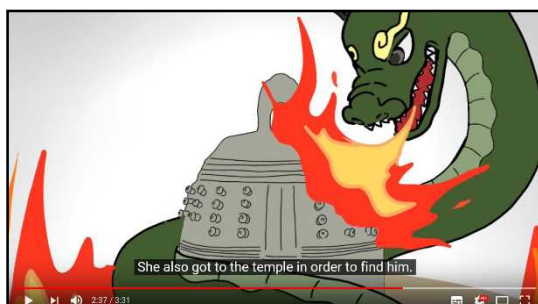
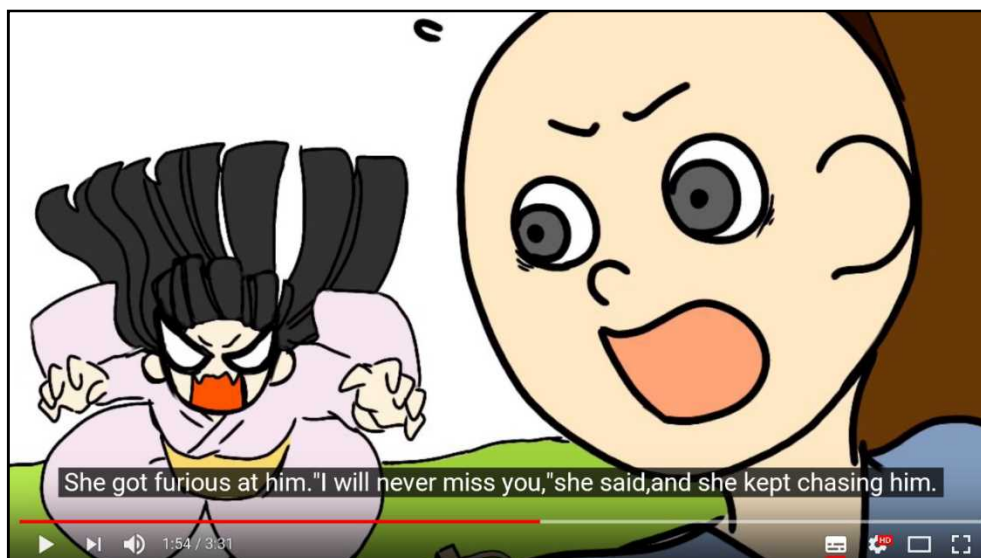
64

3 授業成果物

地域文化分野

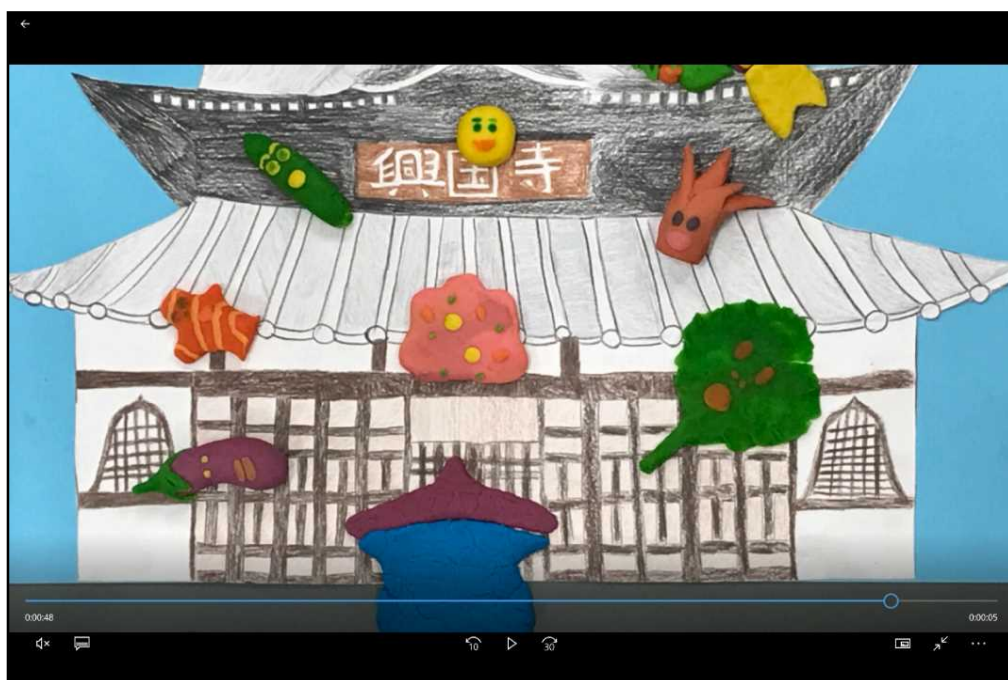
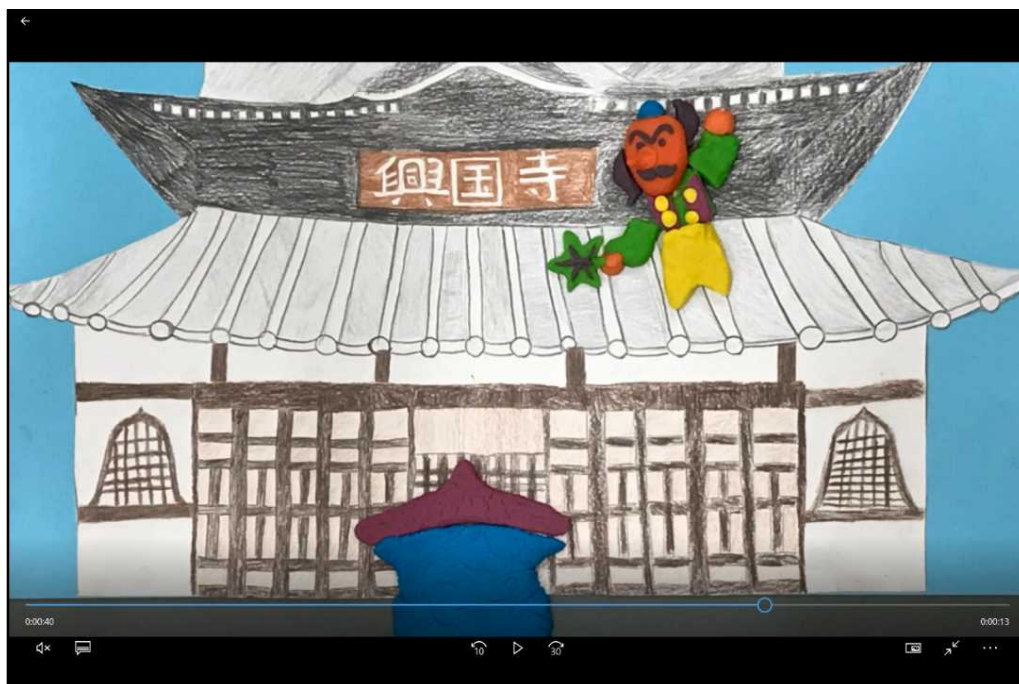
(1)「世界へ、和歌山の民話」探究グループ作成動画

概要：「安珍清姫物語（道成寺説話）」YouTube 動画。日本語ナレーション、英語字幕付記。



(2)「金山寺味噌を食べてもらおう」探究グループ作成クレイアニメ

概要：「金山寺味噌」紹介アニメ



(3)「愛する故郷に観光客を」探究グループ作成ガイドブック

概要：「地元の良さ～ショッピング、グルメ、娯楽～」紹介パンフレット

はじめに	目次
御坊って何があるん？と思っているそこのあなた！ そんな疑問もこの一冊でぜんぶ解決！ ショッピング、グルメ、娯楽、が詰まった一冊になっています😊 私たちは地元の良さを伝えるべく、 御坊をかけ回り、色々なお店を訪れました。 私たちが調べていく中で、「こんなところにお店があるんや！ こんな店もあったんや！」と感じながら、この本を作りました。 どうぞお楽しみください！	p.3 自己紹介 p.5 Bon Appetit YANAGIYA p.6 フロンティアキング p.7 ゆめみ茶屋 p.8 Patisserie Supreme p.9 丸金 p.10 Prism p.11 ATARU p.12 Banguard p.13 メルヘン p.14 Shuka-朱夏- p.15 ら〜めん幕末 p.16 B.V.(British Veghicles) p.17 倉庫ミュージアム WAWAWA p.18 あきちゃん p.19 map
p.1	p.2



ゆめみ茶屋

〒644-0002 和歌山県御坊市南 201-5
TEL 0738-22-5115
定休日 日曜日
営業時間 AM6:00～PM5:00
PM8:00～AM12:00

◎お店の方のコメント

御坊日高管内のカルチャー発展のために文化を発信したり、表現したりするお店を作りました。
普段は、食事、お茶が出来るので皆さん是非来てください。



p.7



Patisserie Supreme

和歌山県御坊市湯川町
財部 714-1
TEL 0738-22-1510
定休日 水曜日
営業時間 AM10:00
～PM7:00

▽9月5日にできたばかりのケーキ屋さんです。
店内の大きなショーケースの中ではケーキが輝いていて、見ているだけで幸せになりま
沢山の美味しいケーキたちが
あなたを待っています。



p.8



丸金

〒644-0001 和歌山県御坊市御坊 87
TEL 0738-22-0429
0738-22-1310
定休日 日曜日
営業時間 AM9:00～PM7:00
(但し、揚げ物はAM10:00～12:00
/PM4:00～PM6:00)

◎お店の方のコメント

古いお店ですが、揚げ物を揚げているので、お客さんが来てくれます。
商店街内のお店が少なくなっているので頑張っています。みなさん来てください。



p.9

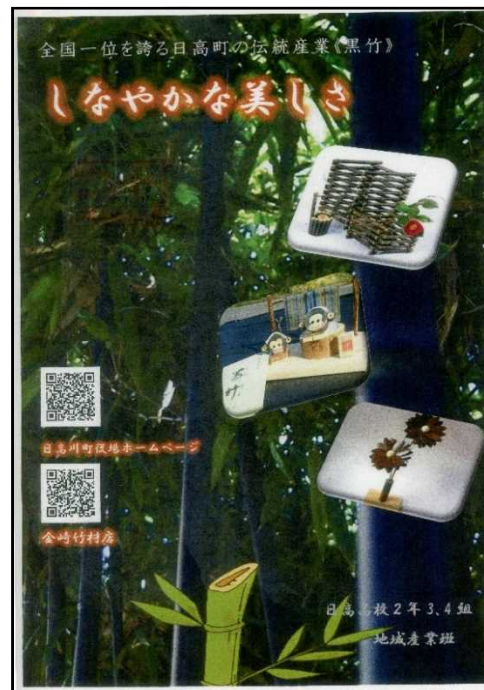
p.10

地域産業分野

(1)「御坊市周辺の飲食店紹介を用いた地域活性化」探究グループ作成ポスター



(2)「伝統産業～黒竹と御坊人形」探究グループ作成ポスター



(3)「スターチスで御坊を活性化」2018 年度探究グループ作成物

①スターチスアレンジ紹介カード



②インスタグラム紹介ポスター



③SNS での広報活動



(4)「スターチスで御坊を活性化」2017 年度探究グループ作成物

①アクセサリー



②SNS 広報活動用写真

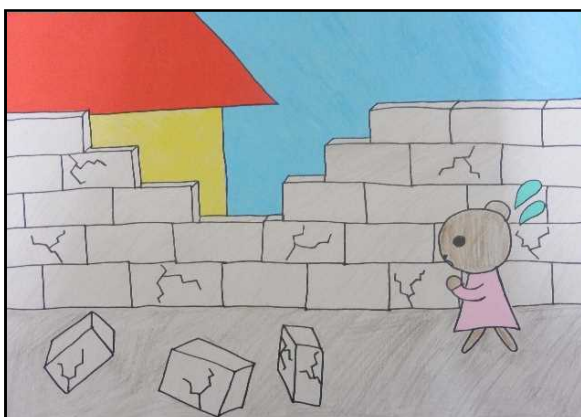


③ドライフラワーの花束



地域防災分野

(1)「防災紙芝居」探究グループ作成紙芝居



読み聞かせの様子（近隣保育園にて）

(2)「台風から身を守るために……」探究グループ作成冊子（抜粋）

○食料

◆ 食料について

食料品は長期間備蓄するというより、普段の生活の中で非常食になる食料を消費しながら、その分をまた買い足していくという「ローリングストック」がおすすめ。

しかし、準備は入念にして、長期間の停電に備えて保存のきく物も備蓄しておこう。

生ものは停電すると腐ってしまうので、少なめにしよう。

◆ 用意しておいた方がいい食品

✓ 缶詰
惣菜やフルーツなど、バリエーション豊か。
保存もきくため、最初に用意しておいたほうがよいだろう。
最近では、長期間保存のきくパンの缶詰なども。

Point! ツナ缶はランブ代わりにもなる！？



ツナ缶に穴を開け、芯(コーヒーのフィルタやティッシュ)を差し込むと、中のオイルに点火し、2時間ほどもつランブ代わりに！
※火が消えた後はもちろん中身は食べられます。

○暴風

◆ シャッター、差し板などで家のガラスを保護する

～窓にシャッターなどが無いとき～

- ひろげたダンボールを窓にあて、その上からガムテープでとめる
- ガムテープを米の字に貼る

Point! 布製か養生テープだとはがしやすい

- カーテンの下から1/4あたりに突っ張り棒を設置する など
- 割れてしまったガラスが飛散しないようカーテンが受け止めるよ。

◆ 家の外、ベランダにあるものを移動または固定する

一物の破損や、物が窓に飛来して割れるのを防ぐよ

例) 自転車、植木鉢、倉庫など



参考) https://www.seikatsu110.jp/garden/gd_shutter/87043/
https://68187801.at.webry.info/201807/article_2.html

(3)「防災カレンダー計画」探究グループ作成カレンダー（一部）

1

January 2019

屋内での死亡原因



屋内で地震が発生したとき、どのような原因で亡くなる方が多いかご存知ですか？

最も多いのは家具の倒壊です。その中でも特に家具や電化製品の倒壊、それらのガラスや金属による大物落下が大半を占めています。

タンスや冷蔵庫はしっかりと倒れてくるイメージを皆さんが持っていますが、大地震の時は揺られるのでそれらは飛びます。その結果、重い家具や電化製品に打ち付けられ、最悪の場合死に至ってしまう恐れがあります。

このことからまずはなくてはならない教訓は、家具や電化製品を固定する必要があるということです。

このような小さな積み重ねをすることにより、助かる可能性が上がります。

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1 水	2	3 木 平穏地震(1759 年)	4 金 ニューニピア島沖地震(2009 年)	5 土
6 日	7	8 月 イラン北部で地震(1760 年)	9	10 火 ニールラ・ゾンゴ山噴火(1977 年)	11 水 三沢大火(1868 年)	12 木 ハイチ地震(2010 年)
13 土 千島列島東方沖の地震(2007 年)	14 日 伊豆大島近海地震(1978 年)	15 月 新潟中越地震(1963 年)	16 火	17 水 阪神・淡路大震災(1995 年)	18 木 文正地震(1568 年)	19 金 インドネシアで M6.7 の地震(1861 年)
20 土 コリマ地震(2003 年)	21 日 東濃白根山噴火(2018 年)	22 月	23 火 チヤン地震(1939 年)	24 水 アルメニア・コロンビア地震(1989 年)	25 木	26 金 合衆国カリフォルニア地震(1700 年)
27 土 越前地震(1502 年)	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9

(4) 「HIDAKARD～避難所運営シミュレーションカードゲーム」探究グループ作成カードゲーム（一部）

16 Event # 2

200 blankets will arrive at one o'clock. Please decide where they will be kept.

200枚の毛布が届くので、置く場所を決めておいてください。

126 Family #28

桜井
(サクライ)

M;32yrs  Japan

Members:
Man, Man

Features:
LGBTQ
カップルで来た

Needs:
Staying in their own car
自分の車で過ごしたい

71 Family #19

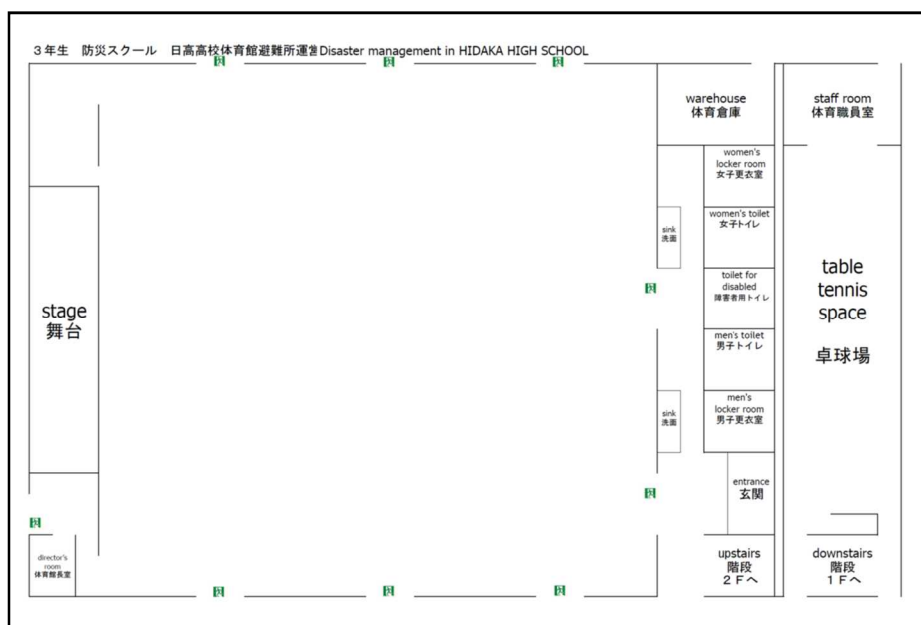
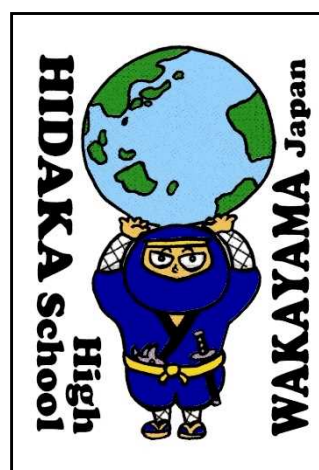
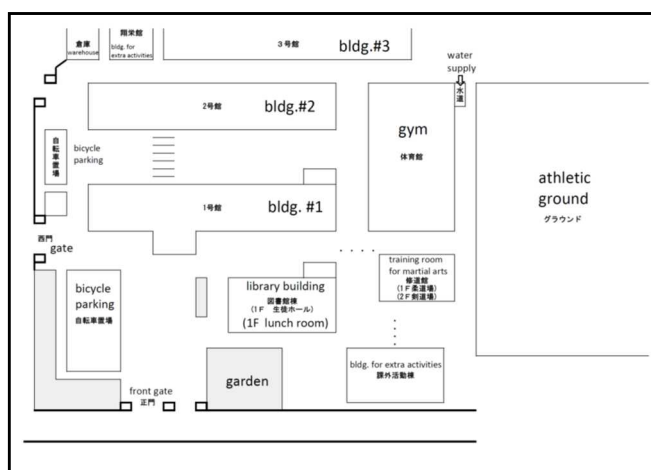
Abdul
(アブドゥル)

M;37yrs  Malaysia

Members:
Husband, Wife, Wife, Wife, Son

Features:
English only 英語のみ
Muslim イスラム教徒

Needs:
Praying space
お祈りのスペースが欲しい



4 校外発表資料

SGH 全国高校生フォーラム要旨（パンフレット抜粋）

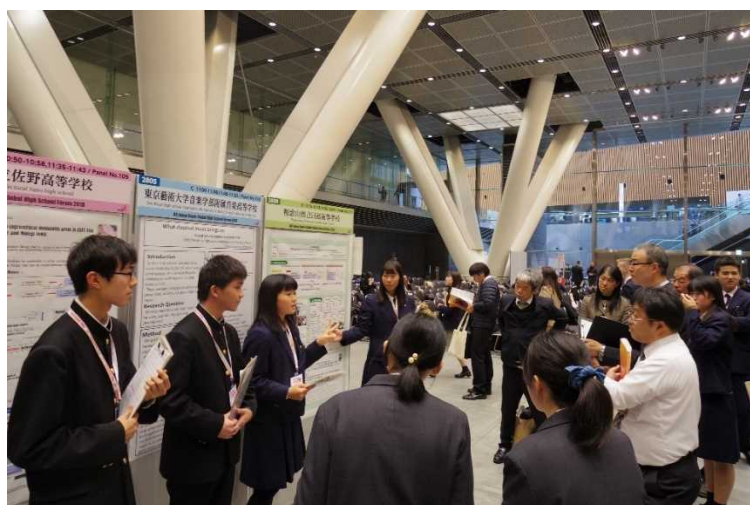
2017 年

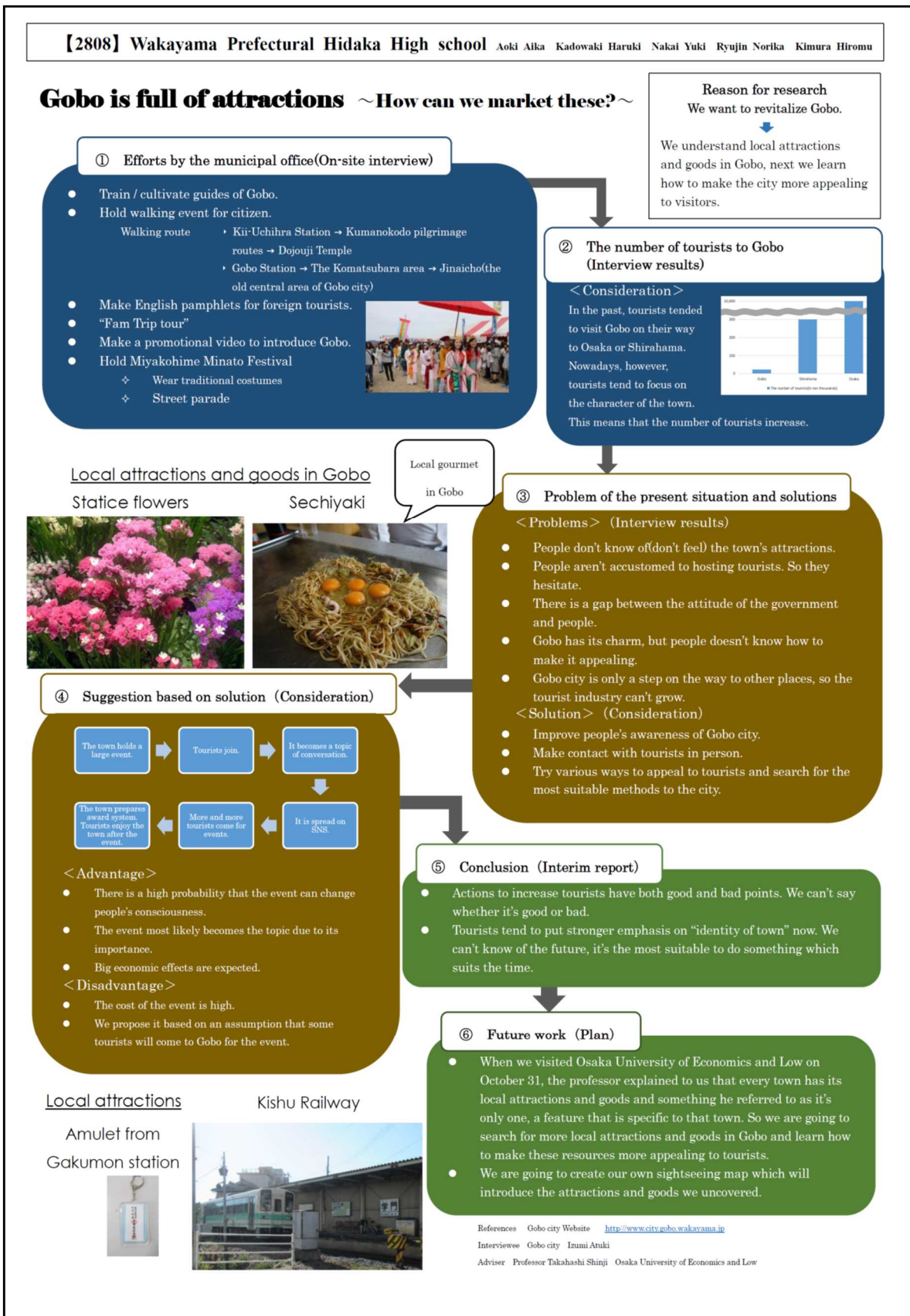
テーマ・要旨	掲示 2808. 120 (会議室302) 和歌山県立日高高等学校 地域課題についての研究発表 ～中間報告と今後の見通し～ 2年生では総合的な学習の時間において、文化・産業・防災・移民難民の4分野でそれぞれの生徒グループが研究を進めている。10月中旬には中間発表を開き、分野ごとにすべてのグループが課題設定の経緯および研究の進捗状況を報告し合う。その中で、高校生ならではの視点を持ちつつ研究の進捗が期待される1グループの発表について、ポスターにまとめる。	Wakayama Prefectural Hidaka Senior High School A Presentation on Regional Issues: Interim Reports and Outlook In Integrated Studies, second grade students choose one subject from four themes: culture, industry, disaster prevention, and immigrants/refugees. They work in small groups to conduct research on their respective themes. Interim presentations will be conducted in mid-October, during which each group will provide the background of their problem statement and report on the progress of their research. A poster will be created summarizing the presentation of the most outstanding group.
--------	---	---

2018 年

テーマ・要旨 Title/Outline	発表 2808. D/11:10~11:18, 11:55~12:03/111 和歌山県立日高高等学校 HIDAKARD ー外国人を巻き込んだ避難所運営シミュレーション 地域防災に取り組む中で、私たちは静岡県が開発した「避難所運営ゲーム (HUG)」に注目した。「HUG」に、「災害時の外国人対応」、私たち日高高校生に代表される「普段外国人と接することが少ない日本人」という二つの要素を併せることが、「地域における多文化共生」の一助となると考えている。具体的には「HUGを基にした英語版避難所運営シミュレーションカード」を作成し、8か国303人を対象に調査、検証した。	Wakayama Prefectural Hidaka High School HIDAKARD – Simulating Evacuation Center Management with Foreigners – In our research on regional disaster prevention, we focused on "HUG," a simulation game of an evacuation center operation, which was developed by Shizuoka Prefecture. We integrated HUG with two elements: support for foreigners in time of a disaster and Japanese people with few opportunities to contact with foreigners in their daily lives. We believe the integration will be of some help to multicultural coexistence in the countryside of Japan. Specifically, we made simulation cards in English based on "HUG," and conducted a research on 303 people from 8 countries with the cards and investigated the results.
-------------------------	--	---

2018 年 12 月 15 日 当日の様子





Title	HIDAKARD --Simulating Evacuation Center Management with Foreigners--		
Key words	local disaster prevention, Hinanzyo Unei Game(HUG), multicultural coexistence	School	2808 Wakayama Prefectural Hidaka High School

1. Introduction

Local Disaster Prevention **"Improving Disaster Awareness"** & **"Multicultural Coexistence"**

Background

Indonesia
Lack of awareness of disaster preparedness

Japan
Support for foreigners in time of a disaster

Hypothesis
 HUG × Support for Foreigners in Time of a Disaster × Japanese in the Countryside
 ↓
Multicultural Coexistence

Figure 1: The Number of Foreign Residents (Justice Ministry) - -References 3)

Figure 2: The Number of Foreign Tourists to Wakayama (Wakayama Prefecture)--References 2)

HIDAKA H.S.
Little chance of interacting with foreigners

2. Methods

HUG → **HIDAKARD**

1) Development
 Point 1 : English & Japanese
 Point 2 : More Foreigners
 Point 3 : Diversity of Religion & Gender

2) Simulation & Analysis
 Research Date and Time : Oct. 29th, 2018 (75min.)
 Research Object : 303 people from 8 countries
 Research Method : Questionnaire

3) Spread

3. Results

	Group A	Group B	Group C
Members	202	17	4
Guests	65	12	3
Groups	44	4	1
Tools used	HIDAKARD	HUG	HIDAKARD
Languages used	English	Japanese	Japanese
1 Help studying disaster prevention	49%	62%	100%
2 Feel the necessity of improving English communication skills	58%		
3 Cooperate with others	85%	71%	100%

4. Analysis

(1) HIDAKARD is **effective**.
 (2) Careful **explanation of the rules** is necessary.

5. Conclusion

Findings from the research:

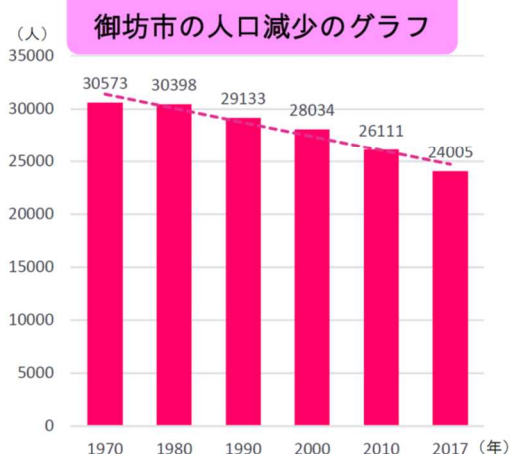
- (1) HIDAKARD can provide us an opportunity to think of **shelter management**.
- (2) HIDAKARD makes us realize the necessity to improve our **English communication skills**.
- (3) HIDAKARD is useful for introducing to foreigners **disaster prevention education** in Japan.

HIDAKARD can be expected to be utilized abroad next year to offer a tool to other countries to help improve disaster prevention awareness among local residents.

Acknowledgement • Madania Secondary School in Jakarta, Indonesia • Ryubunsha Printing Office in Gobo-city, Wakayama • Participants in High School Students Summit on "World Tsunami Awareness Day" 2018 in Wakayama • Students, Teachers, All members of Hidaka High School	References 1) "Hinanzyo Unei Game (HUG)" Shizuoka Prefecture 2) "Tourist Dynamic Statistics Report (2009-2017)" Wakayama Prefecture 3) "The Number of Foreign Residents at the end of the fiscal year of 2017 (definite value)" March 27th, 2018, Justice Ministry's Immigration Bureau 4) "The System of Information Coordinators for Foreigner Support in a Time of Disasters" March, 2018, Ministry of Internal Affairs and Communications
---	---

意外と知られていない！？御坊のスターチスに迫る

和歌山県立日高高校 脇本蒼斗 中家理那 井戸洸稀 田中順也 龍神千咲



- ◆ 進学や就職、結婚等に伴う転出人口の増加
- ◆ 少子高齢化に伴う出生数の減少と死亡数の増加

- ◆ 地域経済の規模縮小や担い手不足
- ◆ 地域コミュニティの衰退

- ◆ 人口減少時代に合ったまちづくり



花のまち御坊

- ◆ スターチス出荷量が**全国ナンバーワン**
- ◆ 御坊**オンリーワン**のスターチス
紀州ファインイエロー、紀州ファインパール
- ◆ がくの色は白、黄、ピンク、紫など多色
- ◆ 出荷は10月下旬から6月下旬まで
- ◆ 主に仏花として使用されるが、ドライフラワー、アクセサリーや結婚式にも用いられる
- ◆ 花言葉は「**変わらぬ心**」

校外研修 大阪経済法科大学

2017. 10. 29

◆ 学んだこと

- ・ **オンリーワンナンバーワン**キャッチフレーズに当てはまる地域資源を見つける
- ・ 地域資源を広く浅くではなく**1つのもの**を磨いていく
- ・ **高校生視点**での磨き方を考える

フィールドワーク

2017. 12. 13



Instagram

Statis_0304



合格星とスターチスリース



- ◆スターチスの色鮮やかな部分は花びらではなくて“**がく**”
- ◆花びらは中央に隠れている**五角形**の部分
- ◆合格星とは**五角**と**合格**をかけている

中央のリースはがいなポートさんから頂きました

新聞に掲載されました



2018.01.11 毎日新聞



スマイルハート掲載の為のインタビュー
2018.03.02



御坊から世界へ

- ・Instagramを使って全世界へ発信
海外の方からも”いいね”をいただきました
- ・御坊市の花農家のスターチスが
ロシアへ輸出!!
- ・海外では紫が一般的でピンク、イエロー、ホワイトは珍しい
これは日本**初**の試み



まとめ

スターチスをInstagramで全世界へ広める

↓
地域産業の活性化

↓
新しい人の流れを作る

↓
交流人口の増加

↓
御坊市の活性化



取材協力

JA 紀州様
大阪経済法科大学様
藤原電子工業様

スターチス部会長 斎藤様
和歌山大学様
御坊市ホームページ

SG課題研究 I

授業成果物

地域文化分野「地元紹介ポスター」

須賀神社の秋祭り



たくさんの屋台が出て、
子どもたちや地域の人も
楽しめます。
おもしろいので、迫力が
あり、大盛り上がりです！



毎年各地区で選ばれた
男の子が馬に乗って、神社を
参拝します。さまざまな衣装
をつけた馬と男の子は、キレイで
かっこよくて、釘付けになります！

祭の最後に行われる
馬かけは、最大の見所
です。目の前ギリギリ
を走り抜ける馬たちに
圧倒されます!!



岩内1・3号古墳

△1号古墳

1号墳は、岩内字廣基に所在する一辺が約18メートルの方形で三方に周溝が廻り、内部に巨石を部材とした横穴式石室をもつ終末期古墳である。竊穴もなく発見・調査され、大刀や横村漆土などが出土し、その後昭和54年度にも発掘調査が実施されている。有間皇子の墓ではないかとの説がある。




△3号古墳

3号墳は、岩内字平田に所在する直径約28メートルの円墳で、周側に幅約3メートルの周溝をもち、昭和54年度に発掘調査され、内部主体として2基の竊穴式木棺が確認され、多数の遺物が出土している。築造年代は古墳時代中期前半と考えられている。




吉原祭

・由来...豊作や大漁を祝う祭

・日時...毎年10日の第3土曜日、日曜日

・見所...
 ・乗りの大さか声
 ・乗りを担ぐ大人達の掛け声
 ・旗が空高く上がる様子
 ・熊手組の迫力
 ・小学生の笛の音色



4つの組がある
新田 田井 東 西

↓田井組



この写真の奥に屋台が写っています！

内容(田井組)

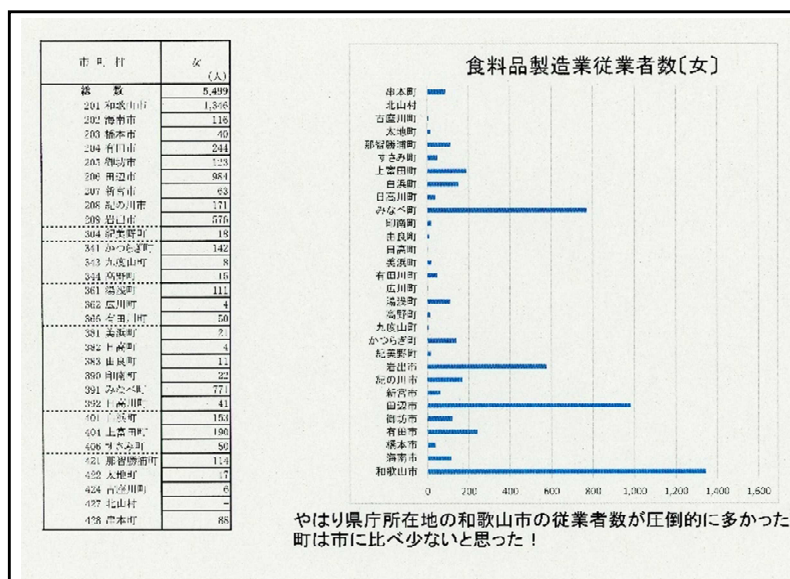
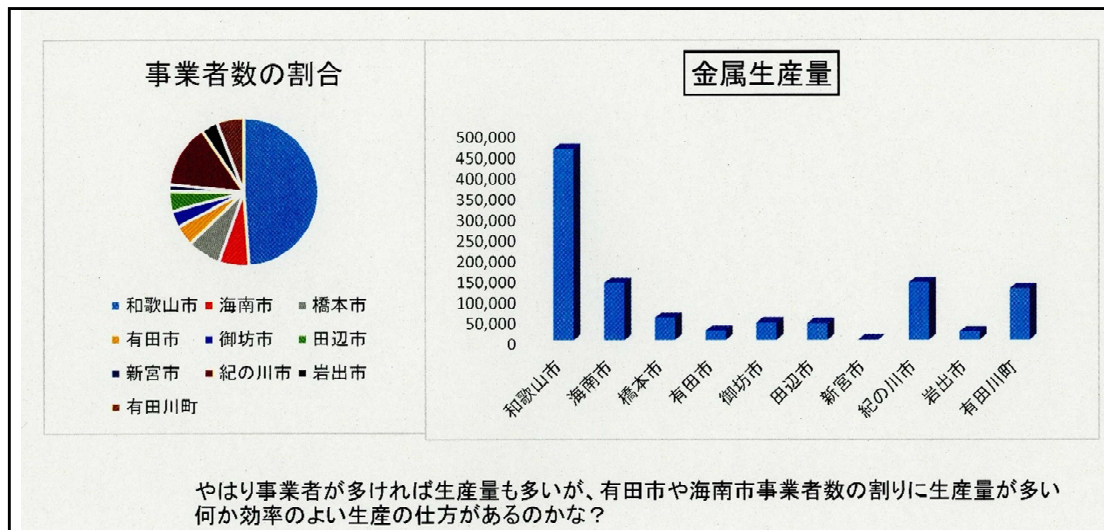
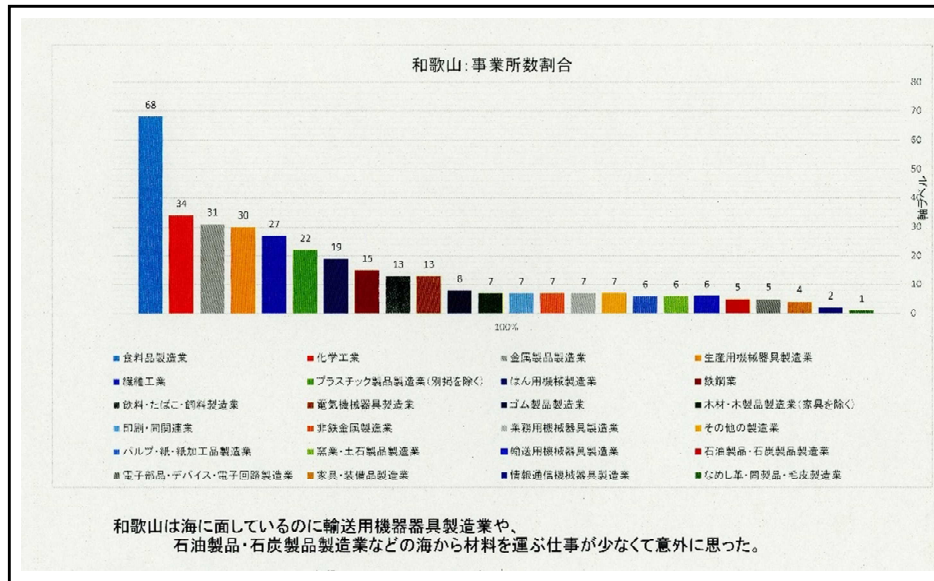
・土曜日 (祝祭)	・am 9:00~ 松原王子神社 (参入)
	・pm 19:00~ TSUTAYA 前 (送迎行事)
・日曜日 (休祭)	・am 10:00~ 松原王子神社 (参入)
	・pm 14:00~ 熊手組 (熊手組奉賛)
	・pm 18:00~ 松原王子神社 (おどり)

是非

気軽に見に来て下さい！
 声をかけて下さい！
 参加もお待ちしています！
 (参加は田井組でお願いします！)

・毎年多くの方が来て下さり、祭にも参加して下さいます。

地域産業分野「和歌山の産業に関するグラフ」



地域防災分野「防災アンケート結果」

1年生総合 防災アンケート結果	
	この表が正しい？ 間違いがあれば、 指摘して下さい。 アンケート項目が 書きかえられているものを 明記して。
1年	
テーマ	家庭での防災について
質問	家族で地域の避難訓練に参加していることがあるか。
『ある』 (12名)	① 男子 5人 ② 居住地 海側 4人 ③ 家族人数 3人 1人 女子 7人 山側 7人 4人 6人 街中 1人 5人以上 5人 ④ 家族の中に大規模災害を 経験した人がいる。 はい 7人 いいえ 5人
『無い』 (21名)	① 男子 11人 ② 海側 3人 ③ 3人 ... 4人 女子 10人 山側 15人 4人 ... 6人 街中 3人 5人以上 ... 11人 ④ はい 8人 いいえ 13人
『家族の中に参加した人はいる』 (7名)	① 男子 3人 ② 海側 3人 女子 4人 山側 4人 街中 0人 ③ 3人 ... 0人 ④ はい ... 4人 4人 ... 1人 いいえ ... 3人 5人以上 ... 6人
【調査分析結果】 この結果より、避難訓練の経験があるのは山側に住む人に多いことが 海に近いため、津波などの可能性があるので、海側の方が多くは参加している。 遠くへの避難も... また、はいと答えた人が7割と経験している。 「はい」と答えている人が約9割は山側に住んでいる。海に近いから、こ れだけだとわかっているとしても、土砂災害などの危険もあるため、 一度参加してみようと思う。 実際に参加しようとしている。「あり」と答えている人はほとんどは少し おもしろいかな！	

テーマ 防災グッズ									
質問 この時期 必要な防災グッズは??									
 ① 食料	解答者 74% 性別  14人  16人 年齢  A 19人  3人 B 9人  28人 3人	文庫  19人 理系  11人 年齢  10代 ~ 20代 30人							
 ② 防寒着	解答者 7% 性別  6人  1人 年齢  A 3人  2人 B 1人  28人 1人	文庫  4人 理系  3人 年齢  10代 ~ 20代 6人 30代 ~ 40代 1人							
 ③ ラジオ	解答者 4% 性別  2人  2人 年齢  A 3人  1人 B 0人  28人 0人	文庫  2人 理系  2人 年齢  10代 ~ 20代 4人							
 ④ カロ	解答者 1% 性別  1人  0人 年齢  A 0人  1人 B 0人  28人 0人	文庫  0人 理系  1人 年齢  10代 ~ 20代 1人							
解答してくれた人数 32人 ↓ 39人									
全体における各解答者の割合 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center; border: 1px solid black;">食</td> <td style="width: 30%; text-align: center; border: 1px solid black;">44 74%</td> <td style="width: 10%; text-align: center; border: 1px solid black;">防寒</td> <td style="width: 10%; text-align: center; border: 1px solid black;">7%</td> <td style="width: 10%; text-align: center; border: 1px solid black;">ラジオ</td> <td style="width: 10%; text-align: center; border: 1px solid black;">1%</td> </tr> </table>				食	44 74%	防寒	7%	ラジオ	1%
食	44 74%	防寒	7%	ラジオ	1%				
【総合分析結果】 100%のうち食料が74%占めるといふ、食料の圧勝でした！ この時期、必要な防災グッズ。という質問なので、個人としては防寒着が1位になるかなと思っていましたが、やはり生きる為に1番必要な「食料」が1位となりました。食料は女子の方が高いのに対し、防寒着では男子の方が女子を上回る結果に。以外と男子は寒がりなんだと分かりました。 1人だけカロを選んでいたのが、ズク死にさせます。やはり男子。。。寒いのが苦手なのよです！									

テーマ	防災グッズ		
質問	どんな防災グッズを準備していますか。		
◎ <u>食料</u> (19人) ◎ <u>衣類</u> (0人) ◎ <u>食料衣類</u> (2人) ◎ <u>準備していない</u> (12人) <u>性別</u> 男性 12人 女性 7人 男性 2人 女性 0人 男性 6人 女性 12人 <u>居住地</u> 海側 6人 山側 13人 街中 0人 海側 0人 山側 1人 街中 1人 海側 4人 山側 13人 街中 1人 <u>季節</u> 夏服 7人 冬服 12人 夏服 0人 冬服 2人 夏服 12人 冬服 6人			
【総合分析結果】 食料だけを準備しているという人が一番多かったが、準備していない人も差があることがほとんどだった。 食料だけを準備していると答えた人は女性の方が男性の方が多いが、準備していないと答えた人は男性の方が女性の方が多い。 女性の方がしっかりと準備しているかと思っていたので意外だった。 食料に衣類の両方を準備しているという人は2人のみで、男性だけのものも少し意外だった。			

テーマ 防災グッズ

質問 どんな防災グッズが最も必要だと思いますか。

※結果

性別?

性別	大地震	津波	火災
男性	26	15	2
女性	14	5	1

居住地?

居住地	大地震	津波	火災
都市部	7	2	1
近郊区	20	2	1
山沿い	1	1	1

家族構成?

家族構成	大地震	津波	火災
独身	7	5	2
夫婦	17	1	1
家族	1	1	1

家族に自信?

家族に自信	大地震	津波	火災
ある	7	15	10
ない	1	1	1

グラフも見え表もスプレッドシート
分かりやすく、分析の必要も
少ないので、分析の必要も
少ないので、分析の必要も

大地震の時に見えるのが一番多かった。おそらく、頻度の問題かと思われる。
大地震のやつは山沿いが多い。津波は海沿いが多い。きれいに
分かれていた。住む土地によって結果が違った。
性別、家族構成によって変わることはなさそうだ。
家族に自信がある人は想像していたよりも多かった。

まとめられたグラフはとも
見やすかつた。スプレッドシート
もスプレッドシートで見た

家族が、アンケートの結果を、
分かりやすく表として、
見せた。

移民難民分野「プレゼンテーションPPT」(一部抜粋)

(1)

難民の生活

1年総学 4班

(2)

UNHCRとは？

- 難民に対する「国際的保護」
- 世界食糧計画(WFP)とともに、難民の食べ物と栄養の確保
- 1日一人あたり1900キロカロリー(緊急時には2200キロカロリー)分の食べ物を配給



2000kcalの食糧目安をごはんからの確保
https://www.gohan-nani.jp/ingredient/2000kcal.html

(3)

問題点

- 公平に食べ物が行き渡らず、不正支給が起きる。
- 感染症や誤った調理習慣のために、適切な量の食べ物を摂取できずに栄養失調になる。
- 水不足、食べ物の一部が生活必需品を買うために売ってしまうことなども栄養失調の原因。

(4)

対策(栄養失調)

- 栄養失調にかかった人に対しては、高カロリー・高タンパク質の食糧の摂取が必要。
- 5歳未満の子ども、栄養を必要とする妊産婦には補助食料が支給。

(5)

難民キャンプでの生活

設備

- ◆テント、仮設住宅
- ◆トイレ
- ◆浄水設備、給水タンク
- ◆小学校 → 子供たちは教育から遠ざかっているのが現状



(6)

◎ 難民の仕事・収入



難民の中で正規雇用はごく一部。
例えば、ドイツでは就業している難民が約3万人いるが、ほとんどが有期雇用か政府が斡旋した簡単な仕事。
自給は1ユーロ程度(日本円で約135円)。
しかし、正規雇用につながるものではない。

参照: <http://toyokeizai.net/articles/-/147706?page=2>

(7)

1. セミナー事業

難民が講師となって日本人向けにセミナーを行う事業。

語学

民族料理

→



2. 弁当事業

日本人の弁当業経営者と共に難民を雇用し弁当を作って販売するビジネス。



→



難民にって働きたい!!ゼロからの世界を英語で(イタミナ)「アイティ」(WIKI)
<https://jpmemo.jp/2018/10/12/jpmemo/>

(8)

◎ビルマ難民キャンプ場 (ミャンマー)

遊び→

チンロン

ビルマ語で

籠

球体

学び→ 図書館

サッカー+バレー

参照: <http://va.or.jp/activity/oversea/hr/c/background.html>
<http://www.afpb.com/articles/-/3148592>

(1)

日本と世界の難民状況

1年 総学 難民班

(2)

難民が多い理由

- 戦争や紛争から国外に避難
- 人種差別、思想的弾圧、宗教的迫害、政治的迫害
- 気候変動によってすんでいたところの生活が困難に
- イスラム過激派
- (その他)

(3)

特に多くの難民を受け入れている国は、

1位 トルコ ← 難民が多いシリアとギリシャの間に位置している

2位 パキスタン

3位 レバノン

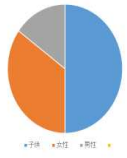
地理的な理由ゆえ協力せざるを得ない

(4)

難民の性別・年齢の割合

・約50%が子供で約35%が女性、約15%が男性

子供の割合が半数を占めているのは、先進国の子供を少なく、教育に力を入れるいう考えがないので、難民は大家族が多いと思われる。



(5)

日本の難民の数 (平成28年度)

非認定者の数は1776人

- ・認定者が16人、在留認定者が52人、非認定者に対してこれらの人々ははるかに少ないというのが日本の難民受け入れの現状である。(法務省HPより)

(6)

世界の難民人定数・認定率の比較(2016)

国名	認定数	認定率
日本	27	0.6%
イタリア	3,573	5%
カナダ	9,171	68%
英国	15,376	33%
フランス	21,287	23%
米国	23,361	77%
ドイツ	138,666	59%

(7)

課題

- ・日本の難民受け入れ体制を見直す。
- ・難民問題をより多くの日本人に知ってもらう。
- ・個人が難民の支援を積極的にする。(ex:寄付など)

(8)

ご清聴ありがとうございました

参考資料

<https://www.refugees.or.jp/ja/report/2017/06/09-0001.shtml> (日本の難民認定はなぜ少ないのか)

<https://www.refugees.or.jp/ja/refugees/> (難民を知る一認定NPO法人難民支援協会)

<http://wanotewosekaini.com/where-refugees/> (難民の地位に関する条約)

平成 2 8 年度指定スーパーグローバルハイスクール
生徒成果物（3 年次）

平成 3 1 年 3 月発行

発行者 和歌山県立日高高等学校

〒644-0003 和歌山県御坊市島 45

TEL 0738-22-3151 FAX 0738-23-2922